

はじめに

一宮市博物館は昭和 62 年（1987）11 月の開館以来、郷土の歴史を発掘し、先人の文化遺産を護り、それらを後世に伝える施設として活動を行ってきました。ここに、『一宮市博物館年報(15) 平成 27・28 年度』を刊行し、平成 27・28 年度の事業について報告します。

この間における大きな事業としては、平成 27 年度は、4 月 1 日に旧豊島図書館が耐震補強工事を経て豊島記念資料館として予約見学を開始し、博物館運営等指導委員会を博物館運営協議会に改組しました。また、屋上の空冷ヒートポンプチラー CH-2（24 時間系）を更新しました。平成 28 年度は、和室内各所の修繕を行い、快適な利用空間の環境を整備しました。

展覧会事業としては、平成 27 年度には、特別展「浮世絵展～描かれた風景～」を開催し、歌川広重の東海道五十三次の 55 点に加え、異版（変わり図）6 種を比較して紹介しました。また、平成 17 年の一宮市・尾西市・木曾川町の合併から 10 年を記念して、現一宮市となった各地域の資料で振り返る企画展「合併 10 周年記念～いちのみやのあゆみ～」を開催しました。夏休み小展示「うつわのうつりかわり」では、小中学生にわかりやすく考古遺物から現代につながる変遷を展示しました。平成 28 年度には、郷土ゆかりの浅野長政を中心に浅野公園の始まりを紹介した特別展「三英傑とともに歩んだ浅野長政～いちのみやの戦国時代～」を開催しました。また、博物館に寄贈された絵画作品の中から、尾張出身の洋画家の作品を集めた企画展「尾張洋画入門」、小中学生を対象とした夏休み小展示「土の中のいちのみや」、現代アート作品が県内 4 市町を巡回する企画展「モバイル・トリエンナーレ～旅する展覧会 現代アートがまちにやってくる！～」を開催しました。また、一宮美術作家協会展、一宮写真協会選抜写真展、一宮市現代作家美術秀選展と、市内小学校との連携による企画展「くらしの道具」を毎年異なるサブテーマを設定して継続してまいりました。

また、「古文書講座」、博物館講座「尾張平野を語る」、「たいけんの森」わくわく体験などの各種普及事業にも力を入れてまいりました。そのほか文化財保護事業の一環として開催してきた「市民文化財めぐり」や「民俗芸能公演」なども数多く参加していただきました。

こうしたこれまでの活動を振り返る本年報を刊行することにより皆様のご助言を仰ぎ、博物館活動・文化財保護のさらなる充実に努めたいと存じます。今後とも市民の皆様をはじめ関係各位の一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月

一宮市博物館

目次

I	博物館事業	
1	常設展示	3
2	特別展・企画展	
(1)	一宮市博物館	6
(2)	一宮市木曾川資料館	34
(3)	玉堂記念展示室	35
3	教育普及	
(1)	古文書講座	38
(2)	博物館キッズクラブ	39
(3)	講演会	40
(4)	たいけんの森	41
(5)	生涯学習出前講座	43
(6)	博物館実習	44
(7)	中学生職場体験学習	44
(8)	インターンシップ	44
(9)	異校種・社会体験研修	44
(10)	子ども向けクイズ	45
(11)	刊行物	45
4	利用状況	
(1)	資料貸出	46
(2)	写真等利用	48
(3)	施設利用	50
(4)	入館者統計	51
(5)	団体観覧・案内	54
5	調査研究・収集	
(1)	美術工芸資料等購入事業	56
(2)	寄贈資料	56
(3)	寄託資料	57
(4)	収蔵品 修復・修繕	57
(5)	受贈図書等	59
II	文化財事業	
1	文化財保護審議会	
(1)	委員と審議会の開催	75
(2)	文化財の指定・解除	76
2	文化財保護事業	
(1)	市民文化財めぐり	77
(2)	民俗芸能公演	77
(3)	文化財防火デー関連行事	77
(4)	文化財保護補助事業	78
(5)	民俗芸能伝承保存事業	79
(6)	民俗芸能伝承推進事業	80
(7)	郷土史関連出版物奨励事業	81
(8)	文化財標柱の設置等	81
(9)	木曾川堤桜管理委託事業	81
(10)	埋蔵文化財の発掘調査	81
(11)	文化財の公開	85
(12)	刊行物	85
III	組織と運営	
1	一宮市博物館運営協議会	86
2	職員組織	87
3	研修・会合への参加	87
4	歳出予算	89
IV	条例・規則	
1	一宮市博物館条例	90
2	一宮市博物館条例施行規則	92
3	一宮市文化財保護条例	95
4	一宮市豊島記念資料館 要綱	97
V	施設	98

I 博物館事業

1 常設展示

常設展示の構成

展示ホール 一宮市の見どころ案内

真清田神社復元模型 妙興寺復元模型 展示替えコーナー 一宮市博物館収蔵品検索コーナー

展示室1 いちのみや歴史絵巻

一宮市の名前は、尾張国の一宮である真清田神社に由来する。この地域に人が住み始めたのは縄文時代中期にさかのぼり、やがて木曾川の雄大な流れのもたらす豊かな水と土壌に支えられ、長い歴史を刻んできた。ここでは、各時代の代表的な資料の展示を歴史絵巻と名付け、その始まりから今日までの一宮市の成り立ちを概観する。

縄文時代 尾張平野のあけぼの

弥生時代 稲作のはじまり 環濠集落（猫島遺跡）

古墳時代 豪族の台頭 前方後方というカタチ（西上免遺跡） 人麿塚・戸塚の七つ石 岩塚古墳・石棺

古代 寺院の建立と文字の普及 護岸施設と祭祀（大毛沖遺跡）

中世 地方武士の活躍 中世の墓制 法圓寺中世墓 一宮市域の城と武将たち 黒田城と仁王胴具足

江戸時代 尾張藩による支配 尾張絵図 北方代官所復元模型

近現代 尾張平野の中核都市として 毛織物産業の発展 濃尾地震と一宮市域 一宮空襲 戦後の復興と発展

展示室2-1 自然と暮らす

一宮市の北西に流れる木曾川は、長い歴史の間に何度も洪水を引き起こしながら、この地域に扇状地や自然堤防、後背湿地の組みあった地形を生み出した。人々は堤防を作り水害と戦う一方で、それぞれの土地の特性にあわせて稲作や棉作、養蚕などを営んできた。また、冬には北西から「伊吹おろし」と呼ばれる冷たく乾いた風が吹き、この風を利用して作られる大根切干はこの地域の名産品となった。ここでは、悠久の流れのもとに暮らしてきた人々のようすを、その自然の成り立ちから紐解く。

妙興寺の森 一宮市の地形と地質 島畑の風景 田畑を耕す 大根切干をつくる

展示室2-2 人と暮らし

一宮市域は、古くは鎌倉に向かう鎌倉街道が通り、江戸時代には美濃路や岐阜街道、巡見街道の通る交通の要衝であった。街道沿いの村々には市が立ち、人々は農作物や手工芸品を売り、暮らしに必要なものを買っていた。また、街道だけでなく河川を利用して運ばれる物資や人の流れもあった。ここでは、人々の暮らしを結び目に、街道や水運によるものの流通と、織物をはじめとする手仕事や衣食住を支えた道具を紹介する。

街道と市 街道を歩く 川を往く 筏による運材 川と暮らし 紡ぎ織る 養蚕の仕事

職人のわざと道具 遺跡にみる鍛冶 清郷遺跡・小鍛冶遺構 鍛冶の道具 竹細工の歴史 竹細工の道具

暮らしと道具（展示替えコーナー）

展示室2-3 祈りと文化

人々の暮らしのそばには常に祈りがあった。弥生時代の赤く塗られた優美な土器や、かつて美しい音色を響かせていたであろう銅鐸は、太古の人々の祈りのありようを物語る。また、尾張国一宮の真清田神社や、妙興寺、長隆寺などの仏教寺院に伝わる宝物には、幸福や救いを求める人々の願いがこめられている。やがて江戸時代になると、漢詩や南画といった文人文化がこの地域にも花開いた。ここでは、木曾川の豊かな流れに生まれ、尾張平野に広がった祈りと文化の世界を紹介する。

縄文時代の祈りの空間 赤への憧憬 鳴らす銅鐸 青銅器の輝き 水辺の祭祀 真清田神社 仏教の広がりと文化 展示替えコーナー

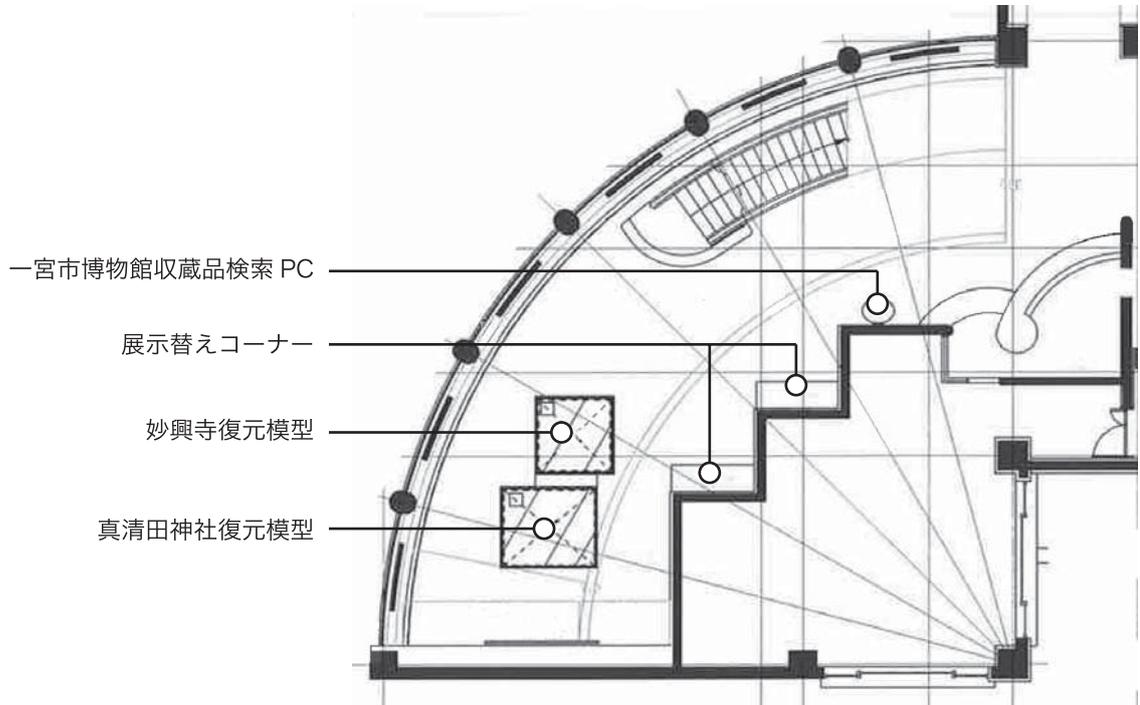
学習室 たいけんの森

学校休業日の土・日曜日を中心に、さまざまなテーマを体験ができるものとする。体験を通じて学ぶものとするが、歴史的背景などの教育普及を必ず付加する。さらに、学校教育のカリキュラムに合わせるなどの工夫をし、より利用しやすくする。

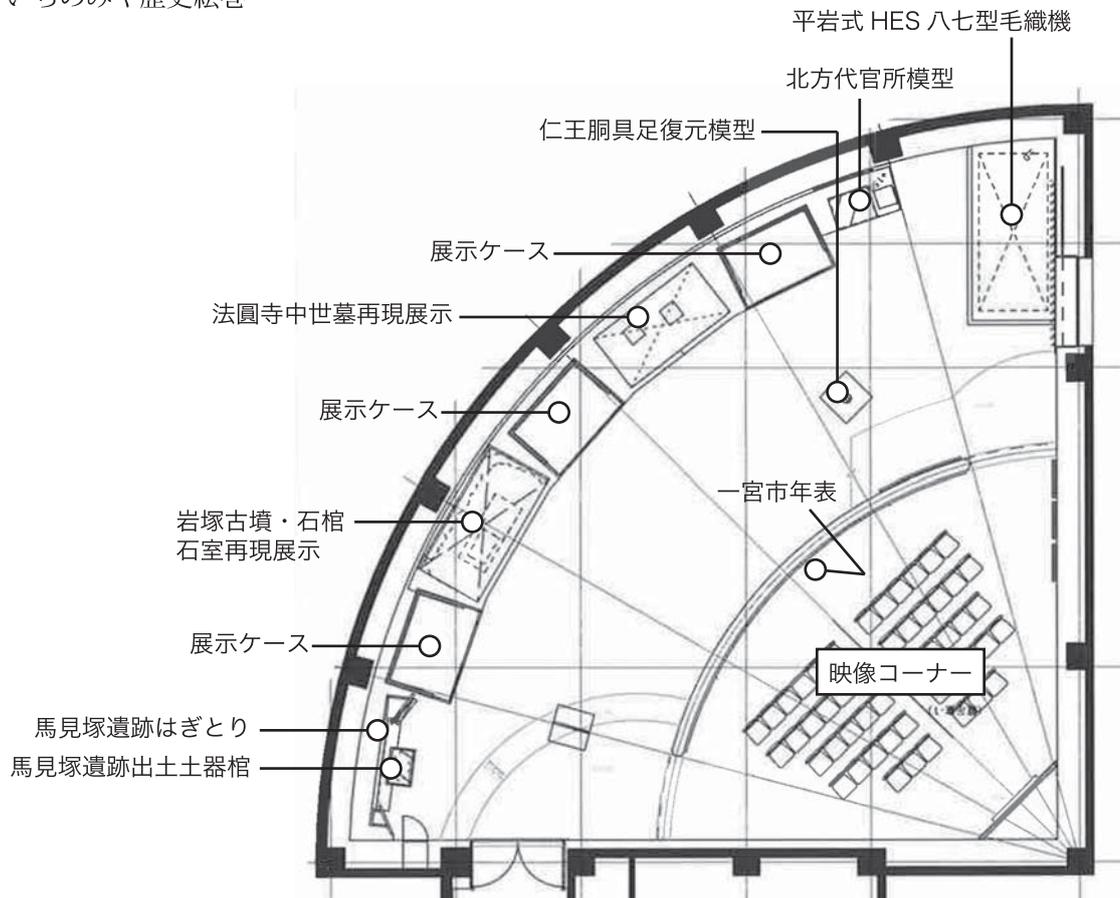
具体的には、自由に利用できる体験キットの設置、土日祝のわくわく体験、尾張もめん伝承会ボランティアによるはたおり・糸つむぎ体験の三本柱で運用を行う。

体験キット 土器パズル（4種類）、一宮市連区パズル、昔の台所キット、ぐいち（お手玉）、わらざうり、洗濯板など

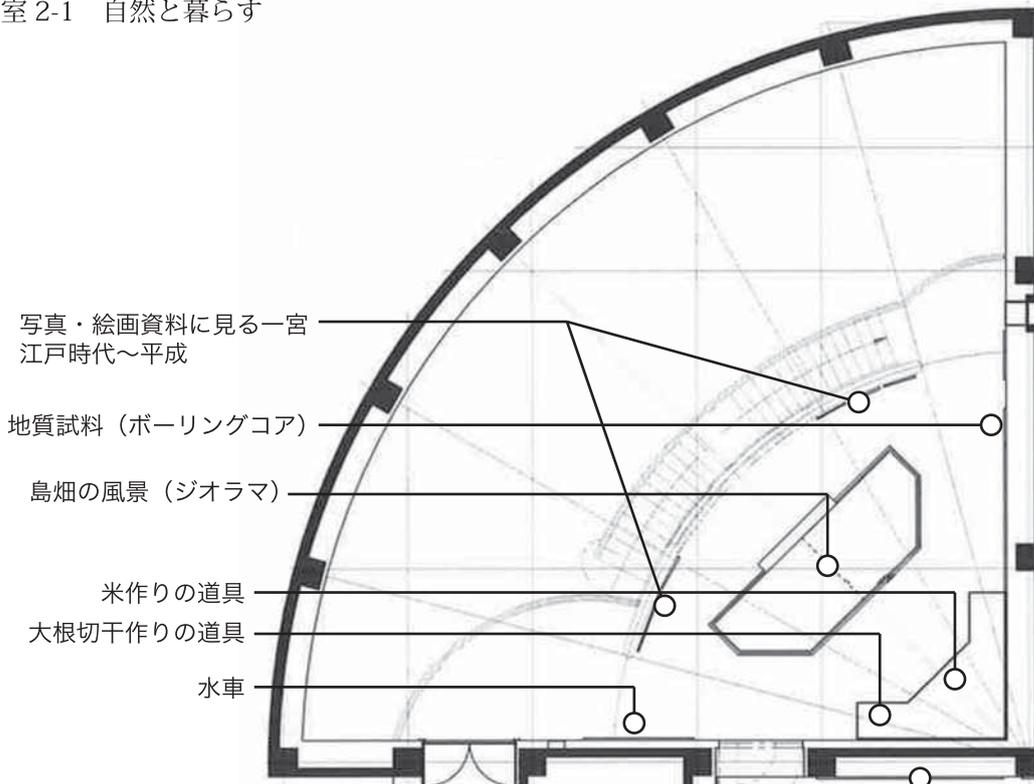
■ 展示ホール 一宮市の見どころ案内



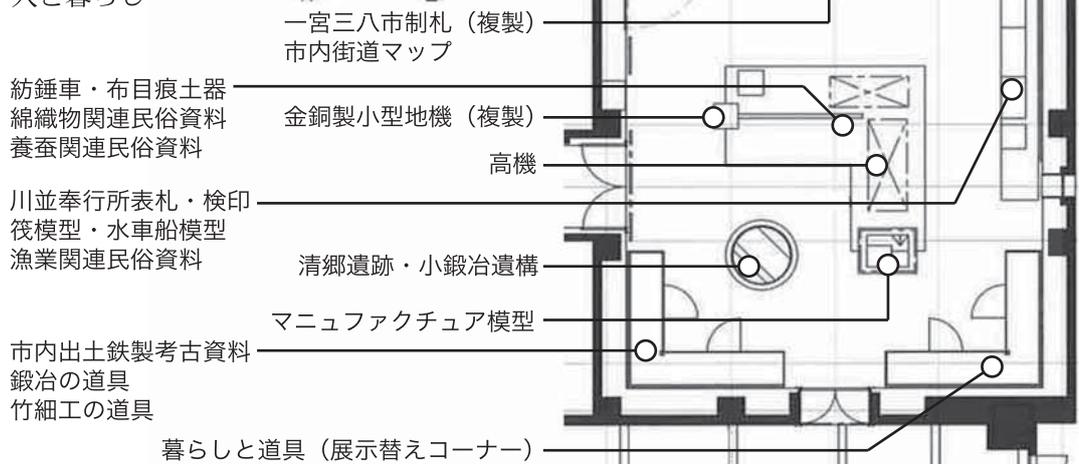
■ 展示室 1 いちのみや歴史絵巻



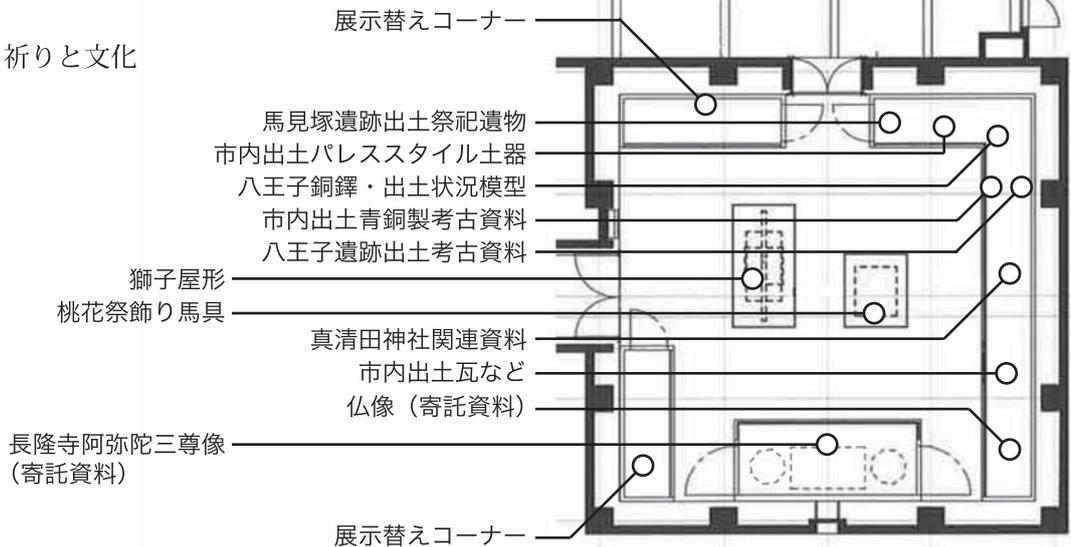
■ 展示室 2-1 自然と暮らす



■ 展示室 2-2 人と暮らし



■ 展示室 2-3 祈りと文化



2 特別展・企画展

(1) 一宮市博物館

平成 27 年度

企画展 合併 10 周年 いちのみやのあゆみ

会期 平成 27 年 4 月 25 日 (土) ～ 5 月 31 日 (日)

主催 一宮市博物館

会場 特別展示室、ラウンジ、1 階ギャラリー

印刷物 ポスター (B 2) 800 枚

リーフレット (A 4) 20,000 枚

展示解説書 16 頁 4,000 部

観覧券 4,000 枚

観覧料 常設観覧料

(一般 200 円、高・大学生 100 円、小・中学生 50 円)

開館日数 31 日間

入館者数 1,570 人 (50.6 人/1 日)

一宮市は、平成 17 年 4 月 1 日に一宮市、尾西市、木曾川町の 2 市 1 町が合併し、平成 27 年 4 月 1 日に合併 10 周年を迎えた。平成 27 年は、平成の合併から 10 年、昭和 30 年の合併から 60 年、戦後 70 年と節目の年であったため、2 市 1 町の誕生より今日に至るまでの資料や写真を展示し、これまでの当市の歩みを紹介した。

展示構成は、①写真で見る昭和のいちのみや、②新「一宮市」の誕生、③一宮市マスコットキャラクター いちみんの誕生、④新一宮市庁舎の開庁、⑤明治・大正のいちのみや、⑥描かれた昭和のいちのみや、⑦昭和の大合併、⑧いちのみやの空襲。



関連催事

鑑賞会「蓄音機で昭和 30 年代の SP レコードを聴こう！」

日時 ① 4 月 29 日 (水・祝) 午後 1 時 30 分～3 時 ② 5 月 24 日 (日) 午後 1 時 30 分～3 時

会場 博物館講座室

協力 一宮市木曾川資料館

参加者 ① 40 人 ② 58 人

見学会「昭和の地図でまちなかを歩こう！」

日時 ① まちなか探検大人コース 5 月 10 日 (日) 午後 1 時～3 時 30 分

② まちなか探検子どもコース 5 月 31 日 (日) 午後 1 時～3 時 30 分

内容 一宮駅前から出発し、一宮の中心市街地を歩きながら、昭和の地図・写真と比べる。

対象 ① 高校生以上 ② 小中学生と保護者 (保護者は 1 人、小中学生は 2 人まで)

参加者 ① 6 人 ② 21 人 (子ども 12 人、保護者 9 人)

学芸員による展示解説

5 月 3 日 (日・祝) 参加者：8 人

5 月 17 日 (日) 参加者：23 人

映像製作 製作会社：株式会社アイ・シー・シー

① 平成 17 年一宮市合併の記録 約 6 分 40 秒

② 合併後の一宮市のあゆみ 約 14 分 15 秒

③ 一宮七夕まつりの歴史 約 4 分

出品目録

No. 資料名	形状	数量	撮影・作成年月日等	所蔵
1 第1回一宮市・尾西市・木曾川町合併検討協議会	写真パネル	1	平成15年1月14日	秘書広報課
2 合併協議会首長協議	写真パネル	1	平成15年7月1日	秘書広報課
3 第1回一宮市・尾西市・木曾川町合併協議会	写真パネル	1	平成15年8月5日	秘書広報課
4 市町村合併に関する住民説明会（北方公民館）	写真パネル	1	平成15年7月15日	秘書広報課
5 一宮市・尾西市・木曾川町合併シンポジウム （木曾川町会場・木曾川町中央公民館講堂）	写真パネル	1	平成15年11月1日	秘書広報課
6 一宮市・尾西市・木曾川町合併シンポジウム （尾西会場・尾西文化会館）	写真パネル	1	平成15年12月14日	秘書広報課
7 基調講演「地域の未来と市町村合併」四日市大学総 合政策学部助教授稲沢克祐氏	写真パネル	1	平成15年11月1日	秘書広報課
8 パネルディスカッション「みんなで考えようこのま ちの未来」	写真パネル	1	平成15年11月1日	秘書広報課
9 市町村合併住民説明会（一宮市消防本部大会議室）	写真パネル	1	平成16年1月17日	秘書広報課
10 一宮市議会において、合併関連議案を可決	写真パネル	1	平成16年9月24日	秘書広報課
11 愛知県知事へ合併申請書を提出	写真パネル	1	平成16年10月13日	秘書広報課
12 一宮市・尾西市・木曾川町合併協定調印式	写真パネル	3	平成17年4月1日	秘書広報課
13 合併のぼり旗・横断幕・懸垂幕の設置	写真パネル	3		秘書広報課
14 木曾川町閉庁式	写真パネル	1	平成17年3月31日	秘書広報課
15 木曾川町閉庁式典	写真パネル	1	平成17年3月27日	秘書広報課
16 尾西市閉庁式	写真パネル	2	平成17年3月31日	秘書広報課
17 一宮市・尾西市・木曾川町合併記念式典	写真パネル	2	平成17年4月1日	秘書広報課
18 尾西庁舎開庁式	写真パネル	1	平成17年4月1日	秘書広報課
19 木曾川庁舎開庁式	写真パネル	1	平成17年4月1日	秘書広報課
20 合併協定書		1	平成16年8月9日	企画政策課
21 のぼり旗		1		一宮市博物館
22 大日本帝国陸地測量部2万分の1地形図	パネル	1	明治24年	
23 市町村合併の流れ	パネル	1		
24 一宮市役所・一宮市警察署・一宮市消防署	写真パネル	1		秘書広報課
25 一宮市警察署	写真パネル	1		秘書広報課
26 木曾川の水車船	写真パネル	1		秘書広報課
27 一宮市役所庁舎より北東を望む	写真パネル	1		秘書広報課
28 木曾川	写真パネル	1		秘書広報課
29 真清田神社の鳥居	写真パネル	1		秘書広報課
30 木曾川の鉄橋	写真パネル	1		秘書広報課
31 一宮警察署	写真パネル	1	昭和33年	秘書広報課
32 九品寺公園	写真パネル	1		秘書広報課
33 東海銀行（現在の旧一宮市役所西分庁舎）本町2丁 目	写真パネル	1		秘書広報課
34 一宮商工会議所屋上より本町3丁目付近	写真パネル	1		秘書広報課
35 体育館（現在の一宮スポーツ文化センター）真清田 1丁目	写真パネル	1		秘書広報課
36 消防訓練	写真パネル	1		秘書広報課
37 一宮市役所庁舎	写真パネル	1		秘書広報課
38 本町通	写真パネル	1		秘書広報課
39 織物問屋街	写真パネル	1		秘書広報課
40 大江川上空から西方面	写真パネル	1		秘書広報課
41 一宮市消防署	写真パネル	1		秘書広報課
42 一宮病院	写真パネル	1		秘書広報課
43 一宮市立市民病院	写真パネル	1		秘書広報課
44 一宮病院	写真パネル	1		秘書広報課
45 九品寺公園	写真パネル	1		秘書広報課

No. 資料名	形状	数量	撮影・作成年月日等	所蔵
46 一宮駅前の屋台	写真パネル	1		秘書広報課
47 オリンピック東京大会国内聖火リレー	写真パネル	1	昭和 39 年 10 月 2 日	秘書広報課
48 一宮市立図書館（旧体育館に入っていた）真清田 1 丁目	写真パネル	1		秘書広報課
49 駅前ロータリー	写真パネル	1		秘書広報課
50 駅前ロータリー	写真パネル	1	昭和 24 年	秘書広報課
51 尾張一宮駅前ロータリー	写真パネル	1		秘書広報課
52 一宮警察署・一宮消防署	写真パネル	1		秘書広報課
53 八幡の踏み切り	写真パネル	1		秘書広報課
54 東一宮駅バス	写真パネル	1		秘書広報課
55 萩原駅	写真パネル	1		秘書広報課
56 八幡の踏み切り	写真パネル	1		秘書広報課
57 駅ビル（尾張一宮駅）	写真パネル	1	昭和 33 年	秘書広報課
58 新一宮駅	写真パネル	1		秘書広報課
59 市役所より東を望む	写真パネル	1		秘書広報課
60 駅前ロータリー	写真パネル	1		秘書広報課
61 銀座通り	写真パネル	1		秘書広報課
62 東海銀行（現在の一宮商工会議所内 1 階）栄 4 丁目	写真パネル	1		秘書広報課
63 銀座通り	写真パネル	1		秘書広報課
64 大江川沿い	写真パネル	1	昭和 30 年頃	秘書広報課
65 通勤風景（尾張一宮駅）	写真パネル	1	昭和 33 年	秘書広報課
66 尾張一宮駅前	写真パネル	1		秘書広報課
67 本町 3 丁目 左側に見える建物「日本勧業銀行」は現在の和証券	写真パネル	1		秘書広報課
68 本町通	写真パネル	1		秘書広報課
69 銀座通り	写真パネル	1		秘書広報課
70 本町通り	写真パネル	1		秘書広報課
71 商店街の七夕	写真パネル	1		秘書広報課
72 一宮市役所庁舎の望楼	写真パネル	1		秘書広報課
73 中部電力	写真パネル	1		秘書広報課
74 東一宮駅前	写真パネル	1		秘書広報課
75 本町 3 丁目 南から北	写真パネル	1		秘書広報課
76 一宮駅より中心市街地	写真パネル	1		秘書広報課
77 一宮市マスコットキャラクターいちみんの決定	写真パネル	1	平成 22 年 3 月 31 日	秘書広報課
78 一宮市マスコットキャラクターいちみん特別住民票交付	写真パネル	2	平成 23 年 9 月 1 日	秘書広報課
79 いちみんの原画				経済振興課
80 一宮市制 70 周年記念マスコットキャラクターいちまるくん				一宮市博物館
81 いちみん T シャツ		1	平成 25 年 7 月	経済振興課
82 ランチバック足る		1	平成 23 年 7 月	経済振興課
83 ハンドタオル		3	平成 26 年 11 月	経済振興課
84 マフラータオル		2	平成 26 年 4 月	経済振興課
85 2 ポケットタオル		1	平成 26 年 4 月	経済振興課
86 いちみんピンバッジ		21	平成 23 年 4 月～平成 25 年 9 月	経済振興課
87 クリアファイル		1	平成 23 年 4 月	経済振興課
88 ぬいぐるみ小 お座り		1	平成 25 年 3 月	経済振興課
89 ぬいぐるみ小 基本		1	平成 25 年 3 月	経済振興課
90 ぬいぐるみ大 お座り		1	平成 25 年 11 月	経済振興課
91 ボールチェーンマスコット		1	平成 26 年 3 月	経済振興課
92 ステッカー		1	平成 25 年 3 月	経済振興課
93 シール（旧②）		1	平成 24 年 1 月	経済振興課
94 シール（旧①）		1	平成 23 年 4 月	経済振興課

No. 資料名	形状	数量	撮影・作成年月日等	所蔵
95 シール (新)		1	平成 27 年 3 月	経済振興課
96 マグカップ		1	平成 25 年 3 月	経済振興課
97 携帯ストラップ		1	平成 23 年 4 月	経済振興課
98 スタンプ		5	平成 27 年 3 月	経済振興課
99 ぬいぐるみ特大 お座り		1		経済振興課
100 ぬいぐるみ基本		1		一宮市博物館
101 一宮市役所庁舎 (旧一宮町役場・常念西)	写真パネル	1	大正 10 年	秘書広報課
102 一宮市役所仮庁舎 (旧一宮高等女学校校舎・新町)	写真パネル	1	大正 11 年頃	秘書広報課
103 仮市役所庁舎と新市役所庁舎位置図		1	昭和 5 年	一宮市博物館
104 一宮市役所仮庁舎平面図 (縮尺 200 分の 1)		1	大正 11 年頃	一宮市博物館
105 一宮市役所庁舎平面図 (旧一宮町役場)		1	大正 11 年頃	一宮市博物館
106 計画当初の市庁舎平面図		1	大正 11 年頃	一宮市博物館
107 「建議請願陳情関係書類」		1	大正 11 年	一宮市博物館
108 新庁舎建設概要		1	昭和 5 年	一宮市博物館
109 新市庁舎一般縦覧の公告		1	昭和 5 年 10 月 1 日	一宮市博物館
110 一宮市庁舎新築記念		1	昭和 5 年	一宮市博物館
111 新庁舎新築記念皿		2	昭和 5 年	一宮市博物館
112 名古屋新聞 昭和 5 年 10 月 5 日	パネル	1		一宮市立中央図書館
113 昭和 35 年竣工の南館 1 階平面図		1		一宮市博物館
114 一宮市役所新庁舎昭和 5 年 (『一宮市庁舎新築記念』)	写真パネル	1		一宮市博物館
115 昭和 5 年新庁舎竣工式 (昭和 5 年『市庁舎竣工式関係書類類綴』)	写真パネル	1		一宮市博物館
116 定礎箱		1	昭和 35 年	一宮市博物館
117 硬貨 (1 円、5 円、10 円、50 円、100 円)		4	昭和 35 年	一宮市博物館
118 新聞 (一宮タイムズ、蘇東新報、中部日本新聞、日本経済新聞、中部経済新聞、産経新聞、朝日新聞など)		11	昭和 35 年	一宮市博物館
119 定礎の辞		2	昭和 35 年	一宮市博物館
120 昭和 35 年に完成した新館	写真パネル	2		秘書広報課
121 市庁舎増築計画図		1	昭 33 年	一宮市博物館
122 旧名古屋銀行一宮支店 (当時、東海銀行、現一宮市役所一宮庁舎旧西分庁舎)	写真パネル	1		秘書広報課
123 新一宮市庁舎建設の様子 平成 25 年～平成 26 年	写真パネル	4		秘書広報課
124 昭和 46 年に竣工した増築工事の概要		1	昭和 46 年 3 月	一宮市博物館
125 昭和 35 年に竣工した新館の概要		1	昭和 35 年 12 月	一宮市博物館
126 一宮市との合併を訴える人々	写真パネル	1		秘書広報課
127 萩原町内に設置された尾西市役所萩原支所の看板	写真パネル	1		秘書広報課
128 萩原町内に設置された尾西市境界柱	写真パネル	1		秘書広報課
129 一宮市庁舎前で尾西市への合併を訴える今伊勢町高野島地区同盟 (現今伊勢町開明)	写真パネル	1		秘書広報課
130 中部日本新聞 尾張版 昭和 30 年 1 月 14 日	パネル	1		一宮市立中央図書館
131 昭和 29 年 12 月 5 日ごろから 12 月 11 日にかけて繰り上げられた広報戦術のチラシ		10		一宮市博物館
132 中部日本新聞 尾張版 昭和 30 年 4 月 2 日	パネル	1		一宮市立中央図書館
133 中部日本新聞 尾張版 昭和 30 年 4 月 7 日	パネル	1		一宮市立中央図書館
134 中部日本新聞 尾張版 昭和 30 年 4 月 11 日	パネル	1		一宮市立中央図書館
135 中部日本新聞 尾張版 昭和 30 年 4 月 12 日	パネル	1		一宮市立中央図書館
136 合併祝賀式		1	昭和 30 年 4 月 11 日	秘書広報課
137 合併祝賀パレード		4	昭和 30 年 4 月 11 日	秘書広報課
138 中部日本新聞 尾張版 昭和 30 年 1 月 17 日	パネル	1		一宮市立中央図書館
139 昭和 10 年市町村合併関係綴		1		一宮市博物館
140 市町村合併関係資料		3		一宮市博物館
141 一宮市長伊藤一「合併についてお願い」		2	昭和 29 年	一宮市博物館

No. 資料名	形状	数量	撮影・作成年月日等	所蔵
142 尾西市建設計画書 愛知県中島郡起町・愛知県中島郡朝日村		1		一宮市博物館
143 尾西市 中島郡今伊勢町 廃置分申請書 愛知県尾西市・愛知県中島郡今伊勢町		1	昭和30年	一宮市博物館
144 尾西市制祝賀式の会場で配布された資料(尾西商工観光案内図)		1	昭和30年	一宮市博物館
145 尾西市制祝賀式の会場で配布された資料(繊維尾西市鳥観図)		1	昭和30年	一宮市博物館
146 尾西市制祝賀式の会場で配布された資料(市勢概要)		1	昭和30年	一宮市博物館
147 尾西市制祝賀式の会場で配布された資料(尾西市制祝賀式次第)		1	昭和30年	一宮市博物館
148 一宮市千秋町支所表札		1		一宮市博物館
149 一宮市萩原町支所		1		一宮市博物館
150 一宮市奥町支所		1		一宮市博物館
151 一宮市今伊勢町支所		1		一宮市博物館
152 一宮市北方町支所		1		一宮市博物館
153 一宮市浅井町支所		1		一宮市博物館
154 一宮市丹陽町支所		1		一宮市博物館
155 一宮市西成支所		1		一宮市博物館
156 一宮市丹陽町支所	写真パネル	1	昭和30年	秘書広報課
157 新しく作られた支所の看板	写真パネル	1	昭和30年	秘書広報課
158 一宮市千秋町支所の看板	写真パネル	1	昭和30年	秘書広報課
159 一宮市西成支所	写真パネル	1	昭和30年	秘書広報課
160 一宮市浅井町支所	写真パネル	1	昭和30年	秘書広報課
161 一宮市奥町支所	写真パネル	1	昭和30年	秘書広報課
162 中部日本新聞 尾張版 昭和30年4月1日	パネル	1		一宮市立中央図書館
163 吉田初三郎 佐千原浄水場		1	昭和12年頃	一宮市博物館
164 吉田初三郎 極楽寺取水場図		1	昭和12年頃	一宮市博物館
165 一宮駅前の風景	写真パネル	1	昭和26年頃	秘書広報課
166 一宮市配水塔模型		1	昭和10年頃	一宮市博物館
167 市役所庁舎より北を望む	写真パネル	1		秘書広報課
168 一宮市役所・一宮観光観光協会「繊維都市一宮市とその近郊」		1	昭和28年発行	一宮市博物館
169 吉田初三郎・絹本著色額装「日本第一の繊維都一宮市と其近郊鳥観図」		1	昭和28年	一宮市博物館
170 名岐鉄道株式会社「名鉄電車(西部線)沿線御案内」		1	昭和10年発行	一宮市博物館
171 一宮観光協会「産業と観光の一宮市とその近郊」		1	昭和9年発行	一宮市博物館
172 尾北新聞社「名勝木曾川を中心とする 尾北交通名所鳥観図」		1	昭和10年発行	一宮市博物館
173 一宮市役所・一宮商工会議所「産業と観光の尾西地方毛織之津島」		1	昭和12年発行	一宮市博物館
明治・大正のいちのみや				
174 新愛知新聞 大正10年9月1日	パネル	1		一宮市立中央図書館
175 一宮町役場発行「愛知県一宮町地図・附営業案内」		1	大正4年	一宮市博物館
176 玉ノ井村地籍図		1	明治18年	一宮市博物館
177 一宮村戸長役場文書		4		一宮市博物館
178 郡達		5		一宮市博物館
179 濃尾震災関係書類綴		3	明治24年	一宮市博物館
180 町会議・村会議事録綴		6		一宮市博物館
181 事務引継書類綴		3		一宮市博物館
182 尾三市町村図		1	明治23年	一宮市博物館
183 歳入出予算留・歳入出決算留綴		4		一宮市博物館
184 萩原みやげ・萩原八景絵はがき「光堂川の秋月」「長隆寺の古堂」「萩原大橋」「萩原市の時雨」「稲荷の夜雨」「高木の晴嵐」「伊吹の暮雲」		7	大正～昭和初期発行	一宮市博物館

No. 資料名	形状	数量 撮影・作成年月日等	所蔵
185 防空に関する書類綴		2 昭和15年～昭和17年	一宮市博物館
186 消火薬弾		1	一宮市博物館
187 防火砂弾		1	一宮市博物館
188 灯火管制用電球・傘		6	一宮市博物館
189 警防器具 メガホン 中町伝令係		1	一宮市博物館
190 警防団北方分団 雑のう		1	一宮市博物館
191 警防器具 警防団用規定帽子		1	一宮市博物館
192 警防器具 防毒マスク		1	一宮市博物館
193 警防器具 鉄兜		1	一宮市博物館
194 戸島光基書画 紙本墨画淡彩「一宮絵日記」		2 昭和21年	一宮市博物館
195 第1回空襲警報発令(現松降1丁目) 杉本悦郎撮影 写真パネル		1 昭和17年4月19日	一宮市博物館
196 警戒警報発令中・空襲警報発令中 十一班		1	木曾川資料館
197 一宮駅前での防火訓練 杉本悦郎撮影	写真パネル	1	一宮市博物館
198 一宮市本町の防火演習	写真パネル	3 昭和15年頃	一宮市博物館
199 一宮市内の学校での防火演習	写真パネル	1 昭和15年頃	一宮市博物館
200 一宮市本町の防火演習	写真パネル	11 昭和15年頃	一宮市博物館
201 学校の防火演習	写真パネル	1 昭和15年頃	一宮市博物館
202 一宮市街風景写真	写真パネル	14 昭和21年1月～2月	一宮市博物館
203 配給関係書類綴		4 昭和16年度～昭和18年度	一宮市博物館
204 衣料切符・味噌配給通帳		1	一宮市博物館
205 雑誌『少女倶楽部』昭和12年9月号ふろく「日支事変のお話」		1 昭和12年9月	大口町歴史民俗資料館
206 坂本守弘『まんぐわ 進む兵隊』		1	大口町歴史民俗資料館
207 昭和18年度「徴兵検査の葉」		1	大口町歴史民俗資料館
208 臨時招集令状		1 昭和18年3月	大口町歴史民俗資料館
209 爆撃予告ビラ		1 昭和20年	江南市歴史民俗資料館
210 ポツダム宣言和訳ビラ		1 昭和20年	大口町歴史民俗資料館
211 田河水泡『のらくろ』シリーズ復刻版		9	大口町歴史民俗資料館
212 石刀神社祭礼用山車の木製車輪		1	一宮市博物館
213 中部日本新聞 昭和20年7月14日	パネル	1	一宮市立中央図書館
214 中部日本新聞 昭和20年7月30日	パネル	1	一宮市立中央図書館
215 旭機械特設自営国防空心得		1	大口町歴史民俗資料館
216 焼夷弾		3 昭和初期	一宮市博物館
217 第1回一宮空襲での大型焼夷弾(松降1丁目東側に落下) 杉本悦郎撮影	写真パネル	1 昭和20年7月13日	一宮市博物館

写真パネル展示 写真に見る一宮七夕まつり

会期 平成27年7月1日(水)～7月26日(日)

主催 一宮市博物館

展示協力 秘書広報課、経済振興課

会場 1階ギャラリー

観覧料 常設観覧料(一般200円、高・大学生100円、小・中学生50円)

開館日数 23日間

入館者数 777人(33.7人/日)

昭和31年から始まった「おりもの感謝祭 一宮七夕まつり」は今年で記念すべき60回目を迎え、当時の写真などを通して、これまでの歴史を振り返った。展示資料は、第1回～第59回までの写真パネル、第60回ポスター、第60回協賛記念グッズ及び宣伝用団扇・ポストカード、ミス織物コンテスト写真パネルなど。

夏季小展示 うつわのうつりかわり

会期 平成27年7月18日(土)～8月23日(日)

主催 一宮市博物館

会場 小展示室

印刷物 展示解説書 A4判 8ページ 2,000部

観覧料 常設観覧料(一般200円、高・大学生100円、
小・中学生50円)

開館日数 32日間

入館者数 4,447人(138.9人/1日)

器は、食材を調理するため、または調理された料理を盛り付けるために欠かすことのできない道具である。現在、日本で最古の器は16,500年前ごろから使用されていた縄文土器であると考えられており、土器という器を使い始めるということは、人間の生活に大きな影響を与えたと評価されている。土器を使うことで煮炊きができるようになり、食べられる物が増え食生活が改善されたと考えられるからである。土器が使われるようになって以来、器は今日まで使い続けられているが、昔から今までずっと同じ形をしていたわけではなく、その時代の人々の生活に合わせて、その姿を変えてきた。

本展示会では、一宮市博物館に所蔵される縄文土器から現代の茶碗にいたる様々な時代の多様な器を一堂に会し、器が生まれてから今にいたるまでの移り変わりを紹介した。

展示資料は、縄文土器、弥生土器等の考古資料。羽釜、茶碗等の民俗資料。他に写真パネルを作成し、資料展示の補助とした。

展示構成は、①煮る・炊く、②盛る、③蒸す、④注ぐ、⑤こねる、⑥する・おろす。



出品目録

No.	資料名	出土遺跡	数量	所蔵
1	深鉢	佐野遺跡	1	一宮市博物館
2	S字状口縁台付甕	北川田遺跡	1	一宮市博物館
3	羽釜	大毛沖遺跡	1	一宮市博物館
4	内耳鍋	大毛池田遺跡	1	一宮市博物館
5	羽釜	-	1	一宮市博物館
6	炊飯器	-	1	一宮市博物館
7	浅鉢	馬見塚遺跡	1	一宮市博物館
8	高杯	尾張病院山中遺跡	1	一宮市博物館
9	杯身・杯蓋	塩竈神社古墳	1	一宮市博物館
10	椀	馬寄集落東遺跡	1	一宮市博物館
11	漆椀	苅安賀遺跡	1	一宮市博物館
12	茶碗	-	1	一宮市博物館
13	甑	丹陽町森本	1	一宮市博物館
14	蒸籠	-	1	一宮市博物館
15	甕	塩竈神社古墳	1	一宮市博物館
16	水注	元屋敷遺跡	1	一宮市博物館
17	鉢	大毛池田遺跡	1	一宮市博物館
18	片口鉢	-	1	一宮市博物館
19	おろし皿	-	1	一宮市博物館
20	搦鉢	元屋敷遺跡	1	一宮市博物館

企画展 2015 一宮美術作家協会展

会期 平成 27 年 8 月 29 日 (土) ~ 9 月 13 日 (日)
会場 特別展示室、講座室、ラウンジ、1 階ギャラリー、小展示室
印刷物 はがき 3,500 枚
観覧料 常設観覧料
(一般 200 円、高・大学生 100 円、小・中学生 50 円)

開館日数 14 日間
入館者数 1,876 人 (134 人 / 1 日)

一宮美術作家協会会員 61 名の作品を展示。特集展示は小倉照江、小倉義夫。

出品者

日本画	小笠原千鶴	橋本 進	彫塑
大島奈知子	梶浦 寿布	平林 幸子	川原 孝文
加島 昌子	鬼頭 厚生	堀尾 一郎	長谷川厚一郎
河村 明美	木村 満幸	前野 恒	
嶋 千世子	小出きよ子	増田 和臣	工芸
高橋 弘子	後藤 一三	松本 幹永	石田 元子
丹羽 桃慶	後藤 泰洋	松本 耀子	鵜飼 辰郎
松岡 彩子	櫻井 幹郎	三輪 修	澤田 進治
	左合 英明	三輪 清弘	土屋 保徳
洋画	佐藤 典子	村上佳久子	林 節子
伊藤 眞己	すぎもと和	山崎 澄	夫馬 信行
井上 雅夫	関野 敦	山田 光代	松岡 孝司
岩田 哲夫	高森 和子	吉川 忠史	
江村 亨	高山 悟	吉田まさ子	デザイン
大石 晴美	滝野 弘次	若月 陽子	石井佳代子
大島 辰子	寺西 洋二		岡崎 美穂
大島 信人	富田 信子		百々 佳美
大塚 将司	野原 三義		森 昭夫

企画展 一宮写真協会選抜写真展

会期 平成 27 年 9 月 17 日 (木) ~ 9 月 27 日 (日)
会場 特別展示室、講座室、ラウンジ
印刷物 はがき 3,000 枚
観覧料 常設展観覧料
(一般 200 円、高・大学生 100 円、小・中学生 50 円)

開館日数 10 日間
入館者数 1,305 人 (130.5 人 / 1 日)

一宮写真協会会員のうち 33 名の作品を展示。副題は「時を 撮り 時代に継ぐ。」

出品者

青木 尚子	大西 正信	木村 晴子	長谷川蕪江
安藤 正一	大矢真理子	小島 高子	林 三平
安藤 治仁	岡田 忠夫	櫻井 悦子	林 孝弘
安藤 雅彦	小川 照秋	櫻井 慶子	林 都美子
市川 勝朗	尾関 君代	千田 陸末	夫馬 勲
伊藤 繁雄	笠野 俊彦	所 由紀子	水谷 嘉男
今井 要	加藤 紀子	中村 薫	(50 音順)
今枝 吉宗	金森 光紀	橋本 秀子	
上津 福三	木村 龍雄	長谷川隆光	

特別展 浮世絵展～描かれた風景～ 広重 これも東海道五拾三次
 会期 平成 27 年 10 月 3 日 (土) ～ 11 月 23 日 (月・祝)
 10 月 3 日 (土) 午前 9 時より開会式
 主催 一宮市博物館
 共催 中日新聞社
 会場 特別展示室、講座室、小展示室、ラウンジ、
 1 階ギャラリー
 印刷物 ポスター (B 2) 700 枚
 リーフレット (A 4) 60,000 枚
 図録 1,000 部
 観覧券 (4 種) 15,200 枚
 観覧料 一般 500 円、高校・大学生 300 円、小・中学生 200 円
 開催日数 44 日間
 入館者数 6,386 人 (145.1 人/1 日)



江戸時代の人々に愛好された浮世絵版画は海外でも高く評価され、日本を代表する美術といえる。この展覧会では、歌川広重 (1797～1858) の保永堂版《東海道五十三次》全 55 図に加え、その改作版などを展示し、多色刷り版画である浮世絵の製作工程や当時の受容のあり方を紹介するとともに、江戸時代の旅の様子なども解説した。

本展によって、日本美術に対する理解を深めると同時に、その背後にある歴史事象への関心を高めることを目的とした。

出品作品 歌川広重作・保永堂版《東海道五十三次》全 55 図 (個人蔵) などの浮世絵版画作品 63 点

関連催事

「広重の風景版画 魅力のからくり」

講師 神谷 浩 (国際浮世絵学会常任理事・名古屋市博物館副館長)
 日時 10 月 18 日 (日) 午後 1 時 30 分～ 3 時
 会場 博物館講座室
 聴講者 64 人

「広重えがく 一臥遊の愉しみ」

講師 前田 詩織 (中山道広重美術館学芸員)
 日時 11 月 8 日 (日) 午後 1 時 30 分～ 3 時
 会場 博物館講座室
 聴講者 41 人

「はじめての浮世絵鑑賞講座」

日時 ① 10 月 11 日 (日) ② 11 月 1 日 (日) ③ 11 月 15 日 (日) ④ 11 月 22 日 (日)
 各回午後 1 時 30 分～
 参加者 ① 71 人 ② 38 人 ③ 63 人 ④ 64 人

出品目録

No.	作品名	本紙寸法 (cm)	版元※	刊行年
作者：1～16 初代歌川広重				
1	東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景	初版図 22.4 × 34.8	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4年～6年頃 (1833～35)
2	東海道五拾三次之内 日本橋 行烈振出	変わり図 22.5 × 35.0	竹内孫八	天保6年頃 (1835)
3	東海道五拾三次之内 品川 日之出	初版図 23.0 × 35.6	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4年～6年頃 (1833～35)
4	東海道五拾三次之内 品川 諸侯出立	変わり図 22.9 × 35.5	竹内孫八	天保6年頃 (1835)
5	東海道五拾三次之内 川崎 六郷渡舟	初版図 23.0 × 35.5	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4年～6年頃 (1833～35)
6	東海道五拾三次之内 川崎 六郷渡舟	変わり図 23.0 × 35.6	竹内孫八	天保6年頃 (1835)
7	東海道五拾三次之内 神奈川 台之景	初版図 23.0 × 35.7	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
8	東海道五拾三次之内 神奈川 台之景	変わり図 22.6 × 35.6	竹内孫八	天保6年頃 (1835)
9	東海道五拾三次之内 保土ヶ谷 新町橋	23.2 × 35.9	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4年～6年頃 (1833～35)
10	東海道五拾三次之内 戸塚 元町別道	初版図 23.0 × 35.6	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4年～6年頃 (1833～35)
11	東海道五拾三次之内 戸塚 元町別道	変わり図 22.9 × 35.1	竹内孫八	天保6年頃 (1835)
12	東海道五拾三次之内 藤澤 遊行寺	23.2 × 35.7	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
13	東海道五拾三次之内 平塚 縄手道	23.0 × 35.6	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4年～6年頃 (1833～35)
14	東海道五拾三次之内 大磯 虎ヶ雨	23.0 × 35.5	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
15	東海道五拾三次之内 小田原 酒匂川	初版図 23.2 × 35.5	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
16	東海道五拾三次之内 小田原 酒匂川	変わり図 22.9 × 35.2	竹内孫八	天保6年頃 (1835)
作者：17～18 二代歌川広重				
17	諸国名所百景 尾州名古屋真景	33.8 × 22.1	魚屋栄吉	安政2年頃 (1855)
18	諸国名所百景 尾州名古屋真景	33.6 × 22.0	魚屋栄吉	安政2年頃 (1855)
作者：19～63 初代歌川広重				
19	東海道五拾三次之内 箱根 湖水図	22.8 × 35.5	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
20	東海道五拾三次之内 三島 朝霧	22.8 × 35.0	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
21	東海道五拾三次之内 沼津 黄昏図	22.5 × 35.5	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
22	東海道五拾三次之内 原 朝之富士	22.7 × 35.4	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
23	東海道五拾三次之内 吉原 左富士	22.9 × 35.5	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
24	東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪	22.6 × 35.4	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
25	東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺	22.7 × 35.5	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
26	東海道五拾三次之内 奥津 興津川	22.5 × 35.1	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4年～6年頃 (1833～35)
27	東海道五拾三次之内 江尻 三保遠望	22.9 × 35.5	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
28	東海道五拾三次之内 府中 安部川	22.5 × 35.1	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
29	東海道五拾三次之内 鞠子 名物茶店	22.8 × 35.5	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4年～6年頃 (1833～35)
30	東海道五拾三次之内 岡部 宇津之山	22.7 × 35.5	鶴屋喜右衛門	天保4年～6年頃 (1833～35)
31	東海道五拾三次之内 藤枝 人馬継立	22.9 × 35.3	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4年～6年頃 (1833～35)
32	東海道五拾三次之内 嶋田 大井川駿岸	22.5 × 34.9	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
33	東海道五拾三次之内 金谷 大井川遠岸	22.7 × 35.2	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
34	東海道五拾三次之内 日坂 佐夜ノ中山	22.9 × 35.5	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4年～6年頃 (1833～35)
35	東海道五拾三次之内 掛川 秋葉山遠望	22.7 × 35.5	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
36	東海道五拾三次之内 袋井 出茶屋ノ図	22.5 × 35.5	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4年～6年頃 (1833～35)
37	東海道五拾三次之内 見附 天竜川図	22.7 × 35.4	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
38	東海道五拾三次之内 浜松 冬枯ノ図	22.7 × 35.4	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
39	東海道五拾三次之内 舞坂 今切真景	22.5 × 35.6	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)

No.	作品名	本紙寸法 (cm)	版元※	刊行年
40	東海道五拾三次之内 荒井 渡舟ノ図	22.7 × 35.7	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
41	東海道五拾三次之内 白須賀 汐見阪図	22.9 × 35.7	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
42	東海道五拾三次之内 二川 猿ヶ馬場	22.6 × 35.7	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
43	東海道五拾三次之内 吉田 豊川橋	22.9 × 35.9	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
44	東海道五拾三次之内 御油 旅人留女	22.9 × 35.4	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
45	東海道五拾三次之内 赤阪 旅舎招婦ノ図	22.9 × 35.2	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
46	東海道五拾三次之内 藤川 棒鼻ノ図	22.9 × 35.7	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
47	東海道五拾三次之内 岡崎 矢矧ノ図	23.0 × 35.4	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
48	東海道五拾三次之内 池鯉鮒 首夏馬市	22.7 × 35.0	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
49	東海道五拾三次之内 鳴海 名物有松絞	22.5 × 35.2	竹内孫八	天保4年～6年頃 (1833～35)
50	東海道五拾三次之内 宮 熱田神事	22.6 × 35.1	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
51	東海道五拾三次之内 桑名 七里渡口	22.8 × 35.0	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
52	東海道五拾三次之内 四日市 三重川	22.6 × 35.0	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
53	東海道五拾三次之内 石薬師 石薬師寺	22.5 × 35.0	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
54	東海道五拾三次之内 庄野 白雨	22.7 × 35.0	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
55	東海道五拾三次之内 亀山 雪晴	22.8 × 35.0	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
56	東海道五拾三次之内 関 本陣早立	22.5 × 34.9	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
57	東海道五拾三次之内 阪之下 筆捨嶺	22.6 × 35.1	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
58	東海道五拾三次之内 土山 春之雨	22.6 × 35.0	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
59	東海道五拾三次之内 水口 名物干瓢	22.3 × 35.1	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
60	東海道五拾三次之内 石部 目川ノ里	22.0 × 35.0	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
61	東海道五拾三次之内 草津 名物立場	22.0 × 35.3	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
62	東海道五拾三次之内 大津 走井茶店	22.6 × 35.2	竹内孫八	天保7年頃 (1836)
63	東海道五拾三次之内 京師 三條大橋	22.5 × 35.2	竹内孫八	天保7年頃 (1836)

すべて個人蔵、大判錦絵。

※竹内孫八＝保永堂、鶴屋喜右衛門＝仙（僊）鶴堂

企画展 2015 一宮市現代作家美術秀選展

会期 平成 27 年 11 月 28 日 (土) ~ 12 月 13 日 (日)
 会場 特別展示室・講座室・ラウンジ・ギャラリー・展示室 4
 印刷物 ポスター B 2 判 700 枚
 リーフレット A 4 判 10,000 枚
 観覧料 常設観覧料
 (一般 200 円、高・大学生 100 円、小・中学生 50 円)
 開館日数 14 日間
 入館者数 2,210 人 (157.8 人/1 日)

第 73 回一宮市美術展、2015 一宮総合美術展の成果等を受けて、
 一宮市美術展依頼出品者・市長賞受賞者・一宮美術作家協会・一宮
 書道協会・一宮写真協会推薦者の作品を展示した。

2015 一宮市現代作家美術秀選展



平成 27 年 11 月 28 日 (土) ~ 12 月 13 日 (日) 一宮市博物館
 開館時間 午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時 (入館は 4 時 30 分まで) ※最終日は午後 4 時 30 分で終了します
 休館日 11 月 30 日 (月)・12 月 7 日 (月)
 ■観覧料 一般 200 円 (160 円)、高校・大学生 100 円 (80 円)、小・中学生 50 円 (40 円)
 (常設観覧料を含む) ※1 歳未満は無料、2 歳以上 12 歳未満は 50 円 (40 円) 以上。
 ※本市市民の割引制度は別途要。
 ※本市市民の割引制度は別途要。
 ※本市市民の割引制度は別途要。
 ■販売券のご案内 10月27日(金)~11月27日(金)の間に、一宮市立生涯学習センター、一宮市博物館、
 一宮市三原野子記念美術館、一宮市尾高歴史民俗資料館にて販売
 ■主催 一宮市博物館
 ■協賛 一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会

出品者

日本画

大島奈知子
 河村 明美
 名倉 勝三
 松岡 彩子

洋画

井上 雅夫
 岩田 哲夫
 江村 亨
 大島 辰子
 大島 信人
 大塚 将司
 後藤 泰洋
 櫻井 幹郎
 左合 英明
 すぎもと和
 関野 敦
 高森 和子
 高山 悟
 寺西 洋二
 堀尾 一郎
 増田 和臣
 松本 幹永
 三輪 修
 三輪 清弘
 若月 陽子

書

安藤 蘇道
 伊藤 暁嶺
 伊藤 玄圃
 岩田 潤流
 加藤 松翠
 亀山 雪峰
 川浦 碧涛
 木戸 竹葉
 近藤 芳玉
 佐々 清香
 佐野 桃子
 高木 曾水
 武山 翠屋
 田代 春苑
 富田 栄榮
 中村 曾南
 則武 穹
 林 如華
 林 大樹
 村上 堯紅
 村田 光終
 森 隆城
 山田 杏華

彫刻・立体

川原 孝文
 櫻井 真理
 長谷川厚一郎
 真下 賢一

工芸

足立 重喜
 鶴飼 辰郎
 澤田 進治
 林 節子
 松岡 孝司

デザイン

石井佳代子
 鶴飼のはら
 岡崎 美穂
 森 昭夫

写真

青木 尚子
 安藤 治仁
 伊藤 繁雄
 桜井 悦子
 中村 薫
 橋本 秀子
 林 三平
 夫馬 勲
 武鹿 千代

第 7 回一宮市美術展
 市長賞受賞作品

日本画

三矢菜穂子

洋画

磯部 和久
 柘植 雅一
 小澤富美子

彫刻・立体

石川 容子

工芸

川瀬 正二

デザイン

呼元 勇樹

書

酒井 光華
 春日井栄嘉
 長崎 成秀

写真

安藤 義弘

企画展 くらしの中の民具 むらのおまつり

会期 平成28年1月9日(土)～3月13日(日)
 主催 一宮市博物館
 会場 特別展示室、小展示室、ラウンジ、1階ギャラリー
 印刷物 ポスター(B2) 600枚
 リーフレット(A4) 60,000枚
 展示解説書(B5、36頁) 6,000部
 観覧券 2,000枚
 観覧料 常設観覧料
 (一般200円、高・大学生100円、小・中学生50円)

開催日数 55日間

入館者数 6,638人(120.6人/1日)

社会科単元「古い道具と昔の暮らし」において、博物館を見学する小学校3年生を対象に、民具を通して昔の暮らしを紹介する展示会であり、平成3年度からの継続事業である。平成27年度は「むらのおまつり」をテーマに、道具をつかう機会に注目し、古い道具に対する理解を促すことを目標とした。

展示構成は、① くらしの道具を調べよう、② クイズのこみち いちのみやのおまつり。

くらし体験講座

- ① 「もちつき大会」 日時 平成28年1月17日 参加者 80人
- ② 「むかしのこどもにへんしん！」 日時 平成28年1月24日 参加者 15人
- ③ 「本格たこづくり」 日時 平成28年2月7日 参加者 18人
- ④ 「むかしのおやつ せんばやき」 日時 平成28年2月21日 参加者 59人

出品目録

1 はいちょう	26 のし板	51 井戸	76 火のし
2 きりだめ	27 のし棒	52 棹釣瓶	77 炭火アイロン
3 薬箱	28 いずみ	53 はんぞ	78 草履作り台
4 柱時計	29 わらぞうり	54 洗濯板	79 くけ台
5 箒	30 下駄	55 鹽(たらい)	80 あんか
6 蠅叩き	31 高下駄	56 しんどかご(4点)	81 猫火鉢
7 おひつ	32 せいろ	57 鳥籠	82 湯たんぼ
8 シャもじ	33 寿司箱	58 風呂桶	83 石油ランプ
9 米櫃	34 汁桶	59 風呂籠	84 がんどう(木製桶型)
10 時刻表	35 いかき	60 横槌	85 がんどう(金属製)
11 岡持ち	36 ざる	61 伸子針	86 仕事着
12 唐傘	37 鯉節削り	62 張板	87 長着
13 行李	38 ごま炒り	63 釜	88 凧
14 一斗枵	39 豆炒り	64 菜箸	89 羽子板
15 斗かき	40 酒德利	65 鍋	90 ぐいち(お手玉)
16 飯籠	41 弁当箱	66 鍋つかみ	91 手毬
17 火鉢	42 甕	67 荒神箒	92 双六
18 炭取箱	43 氷冷蔵庫	68 火掻き棒	93 百人一首
19 火箸	44 手桶	69 十能	94 かるた
20 卓袱台	45 石臼	70 炭俵	95 しょうや(めんこ)
21 箱膳	46 臼台	71 七輪	
22 茶碗	47 たわし	72 早鍋	
23 汁碗	48 まな板	73 火消し壺	
24 箸	49 水漉甕(はんどかめ)	74 火ふき竹	
25 箸立て	50 柄杓	75 こて	

すべて一宮市博物館蔵

むかしの道具の、ナイショのハナシ。
 たとえば、シルオケのおハナシ。
 フロオケ、テオケ、アブラオケ。
 この世にオケはたくさんあるけれど、
 わたくし、ほかのオケとはちよつとちがいでよ。
 風と茶のウルシぬりにお気づきから?
 わたくし、とつてもおしゃれなの。
 だって、おまつりやお祝いごとのときに
 お汗をとりかけるのがおシトなんですもの。
 わたくしのようなむかしの道具でも、
 おまつりではまだまだ活躍していますよ。
 博物館まで、ぜひたしかめにいらしてね。

企画展
くらしの中の民具
 むらのおまつり

平成28年1月9日(土)～3月13日(日)
 開館時間:午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
 休館日:毎週月曜日(ただし1月11日は開館)、1月12日(火)、2月12日(金)
 市内小中学生は観覧無料

くらし体験講座
 ① もちつき大会 1月17日(土)～18日(日) 10時～12時
 ② むかしのこどもにへんしん! 1月24日(土) 10時～12時
 ③ 本格たこづくり 2月7日(土) 10時～12時
 ④ むかしのおやつ せんばやき 2月21日(土) 10時～12時

はくふつかんであそぼう!
 一宮市博物館
 〒491-0902 一宮市大杉町神津2290番地
 TEL.0560-46-3215 FAX.0560-46-3216
 URL: http://www.city.ikoma.lg.jp/museum

平成 28 年度

企画展 尾張洋画入門

会期 平成 28 年 5 月 21 日 (土) ~ 6 月 26 日 (日)

主催 一宮市博物館

会場 特別展示室、講座室、ラウンジ

印刷物

ポスター (B 2)	850 枚
リーフレット (A 4)	60,000 枚
展示解説書 (A 4、40 頁)	4,000 部
招待券	2,000 枚

観覧料 常設観覧料 (一般 200 円、高・大学生 100 円、小・中学生 50 円)

開催日数 32 日間

入館者数 2,280 人 (71.2 人 / 1 日)

一宮市博物館に寄贈された作品を中心に、近隣の個人蔵の作品、一宮市三岸節子記念美術館の所蔵品も加え、伊藤廉 (1898 - 1983)、鶴城繁 (1899 - 1985)、大澤海蔵 (1906 - 71)、荻須高德 (1901 - 86)、鬼頭鍋三郎 (1899 - 1982)、佐分眞 (1898 - 1936)、藤井外喜雄 (1901 - 94)、宮脇晴 (1901 - 85)、森馨之助 (1898 - 1956)、横井礼以 (1886 - 1980) など尾張地域ゆかりの画家の作品を展示し、当地域における洋画の展開を紹介した。

展示構成

- ① 愛美社の画家たち
- ② 孤高の画家 藤井外喜雄
- ③ 尾張ゆかりの画家たち

関連催事

講演会

「愛知の洋画壇」

講師 中山 真一 (株式会社名古屋画廊代表取締役)

日時 平成 28 年 6 月 25 日 (土) 午後 2 時 ~ 3 時 30 分

会場 博物館映像コーナー

聴講者 30 人

展示解説

日時 ① 5 月 29 日 (日) ② 6 月 12 日 (日) 各回午後 2 時 ~

参加者 ① 27 人 ② 29 人



新緑の季節、博物館でアートにふれるひとときを。

- 伊藤廉
- 鶴城繁
- 大澤海蔵
- 大澤鏡一郎
- 荻須高德
- 箕忠治
- 北川民次
- 鬼頭鍋三郎
- 小磯良平
- 佐分眞
- 杉本健吉
- 藤井外喜雄
- 三岸節子
- 宮脇晴
- 森馨之助
- 横井礼以

尾張洋画入門

2016
5/21-6/26
[土] [日]

開館時間 午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時
(入館は 4 時 30 分まで)
休 館 日 毎週月曜日

観覧料 (1 人別)	一般 (20 歳以上)	高校生 (16 歳以上)	小学生 (6 歳以上)	幼児 (3 歳以上)
一般	200 円	100 円	50 円	30 円
高校・大学生	100 円	50 円	30 円	20 円
小学生・中学生	50 円	40 円	20 円	10 円

一宮市博物館 ICHINOMIYA CITY MUSEUM

出品目録

① 愛美社の画家たち

No.	作者	作品名	制作年	材質・技法	サイズ (cm)	所蔵
1	大澤鉦一郎	子供		油彩／画布	33.2 × 24.2	一宮市博物館
2	大澤鉦一郎	あじさいの花		油彩／板	34.7 × 26.6	一宮市博物館
3	大澤鉦一郎	夏		油彩／板	24.0 × 33.0	一宮市博物館
4	大澤鉦一郎	リンゴと柿		油彩／画布	21.8 × 27.1	一宮市博物館
5	宮脇晴	赤のあやつり	1966 (昭和 41 年)	油彩／画布	100.0 × 81.0	一宮市博物館
6	宮脇晴	ミルクを飲む幼児	1953 (昭和 28 年)	油彩／画布	53.2 × 72.5	一宮市博物館
7	宮脇晴	ポニーの少女	1961 (昭和 36 年)	油彩／板	27.1 × 21.5	一宮市博物館
8	宮脇晴	奥能登宇出津港	1968 (昭和 43 年)	油彩／板	21.9 × 27.2	一宮市博物館
9	宮脇晴	爛瓶のひなげし	1972 (昭和 47 年)	油彩／板	33.2 × 23.7	一宮市博物館
10	宮脇晴	風邪をひいた自画像	1982 (昭和 57 年)	油彩／画布	65.3 × 50.1	一宮市博物館
11	森馨之助	自画像		水彩／紙	21.0 × 16.0	一宮市博物館
12	森馨之助	K 子像		水彩、鉛筆／紙	26.2 × 16.0	一宮市博物館
13	藤井外喜雄	永薫肖像画		油彩／画布	32.5 × 23.7	一宮市博物館
14	藤井外喜雄	孫 (永薫)、成人式の肖像画		油彩／画布	53.4 × 45.3	一宮市博物館
15	藤井外喜雄	[二人の子供]		油彩／画布	31.5 × 40.8	一宮市博物館
16	藤井外喜雄	ピアノ弾く恩案		油彩／画布	24.0 × 33.0	一宮市博物館
17	藤井外喜雄	[風景]		油彩／画布	36.8 × 44.4	一宮市博物館
18	藤井外喜雄	[風景]		油彩／画布	45.6 × 52.9	一宮市博物館
19	藤井外喜雄	袋田の滝		油彩／画布	52.8 × 45.4	一宮市博物館
20	藤井外喜雄	水上スキー場		油彩／画布	45.6 × 53.0	一宮市博物館
21	藤井外喜雄	出雲大社		油彩／画布	45.7 × 53.1	一宮市博物館
22	大澤鉦一郎	婦人像 (リボン)		水彩／紙	37.0 × 28.0	一宮市博物館
23	大澤鉦一郎	横顔		鉛筆、コンテ／紙	37.6 × 26.4	一宮市博物館
24	大澤鉦一郎	肘をつく		コンテ／紙	36.4 × 25.7	一宮市博物館
25	大澤鉦一郎	帽子の少女		色鉛筆／紙	35.8 × 25.0	一宮市博物館
26	大澤鉦一郎	三つ編の少女		鉛筆／紙	33.0 × 25.0	一宮市博物館
27	大澤鉦一郎	桃枝付「みるる」		コンテ／紙	26.8 × 37.8	一宮市博物館
28	大澤鉦一郎	はたおり		鉛筆／紙	24.7 × 25.6	一宮市博物館
29	大澤鉦一郎	裸婦		コンテ／紙	25.6 × 17.7	一宮市博物館
30	大澤鉦一郎	もゝ四ヶ		鉛筆、色鉛筆／紙	21.0 × 26.4	一宮市博物館
31	大澤鉦一郎	リンゴ		鉛筆／紙	26.3 × 21.2	一宮市博物館
32	大澤鉦一郎	ザクロ		ペン／紙	11.4 × 10.2	一宮市博物館
33	大澤鉦一郎	花二題		ペン、鉛筆／紙	10.5 × 13.0、 19.2 × 12.2	一宮市博物館
34	大澤鉦一郎	魚		コンテ／紙	21.5 × 31.2	一宮市博物館
35	大澤鉦一郎	浜風景		コンテ／紙	18.8 × 24.8	一宮市博物館
36	宮脇晴	クロッキー		コンテ／紙	39.0 × 27.0	一宮市博物館
37	宮脇晴	クロッキー	1957 (昭和 32 年)	コンテ／紙	39.2 × 27.0	一宮市博物館
38	宮脇晴	クロッキー	1958 (昭和 33 年)	コンテ／紙	38.0 × 26.8	一宮市博物館
39	宮脇晴	クロッキー		コンテ／紙	35.9 × 25.3	一宮市博物館
40	宮脇晴	クロッキー	1979 (昭和 54 年)	コンテ／紙	27.0 × 38.2	一宮市博物館
41	宮脇晴	黒湯		水彩／紙	20.2 × 23.6	一宮市博物館

No.	作者	作品名	制作年	材質・技法	サイズ (cm)	所蔵
42	宮脇晴	山のさち	1976 (昭和 51 年)	水彩／紙	31.5 × 40.7	一宮市博物館
43	宮脇晴	とへの蛙		水彩／紙	27.0 × 24.0	一宮市博物館
44	宮脇晴	高蔵寺玉野川	1918 (大正 7 年)	油彩／板	16.0 × 22.2	一宮市博物館
45	宮脇晴	りんご	1919 (大正 8 年)	油彩／板	16.0 × 22.2	一宮市博物館
46	宮脇晴	巻き貝と花瓶	1923 (大正 12 年)	油彩／カルトン	24.0 × 33.0	一宮市博物館
47	宮脇晴	山への道	1923 (大正 12 年)	油彩／板	23.6 × 33.0	一宮市博物館
48	宮脇晴	八事への道	1925 (大正 14 年)	油彩／板	23.4 × 33.0	一宮市博物館
49	宮脇晴	仔猫葡萄園	1925 (大正 14 年)	油彩／カルトン	24.1 × 32.9	一宮市博物館
50	鶴城繁	[小屋]	1953 (昭和 28 年)	油彩／板	17.3 × 22.7	一宮市博物館
51	鶴城繁	[キャンプ場]	1953 (昭和 28 年)	油彩／板	21.3 × 27.3	一宮市博物館
52	鶴城繁	奈良風景		油彩／板	24.0 × 33.4	一宮市博物館
53	鶴城繁	街の一隅 (上前津町にて)		油彩／板	24.0 × 33.4	一宮市博物館
54	鶴城繁	[噴水のある公園]		油彩／板	15.5 × 22.6	一宮市博物館
55	鶴城繁	白山遠望		油彩／板	24.2 × 33.2	一宮市博物館
56	鶴城繁	白山遠望		油彩／キャンバスボード	24.1 × 33.2	一宮市博物館
57	鶴城繁	[風景]		油彩／板	21.6 × 27.2	一宮市博物館
58	鶴城繁	関原あたり		油彩／キャンバスボード	28.4 × 35.6	一宮市博物館
59	鶴城繁	[柿]		油彩／板	15.7 × 22.7	一宮市博物館

② 孤高の画家 藤井外喜雄

No.	作者	作品名	制作年	材質・技法	サイズ (cm)	所蔵
60	藤井外喜雄	石運び	1983 (昭和 58 年)	油彩／画布	97.0 × 162.0	一宮市博物館
61	藤井外喜雄	開門前のルーブル美術館	1976 (昭和 51 年)	油彩／画布	112.0 × 145.0	一宮市博物館
62	藤井外喜雄	ベナレスの沐浴		油彩／画布	97.0 × 162.0	一宮市博物館
63	藤井外喜雄	佐藤一英 25 歳の肖像	1923 (大正 12 年)	油彩／画布	38.0 × 31.5	個人
64	藤井外喜雄	ベンチに座る女		油彩／画布	32.0 × 40.7	一宮市博物館
65	藤井外喜雄	ジプシーの子供		油彩／画布	41.0 × 31.7	一宮市博物館
66	藤井外喜雄	ニューヨーク		油彩／画布	40.8 × 31.7	一宮市博物館
67	藤井外喜雄	セーナ川より望む		油彩／画布	45.4 × 52.3	一宮市博物館
68	藤井外喜雄	夕映え (ヴェネツィア)	1976 (昭和 51 年)	油彩／画布	91.0 × 116.5	一宮市博物館
69	藤井外喜雄	太陽	1983 (昭和 58 年) 頃	油彩／画布	130.3 × 162.0	一宮市博物館
70	藤井外喜雄	波にたわむれる子 (銚子)	1985 (昭和 60 年)	油彩／画布	145.5 × 145.5	一宮市博物館
71	藤井外喜雄	[街角]		油彩／板	21.7 × 26.6	一宮市博物館
72	藤井外喜雄	[街角]		油彩／キャンバスボード	23.6 × 32.8	一宮市博物館
73	藤井外喜雄	[物売りの女]		油彩／板	32.8 × 23.2	一宮市博物館
74	藤井外喜雄	[床屋]		油彩／板	24.2 × 33.2	一宮市博物館
75	藤井外喜雄	[風景]		板／油彩	23.5 × 32.9	一宮市博物館
76	藤井外喜雄	[風景]		板／油彩	23.4 × 32.9	一宮市博物館
77	藤井外喜雄	[木陰]		板／油彩	23.3 × 32.9	一宮市博物館
78	藤井外喜雄	[午睡]	1932 (昭和 7 年)	板／油彩	24.2 × 33.1	一宮市博物館
79	藤井外喜雄	[少女]		油彩／キャンバスボード	33.6 × 24.3	一宮市博物館
80	藤井外喜雄	[火山]		板／油彩	33.0 × 23.5	一宮市博物館
81	藤井外喜雄	信州杵掛ニテ		板／油彩	23.5 × 33.0	一宮市博物館
82	藤井外喜雄	[風景]		板／油彩	24.5 × 33.3	一宮市博物館

③ 尾張ゆかりの画家たち

No.	作者	作品名	制作年	材質・技法	サイズ (cm)	所蔵
83	杉本健吉	中村風景	1944 (昭和 19 年)	水彩、鉛筆／紙	54.6 × 47.8	一宮市博物館
84	杉本健吉	牡丹	2002 (平成 14 年)	水彩／紙	65.4 × 50.5	一宮市博物館
85	笈忠治	虫眼鏡を持てる老母	1930-1940 (昭和 5-15 年)	油彩／画布	197.0 × 160.5	一宮市博物館
86	笈忠治	帽子をかぶった自画像	1924 (大正 13 年)	コンテ／紙	62.5 × 47.6	一宮市博物館
87	笈忠治	自画像 (絶筆)	2003 (平成 15 年)	鉛筆／紙	35.5 × 25.0	一宮市博物館
88	横井礼以	安藤秋三郎氏肖像		油彩／画布	45.5 × 37.9	一宮市博物館
89	横井礼以	安藤夫人肖像		油彩／画布	45.5 × 37.9	一宮市博物館
90	佐分眞	ブルターニュの女たち	1930 (昭和 5 年)	油彩／画布	130.5 × 162.5	一宮市博物館
91	伊藤廉	A.E. 氏の肖像	1928 (昭和 3 年)	油彩／画布	162.0 × 114.0	一宮市博物館
92	伊藤廉	静物	1935 (昭和 10 年) 頃	油彩／画布	24.0 × 59.2	個人
93	伊藤廉	[静物]		油彩／画布	30.3 × 40.0	個人
94	佐分眞	男の像	1930 (昭和 5 年) 頃	油彩／板	53.0 × 45.3	一宮市博物館
95	佐分眞	婦人像		油彩／板	45.3 × 37.6	一宮市博物館
96	佐分眞	裸婦		油彩／板	45.2 × 37.5	一宮市博物館
97	佐分眞	婦人像	1933 (昭和 8 年) 頃	油彩／板	22.5 × 15.8	一宮市博物館
98	佐分眞	サイゴンの子供		水彩、鉛筆／紙	26.7 × 21.0	一宮市博物館
99	佐分眞	花と果物	1922-1923 (大正 11-12 年) 頃	油彩／画布	59.6 × 71.4	一宮市博物館
100	佐分眞	花	1925 (大正 14 年)	油彩／画布	53.0 × 41.2	一宮市博物館
101	佐分眞	花 (ばら)		油彩／板	33.0 × 23.5	一宮市博物館
102	佐分眞	風景 (パリ近郊)	1927 (昭和 2 年)	油彩／板	37.8 × 45.5	一宮市博物館
103	佐分眞	風景 (水彩)		紙／墨、水彩	42.0 × 49.0	一宮市博物館
104	佐分眞	フランス冬景色		水彩／紙	27.0 × 24.0	一宮市博物館
105	荻須高德	ヴェネツィアの宮殿	1959 (昭和 34 年) 頃	油彩／画布	123.5 × 95.0	一宮市博物館
106	荻須高德	ルールック運河	1957 (昭和 32 年) 頃	油彩／画布	54.0 × 65.0	一宮市三岸節子記念美術館
107	鬼頭鍋三郎	鉄仙花		油彩／画布	40.8 × 31.8	一宮市博物館
108	鬼頭鍋三郎	湖畔 (琵琶湖)		油彩／画布	38.0 × 45.7	一宮市博物館
109	鬼頭鍋三郎	舞妓 (加茂川)	1972 (昭和 47 年)	油彩／画布	51.0 × 44.0	個人
110	鬼頭鍋三郎	白桃とプラム		油彩／画布	45.5 × 60.6	一宮市三岸節子記念美術館
111	大澤海蔵	牧場の女性	1938 (昭和 13 年) 頃	油彩／画布	145.2 × 95.6	一宮市博物館
112	大澤海蔵	松原湖	1931 (昭和 6 年)	油彩／画布	90.3 × 116.2	一宮市博物館
113	大澤海蔵	「さるとりいばら」のある静物	1959 (昭和 34 年)	油彩／画布	116.3 × 100.5	一宮市博物館
114	三岸節子	静物	1942 (昭和 17 年)	油彩／画布	52.7 × 45.0	一宮市三岸節子記念美術館
115	三岸節子	ブルゴーニュの麦畑	1978 (昭和 53 年)	油彩／画布	92.0 × 65.0	一宮市三岸節子記念美術館
116	小磯良平	二人姉妹	1969 (昭和 44 年) 頃	油彩／画布	60.6 × 50.0	個人
117	北川民次	チューリップ	1960 (昭和 35 年)	油彩／画布	45.5 × 33.4	一宮市三岸節子記念美術館
特別出品						
	倉地比沙支	夢想の地		リトエッチング／紙		個人

夏季小展示 土の中のいちのみや

会期 平成 28 年 7 月 16 日 (土) ~ 8 月 21 日 (日)
 主催 一宮市博物館
 会場 小展示室
 印刷物 展示解説書 A 4 判 12 ページ 4,000 部
 観覧料 常設展観覧料 (一般 200 円、高・大学生 100 円、
 小・中学生 50 円)

開館日数 31 日間

入館者数 4,739 人 (152.8 人 / 1 日)

一宮市域には、人が住み始めた約 5000 年前の縄文時代の中期以来、今日までたくさんの人々が住み生活を営んでいた。しかし現在の一宮の町並みからはかつてのいちのみやの姿を想像することは難しい。そんな今では忘れ去られてしまった過去の人々の生活を、一宮市内の遺跡で出土した昔の人々の道具から、かつてのいちのみやの姿を紹介した。

展示構成

- ① 縄文時代 ~いちのみやに人が住み始めた時代~
- ② 弥生時代 ~いちのみやの人口が増えた時代~
- ③ 古墳時代 ~大きなお墓がたくさん造られた時代~
- ④ 古 代 ~文字が使われるようになった時代~
- ⑤ 中 世 ~いちのみやの武士が活躍した時代~
- ⑥ 近 世 ~多くの人々が行きかういちのみや~

出品目録

No.	資料名	出土遺跡	数量	所蔵
1	深鉢	佐野遺跡	1	一宮市博物館
2	石錘	佐野遺跡	9	一宮市博物館
3	石錘の使い方模型	-	1	一宮市博物館
4	打製石斧	佐野遺跡	5	一宮市博物館
5	打製石斧の使い方模型	-	2	一宮市博物館
6	磨製石斧	佐野遺跡	2	一宮市博物館
7	磨製石斧の使い方模型	-	1	一宮市博物館
8	深鉢	馬見塚遺跡	3	一宮市博物館
9	浅鉢	馬見塚遺跡	2	一宮市博物館
10	石鍬	馬見塚遺跡	1	一宮市博物館
11	石鍬の使い方模型	-	12	一宮市博物館
12	深鉢	猫島遺跡	1	一宮市博物館
13	甕	猫島遺跡	2	一宮市博物館
14	細頸壺	猫島遺跡	3	一宮市博物館
15	石包丁	猫島遺跡	3	一宮市博物館
16	土製人面	猫島遺跡	1	一宮市博物館
17	土偶	八王子遺跡	3	一宮市博物館
18	高杯	八王子遺跡	3	一宮市博物館
19	壺	八王子遺跡	3	一宮市博物館
20	甕	八王子遺跡	2	一宮市博物館
21	鉢	八王子遺跡	2	一宮市博物館



No.	資料名	出土遺跡	数量	所蔵
22	石杵	八王子遺跡	3	一宮市博物館
23	壺	元屋敷遺跡	7	一宮市博物館
24	器台	元屋敷遺跡	3	一宮市博物館
25	S字甕	元屋敷遺跡	1	一宮市博物館
26	台付甕	元屋敷遺跡	1	一宮市博物館
27	鉢	元屋敷遺跡	1	一宮市博物館
28	手焙形土器	元屋敷遺跡	1	一宮市博物館
29	蓋杯	塩竈神社古墳	1	一宮市博物館
30	蓋杯	人麿塚古墳	1	一宮市博物館
31	高杯	浅井6号墳	1	一宮市博物館
32	高杯	浅井11号墳	1	一宮市博物館
33	高杯	浅井12号墳	1	一宮市博物館
34	高杯	塩竈神社古墳	2	一宮市博物館
35	細頸壺	人麿塚古墳	1	一宮市博物館
36	平瓶	浅井神社古墳	1	一宮市博物館
37	短頸壺	浅井6号墳	1	一宮市博物館
38	廳	浅井神社古墳	1	一宮市博物館
39	廳	浅井6号墳	1	一宮市博物館
40	馬具片	人麿塚古墳	5	一宮市博物館
41	鉄環	人麿塚古墳	1	一宮市博物館
42	耳環	浅井神社古墳	3	一宮市博物館
43	刀	塩竈神社古墳	1	一宮市博物館
44	鞘尻	浅井神社古墳	1	一宮市博物館
45	小札	人麿塚古墳	5	一宮市博物館
46	碗	大毛沖遺跡	9	一宮市博物館
47	盤	大毛沖遺跡	1	一宮市博物館
48	皿	大毛沖遺跡	4	一宮市博物館
49	高杯	大毛沖遺跡	1	一宮市博物館
50	平瓶	大毛沖遺跡	1	一宮市博物館
51	黒色土器片	大毛沖遺跡	1	一宮市博物館
52	碗	大毛池田遺跡	5	一宮市博物館
53	皿	大毛池田遺跡	4	一宮市博物館
54	仏具	大毛池田遺跡	1	一宮市博物館
55	香炉	大毛池田遺跡	1	一宮市博物館
56	白磁	大毛池田遺跡	2	一宮市博物館
57	政治	大毛池田遺跡	5	一宮市博物館
58	土錘	大毛池田遺跡	7	一宮市博物館
59	硬貨	若宮前遺跡	一括	一宮市博物館
60	碗	苺安賀遺跡	7	一宮市博物館
61	皿	苺安賀遺跡	4	一宮市博物館
62	土瓶	苺安賀遺跡	1	一宮市博物館
63	急須	苺安賀遺跡	1	一宮市博物館
64	蓋	苺安賀遺跡	1	一宮市博物館
65	灯明皿	苺安賀遺跡	2	一宮市博物館
66	土鍋	苺安賀遺跡	1	一宮市博物館
67	播鉢	苺安賀遺跡	1	一宮市博物館
68	硬貨	苺安賀遺跡	8	一宮市博物館
69	土人形	苺安賀遺跡	3	一宮市博物館
70	将棋の駒	苺安賀遺跡	2	一宮市博物館

企画展 2016 一宮美術作家協会展

会期 平成 28 年 8 月 27 日 (土) ~ 9 月 11 日 (日)
 会場 特別展示室、講座室、ラウンジ、1 階ギャラリー、小展示室、2 階ギャラリー
 印刷物 リーフレット A 4 判 3,000 枚
 観覧料 常設観覧料 (一般 200 円、高・大学生 100 円、小・中学生 50 円)
 開館日数 14 日間
 入館者数 1,400 人 (100.0 人/1 日)

一宮美術作家協会会員 73 名の作品を展示。今年度から会員小品を 2 階ギャラリーで展示。

出品者

日本画	梶浦 寿布	平林 幸子	工芸
大島奈知子	加藤 伸	平松 幸雄	石田 元子
加島 昌子	鬼頭 厚生	堀尾 一郎	鵜飼 辰郎
河村 明美	木村 満幸	前野 恒	澤田 進治
嶋 千世子	久保田正信	増田 和臣	下田 心一
高橋 弘子	小出きよ子	三輪 修	土屋 保徳
丹羽 桃慶	後藤 一三	三輪 清弘	林 節子
松岡 彩子	後藤 泰洋	村上佳久子	夫馬 信行
	櫻井 幹郎	山崎 澄	松岡 孝司
洋画	左合 英明	山田 久子	デザイン
伊藤 眞己	佐藤 典子	山田 光代	石井佳代子
井上 悟	佐野 義博	山田 孝	市川 章三
井上 雅夫	すぎもと和	吉川 忠史	鵜飼のはら
岩田 哲夫	関野 敦	吉田まさ子	岡崎 美穂
江村 亨	高森 和子	若月 陽子	百々 佳美
大石 晴美	故 高山 悟		森 昭夫
大島 辰子	滝野 弘次	彫塑	
大島 信人	寺西 洋二	川原 孝文	
大塚 将司	富田 信子	長谷川厚一郎	
小笠原千鶴	野原 三義	真下 賢一	
小倉 照江	野村 緑		
小倉 義夫	橋本 進		

企画展 一宮写真協会選抜写真展

会期 平成 28 年 9 月 15 日 (木) ~ 9 月 25 日 (日)
 会場 特別展示室、講座室、ラウンジ
 印刷物 はがき 3,000 枚
 観覧料 常設観覧料 (一般 200 円、高・大学生 100 円、小・中学生 50 円)
 開館日数 9 日間
 入館者数 1,294 人 (143.7 人/1 日)

一宮写真協会会員のうち 36 名の作品を展示。副題は「伝えたい 36 人の 眼差し」。

出品者

青木 尚子	大矢真理子	白沢 博志	林 孝弘
安藤 治仁	岡田 忠夫	杉山 幸夫	林 都美子
安藤 雅彦	尾関 君代	千田 陸末	夫馬 勲
安藤 義弘	笠野 俊彦	田中 誠	古舘 正芳
伊藤 繁雄	加藤 紀子	坪川 ちえ	水谷 嘉男
今井 彰二	木村 龍雄	所 由紀子	武鹿 千代
今枝 吉宗	木村 晴子	中村 薫	(50 音順)
大久保明美	小島 高子	橋本 秀子	
大西 正信	櫻井 悦子	長谷川蕨江	
大矢 勝利	櫻井 慶子	林 三平	

あいちトリエンナーレ 2016 関連行事

モバイル・トリエンナーレ「旅する展覧会」

会期 平成 28 年 9 月 16 日（金）～ 19 日（月・祝）
開催日数 4 日間
会場 博物館 小展示室、回廊、2 階ギャラリーなど
主催 あいちトリエンナーレ実行委員会、一宮市、一宮市教育委員会
観覧料 無料
入場者数 1,451 人（363 人／日）

あいちトリエンナーレ 2016 関連事業として、参加アーティストの本展出品作とは異なる作品の展示やワークショップを実施した。担当者による展示解説や参加アーティストによる解説に熱心に耳を傾ける来館者の姿が多く見受けられ、子どもたちはらくがきのできる MOBIUM や糸を結ぶネット・プロジェクトなど、体験型の作品を楽しんでいた。

出品作家

ジョアン・モデ、高橋士郎、味岡伸太郎、竹川宣彰、佐々木愛、森北伸、大卷伸嗣、伊藤高志、高嶺剛、小川育、山村浩二、ボリス・ラベ、柴田真理子、中村裕太、タロイ・ハヴィニ、ニコラス・ガラニン、ウダム・チャン・グエン、山田亘、LOCUS FABER ツクロッカ、オスカー・ムリーリョ、キオ・グリフィス、二藤建人、今村文、田島秀彦、岡部昌生

関連催事

作品ガイドツアー

板垣美香氏（あいちトリエンナーレ実行委員会事務局コーディネーター）が展示作品の見どころを分かりやすく解説した。

日時 9 月 17 日（土）・19 日（月・祝） ①午前 11 時～ ②午後 3 時～
会場 博物館 各展示室など
参加費 無料
参加者 9 月 17 日（土） ① 38 人 ② 30 人
9 月 19 日（月・祝） ① 25 人 ② 56 人

LOCUS FABER ツクロッカ

「移動型バスミュージアム MOBIUM：バスを万華鏡にする」

揺れると動くミラーのついた飾り（モビール）を作ってバスの内部を巨大な万華鏡にするワークショップを行った後、バスに乗ってまちを巡り、作品を体感した。

日時 9 月 18 日（日） ①午前 10 時～午前 12 時 ②午後 2 時～午後 4 時
バスの走行時間 午後 11 時 30 分～午前 12 時、午後 3 時 30 分～午後 4 時
（ワークショップに参加していない人も乗車可能）
会場 博物館 たいけんの森
参加費 無料
参加者 ① 20 人 ② 20 人

LOCUS FABER ツクロッカ「らくがきバス」

来場者に、黒板になっているバスの外装に、チョークで絵を描いてもらった。

日時 9 月 18 日（日） 午前 9 時～午後 5 時（バスの走行時間以外）
会場 博物館 南側玄関前
参加料 無料

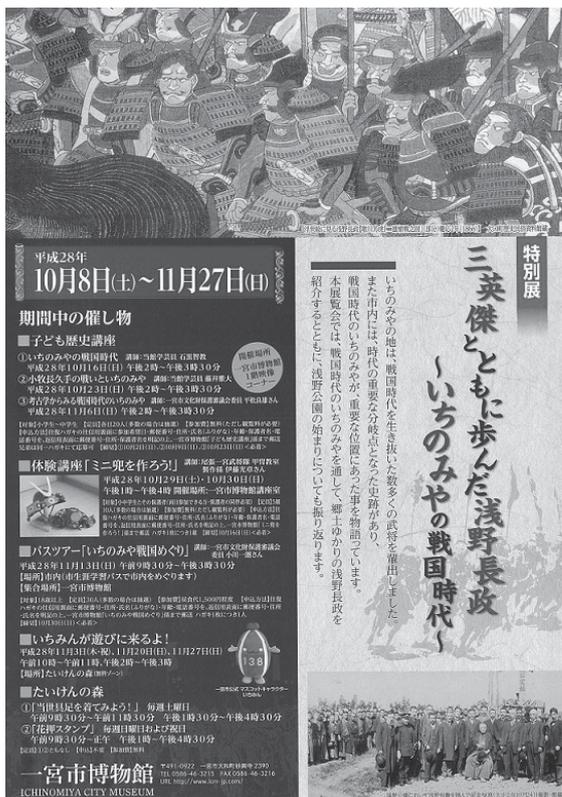
モバイル・トリエンナーレ出品作品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法
1	味岡伸太郎	設楽からの地質調査報告書 16	2016	水彩紙、土
2	味岡伸太郎	一宮からの地質調査報告書 16	2016	水彩紙、土
3	味岡伸太郎	大府からの地質調査報告書 16	2016	水彩紙、土
4	味岡伸太郎	安城・藤井からの地質調査報告書 16	2016	水彩紙、土
5	ニコラス・ガラニン	Tsu Héidei Shugaxtutaan I,II (しまわれていた英知の箱を、再び開けよう)	2006	ビデオ (4分 37 秒 / 4分 06 秒)
6	キオ・グリフィス	Any Colour You Like 1, 2	2016	木、フェルト
7	タロイ・ハヴィニ	カプカブ I,II,III,IV : メラネシアの神秘的な島々より	2015	磁器、_器、銅ラスタース彩、金彩
8	今村文	無題	2008	エンカウスティック、漆喰、パネル
9	今村文	無題	2016	エンカウスティック、漆喰、パネル
10	今村文	無題	2016	エンカウスティック、漆喰、パネル
11	今村文	無題	2016	エンカウスティック、漆喰、パネル
12	今村文	無題	2016	エンカウスティック、漆喰、パネル
13	今村文	無題	2016	水彩、コラージュ
14	ジョアン・モデ	ネットプロジェクト	2003-	ミクストメディア / インスタレーション
15	森北伸	The Voyager	2014	陶、アルミ、アクリル
16	森北伸	mother	2014	アクリル、綿布
17	オスカー・ムリーリョ	フリークエンシーズ・プロジェクト	2014-16	ミクストメディア
18	中村裕太	世界陶片地図 シドニー	2016	陶片、絵葉書
19	ウダム・チャン・グエン	機械騎兵隊のワルツ The Machine Equestrians #12	2012	シングルチャンネル・カラービデオ (4分 34 秒)
20	二藤建人	ZOKINMAN	2016	雑巾、ビデオ (15分 03 秒)
21	大巻伸嗣	Echoes - Infinity	2013	キャンバス、顔料、アルミニウムプレート
22	岡部昌生	Creative Caravan	2015-2016	エアログラム
23	佐々木愛	塩の道	2016	油彩、キャンバス
24	佐々木愛	海と空	2016	油彩、キャンバス
25	佐々木愛	石器	2016	油彩、キャンバス
26	佐々木愛	古代のルート	2016	油彩、キャンバス
27	佐々木愛	森を運ぶ	2016	油彩、キャンバス
28	柴田真理子	華の静物 005-5	2005	陶
29	柴田真理子	華の静物 007-4	2007	陶
30	柴田真理子	華の静物 009-1	2009	陶
31	柴田真理子	華の静物 009-3	2009	陶
32	田島秀彦	splash(16-01)	2016	MDF パネル、アクリル、光ファイバー、 モーター、LED 電球
33	田島秀彦	splash(09-01)	2009	MDF パネル、アクリル、光ファイバー、 モーター、蛍光灯
34	田島秀彦	浴槽とバスタブと日蝕	2012	MDF パネル、アクリル、光ファイバー、 モーター、蛍光灯
35	高橋士郎	babot m273	2016	空気膜造形
36	竹川宣彰	セミの羽化と私 - 3250 年 #3	2008	油彩、キャンバス
37	山田亘	大愛知なるへそ新聞プロジェクト	2016	新聞 (更紙、油性インク)
38	高嶺剛	サシングワー	1973	ビデオ (15 分)
39	伊藤高志	悪魔の回路図	1988	ビデオ (7 分)
40	山村浩二	頭山	2002	ビデオ (10 分)
41	ボリス・ラベ	Kyrielle	2011	ビデオ (10 分)
42	小川育	I Wanna Be Your Friend	2015	ビデオ (4 分)

特別展 三英傑とともに歩んだ浅野長政～いちのみやの戦国時代～

会期 平成28年10月8日(土)～11月27日(日)
 主催 一宮市博物館
 会場 特別展示室、ラウンジ、1階ギャラリー
 印刷物 ポスター(B2) 850枚
 リーフレット(A4) 60,000枚
 展示解説書 16頁 4,000部
 観覧券(4種) 8,200枚
 招待状 600部
 観覧料 一般500円、高・大学生300円、小・中学生200円
 開館日数 42日間
 入館者数 2,821人(67.1人/1日)

いちのみやの地は、戦国時代を生き抜いた数多の武将を輩出した。その中の一人に、いちのみやゆかりの武将、浅野長政がいる。宮後城(現在の江南市)の城主安井重継の子として生まれた長政は、浅野村(現、浅野公園付近)に住んでいた浅野長勝の養子となり、信長、秀吉、家康に仕えた。そして、大正6年、長勝・長政の邸宅跡地に整備された浅野公園は、来る平成29年には開園100周年を迎えた。また一宮市内には、時代の重要な分岐点となった史跡があり、戦国期のいちのみやが、重要な位置にあった事を物語っている。本展示では、いちのみやの戦国期をとおして、郷土ゆかりの浅野長政を紹介するとともに、浅野公園の始まりについても紹介した。



展示構成

- ① いちのみやの戦国時代
- ② 戦国時代の日本列島を記録した地図
- ③ 戦国時代の人々の暮らし
- ④ 妙興寺文書で見る戦国時代
- ⑤ 室町幕府による尾張支配
- ⑥ 群雄割拠する尾張野
- ⑦ 描かれた浅野長政
- ⑧ 浅野公園

関連催事

「子ども歴史講座」

場所 博物館映像コーナー 対象 小学生

① 「いちのみやの戦国時代」

講師 藤井 雅大(当館学芸員)
 日時 10月16日(日) 午後2時～3時30分
 参加者 14人

② 「小牧長久手の戦いといちのみや」

講師 藤井 雅大(当館学芸員)
 日時 10月23日(日) 午後2時～3時30分
 参加者 12人

③ 「考古学からみる戦国時代のいちのみや」

講師 平松 良雄(一宮市文化財保護審議会委員)

日時 11月6日(日)午後2時～3時30分

参加者 4人

「ミニ兜を作ろう！」

講師 伊藤 光章(尾張一宮武将隊 甲冑教室 製作係)

日時 ①10月29日(土) ②10月30日(日)ともに午後1時～4時

会場 博物館講座室

対象 小中学生とその保護者(両日参加できる方)

参加者 ①4組(子ども5人、保護者4人) ②5組(子ども6人、保護者5人)

バスツアー「いちのみや戦国めぐり」

講師 小川 一郎(一宮市文化財保護審議会委員)

日時 平成28年11月13日(日)午前9時30分～3時30分

参加費 昼食代1,500円程度

参加者 34人

「いちみんな遊びに来るよ！」

日時 平成28年11月3日(木、祝)、11月20日(日)、11月27日(日)

いずれも午前10時～11時、午後2時～3時

会場 博物館たいけんの森

No.	資料名	員数	撮影・作成年月日等	所蔵
1	戦国時代の城館・遺跡マップ ※パネル	1		
2	アジア図 紙本印刷彩色(銅版手彩色)	1	アブラハム・オリテリウス 1570年	愛知学院大学図書館情報センター
3	日本図 紙本印刷彩色(銅版手彩色)	1	ルイス・ティセラ 1595年	愛知学院大学図書館情報センター
4	八王子遺跡出土遺物	6		一宮市博物館
5	大毛池田遺跡出土遺物	7		一宮市博物館
6	田所遺跡出土遺物	12		一宮市博物館
7	荻安賀遺跡出土遺物	9		一宮市博物館
8	常滑焼壺・甕	5	15～16世紀	一宮市博物館
9	米俵 ※レプリカ	3		一宮市博物館
10	法圓寺中世墓遺跡 五輪塔及び宝篋印塔	7		一宮市博物館
11	浅野長政略年表	1		
12	浅野長政関連家系図	1		
13	浅野家略系図	1		
14	重要文化財 管領細川勝元施行状	1	長禄3年(1459)4月11日	妙興寺
15	重要文化財 尾張守護斯波松王丸遵行状	1	長禄4年(1460)2月4日	妙興寺
16	重要文化財 織田敏広書状	1	文明5年(1473)6月11日	妙興寺
17	重要文化財 織田敏定判物	1	文明16年(1484)11月6日	妙興寺
18	重要文化財 足利義教像	1	室町時代(15世紀)	妙興寺
19	重要文化財 尾張守護斯波義重書下 ※写真パネル	1	応永15年(1408)9月27日	妙興寺
20	重要文化財 尾張守護代織田常松遵業行状 ※写真パネル	1	応永15年(1408)9月28日	妙興寺
21	重要文化財 尾張守護代織田常松書状 ※写真パネル	1	応永18年(1411)2月19日	妙興寺

No.	資料名	員数	撮影・作成年月日等	所蔵
22	重要文化財 織田氏奉行等連署判物 ※写真パネル	1	永正13年(1516)12月1日	妙興寺
23	重要文化財 織田達広書状	1	(年未詳)9月20日	妙興寺
24	重要文化財 織田広実書状	1	(年未詳)8月21日	妙興寺
25	重要文化財 竹田晴信印判状	1	(永禄12年・1569)3月10日	妙興寺
26	復元模型 紫白糸威仁王胴具足	1	平成26年(2014)制作	館蔵
27	一宮市指定文化財 紫白糸威仁王胴具足	1	天正・慶長年間(1573～1615)	一宮市木曾川資料館
28	茶糸威桶側五枚胴具足(伝浅野長政所用) ※写真パネル	1		大阪城天守閣
29	浅野長政画像 ※写真パネル	1	模写年代不明	東京大学史料編纂所
30	浅野長政室(長生院)画像 ※写真パネル	1	明治37年(1904)写	東京大学史料編纂所
31	浅野幸長書状 吉村橘左衛門宛	1	慶長3年(1598)11月24日	大阪城天守閣
32	浅野幸長状 藤堂高虎宛	1	慶長15年(1610)9月15日	大阪城天守閣
33	紙本著色 山崎合戦図屏風 左隻 六曲一双のうち	1	江戸時代後期(19世紀)	大阪城天守閣
34	太平記 稲葉山之城陥落千生瓢箪由来之図 月岡芳年 大判錦絵三枚続	1	元治元年(1864)	大口町歴史民俗資料館
35	豊臣勤功記内宮島大合戦図 歌川芳虎 大判錦絵三枚続	1	慶応元年(1865)	個人
36	小牧山両将軍合戦之図 歌川芳虎 大判錦絵三枚続	1	明治6年(1873)	個人
37	二雄槍戦之図 歌川芳虎 大判錦絵三枚続	1	慶応2年(1866)	大口町歴史民俗資料館
38	真柴久吉武智主従之首実検之図 歌川芳虎 大判錦絵三枚続 ※写真パネル	1	慶応2年(1866)	古美術もりみや
39	太平記英勇伝 朝野弥兵衛永政 歌川芳虎 中判錦絵 ※写真パネル	1	慶応3年(1867)	古美術もりみや
40	新撰太閤記 朝鮮征伐評定図 歌川豊宣 大判錦絵二枚続	1	明治16年(1883)	個人
41	絵本太閤記 竹内確斎(作)・岡田玉山(挿絵)	7編 48冊	寛政9年(1797) ～享和2年(1802)刊	一宮市立中央図書館
42	浅野長政公傳 浅野忠純著	1	明治43年(1910)刊	一宮市立中央図書館
43	浅野長政公傳 手島益雄著	1	大正9年(1920)刊	一宮市立中央図書館
44	浅野長政公お伽噺 覆面文士著	1	大正6年(1917)刊	一宮市立中央図書館
45	浅野長政公 丹羽郡西成第四尋常小学校発行	1	大正15年(1926)刊	一宮市立中央図書館
46	一宮市指定文化財 刀銘 備州長船則光	1	室町時代中期(15世紀)	若栗神社八幡宮・ 一宮市博物館寄託
47	一宮市指定文化財 刀銘 無銘(伝肥後延寿)	1	室町時代中期(15世紀)	若栗神社八幡宮・ 一宮市博物館寄託
48	一宮市指定文化財 兼松正吉画像 徹源祖侃賛 紙本著色	1	江戸時代前期(17世紀)	若栗神社八幡宮・ 一宮市博物館寄託
49	朱塗椀・高杯	1	年代不詳	若栗神社八幡宮・ 一宮市博物館寄託
50	愛知県指定文化財 鍍金銅製釣灯籠	1	室町時代末 ～安土桃山時代(16世紀)	中島宮・ 一宮市博物館寄託
51	愛知県指定文化財 豊太閤画像 南化玄興賛 紙本著色	1	安土桃山時代(16世紀)	妙興寺
52	東照権現像 絹本濃彩	1	江戸時代前期(17世紀)	長圓寺・ 西尾市岩瀬文庫寄託
53	重要文化財 織田信長禁制写	1	永禄6年(1563)4月17日	妙興寺
54	一宮市指定文化財 草花図屏風 紙本著色	1	室町時代(15世紀)	妙興寺
55	浅野史蹟顕彰会と浅野公園略年表 ※パネル	1		
56	森徳一郎 ※写真パネル	1		一宮市博物館

No.	資料名	員数	撮影・作成年月日等	所蔵
57	浅野長勳 ※写真パネル	1		一宮市博物館
58	浅野長政公宅址標柱と一本杉 ※写真パネル	1	大正2年9月21日撮影	一宮市博物館
59	浅野長政公宅址標柱前にて ※写真パネル	1	大正2年10月24日撮影	一宮市博物館
60	植樹中の浅野公園 ※写真パネル	1	大正5年冬撮影	一宮市博物館
61	浅野公園開園式・記念碑除幕式 ※写真パネル	1	大正6年4月25日撮影	一宮市博物館
62	浅野長政公宅址記念碑前にて ※写真パネル	1	大正6年4月25日撮影	一宮市博物館
63	建築中の有終堂 ※写真パネル	1	大正12年4月頃撮影	一宮市博物館
64	完成した有終堂 ※写真パネル	1	大正13年11月頃撮影	一宮市博物館
65	浅野長勳筆「有終堂」 ※写真パネル	1	大正13年11月頃撮影	一宮市博物館
66	有終堂竣工式 ※写真パネル	1	大正13年11月16日撮影	一宮市博物館
67	浅野史蹟顕彰私記 全	1	昭和6年	一宮市立中央図書館
68	浅野侯爵家御下附史料 全	1	大正元年～大正4年	一宮市立中央図書館
69	愛知県丹羽郡誌	1	大正6年	一宮市博物館
70	浅野荘と浅野氏	1	大正6年	一宮市立中央図書館
71	浅野史蹟顕彰会印鑑類	8	大正6年	一宮市博物館
72	浅野村地籍字分布図 八剣	1	明治21年	一宮市博物館
73	愛知之自治 第3編第5号	1	大正6年	一宮市立中央図書館
74	浅野長政宅跡平面図	1	大正6年	一宮市立中央図書館
75	産業と観光の一宮市とその附近	1	昭和9年	一宮市博物館
76	名鉄電車（西部線）沿線御案内	1	昭和10年	一宮市博物館
77	浅野史蹟案内	1	昭和時代	一宮市博物館
78	有終堂平面図（『往復書類留』）	1	大正11年	一宮市立中央図書館
79	浅野長政公宅址記念祭の歌	1	昭和7年	一宮市立中央図書館
80	財団設立御許可申請書	3	昭和14年	一宮市立中央図書館
81	浅野史蹟輯録	1	昭和16年	一宮市博物館
82	浅野の史蹟	1	昭和46年	一宮市博物館
83	浅野盆踊り唄	1	昭和26年	一宮市立中央図書館
84	絵葉書（浅野史蹟顕彰会発行）	3	大正時代	一宮市博物館
85	浅野史蹟の栞	1	昭和時代	一宮市立中央図書館
86	史蹟浅野公園巡り	1	昭和28年	一宮市立中央図書館
87	第2回つつじ祭り関連資料	1	昭和54年	一宮市博物館

企画展 2016 一宮市現代作家美術秀選展

会期 平成 28 年 12 月 3 日 (土) ~ 12 月 18 日 (日)
 会場 特別展示室、講座室、ラウンジ、1 階ギャラリー、
 小展示室
 印刷物 ポスター B 2 判 700 枚
 リーフレット A 4 判 10,000 枚
 観覧料 常設観覧料
 (一般 200 円、高・大学生 100 円、小・中学生 50 円)
 開館日数 14 日間
 入館者数 1,636 人 (116.8 人 / 1 日)

第 74 回一宮市美術展、2016 一宮総合美術展の成果等を受けて、
 一宮市美術展依頼出品者・市長賞受賞者、一宮美術作家協会・一宮
 書道協会・一宮写真協会推薦者の作品を展示した。



平成28年
12月3日(土)~12月18日(日)
 開館時間 / 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 / 12月5日(日)・12日(日) ※最終日は午後4時30分で終了します
 観覧料 観 / 一般200円(160円)、高校・大学生100円(80円)、小・中学生50円(40円)
 (保護者同伴可) ※17歳以上20歳未満の児童、幼児観覧料半額
 ※本館常設展示は小学生以上観覧無料、他館の小・中学生以上観覧無料
 ※市内各地の展示場以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書を提示された方は無料
 ※身体障害者手帳・聴覚障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳を所持者が1人1人50円は無料
 観前特別観覧販売 / 10月25日(土)~12月2日(金)の他、一宮市役所生涯学習課、一宮市博物館、
 一宮市歴史民俗資料館にて販売
 主催 協 / 一宮市博物館
 協賛 協 / 一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会

一宮市博物館
 〒511-0922 一宮市本郷町南2-3-10
 TEL 0566-46-3213 FAX 0566-46-3216
 URL http://www.ichimiya-museum.jp/

出品者

日本画

大島奈知子
 河村 明美
 名倉 勝三
 松岡 彩子

洋画

井上 雅夫
 岩田 哲夫
 江村 亨
 大島 辰子
 大島 信人
 大塚 将司
 梶浦 寿布
 後藤 泰洋
 櫻井 幹郎
 左合 英明
 すぎもと和
 関野 敦
 高森 和子
 寺西 洋二
 堀尾 一郎
 増田 和臣
 松本 幹永
 三輪 修
 三輪 清弘
 若月 陽子

彫刻・立体

川原 孝文
 櫻井 真理
 庄司 達
 長谷川厚一郎
 真下 賢一

工芸

足立 重喜
 鶴飼 辰郎
 澤田 進治
 鈴木 良子
 林 節子
 松岡 孝司

デザイン

石井佳代子
 鶴飼のはら
 岡崎 美穂
 森 昭夫

書

安藤 蘇道
 伊藤 暁嶺
 伊藤 玄圃
 岩田 潤流
 加藤 松翠
 亀山 雪峰
 川浦 碧涛
 木戸 竹葉
 小島 瑞月
 近藤 芳玉
 佐々 清香
 武山 翠屋
 田代 春苑
 富田 栄榮
 中村 曾南
 則武 穹
 林 如華
 林 大樹
 村上 史麗
 村田 光柊
 森 隆城
 山田 杏華
 鷺野 紫篁

写真

青木 尚子
 安藤 治仁
 伊藤 繁雄
 桜井 悦子
 中村 薫
 橋本 秀子
 林 三平
 夫馬 勲
 武鹿 千代

第 7 回一宮市美術展

市長賞受賞作品

日本画

高木 俊一

洋画

竹本 昭子
 真野 純子
 菅木 龍平

彫刻・立体

森 孝行

工芸

入江 順子

デザイン

梅田 春佳

企画展 くらしの道具 おとな服・子ども服

会期 平成29年1月14日(土)～3月20日(月・祝)

主催 一宮市博物館

会場 特別展示室、小展示室、ラウンジ、1階ギャラリー

印刷物
 ポスター(B2) 600枚
 リーフレット(A4) 60,000枚
 展示解説書(B5、36頁) 6,000枚
 観覧券 2,000枚

観覧料 常設観覧料
 (一般200円、高・大学生100円、小・中学生50円)

開催日数 57日間

入館者数 6,492人(113.8人/1日)

社会科単元「古い道具と昔の暮らし」において、博物館を見学する小学校3年生を対象に、民具を通して昔の暮らしを紹介する展覧会であり、平成3年度からの継続事業である。平成28年度は「おとな服・子ども服」をテーマに、衣類の歴史を取り上げながら、古い道具や昔の暮らしに対する理解を促すことを目標とした。

展示構成は、① くらしの道具を調べよう、② クイズのこみち おとな服・子ども服。

くらし体験講座

①「うすひき体験・きもの体験」

日時 平成29年1月22日(日) 午後2時～3時
 対象 小中学生 参加者 32人

②「日本のたこづくり」

講師 澤木寛(日本の風の会尾張一宮支部会長)
 日時 平成29年1月29日(日) 午後2時～3時
 対象 小学3年生～中学生 参加者 5人

出品目録

1	はいちよう	25	箸立て	49	水漉甕(はんどかめ)	73	火消し壺
2	きりだめ	26	のし板	50	柄杓	74	火ふき竹
3	薬箱	27	のし棒	51	井戸	75	せんば
4	柱時計	28	いずみ	52	棹釣瓶	76	電気釜
5	箒	29	わらぞうり	53	はんぞ	77	火箸
6	蠅叩き	30	下駄	54	洗濯板	78	鍋つかみ
7	おひつ	31	高下駄	55	鹽(たらい)	79	くけ台
8	しゃもじ	32	せいろ	56	しんどかご(3点)	80	あんか
9	米櫃	33	寿司箱	57	鳥籠	81	猫火鉢
10	時刻表	34	汁桶	58	風呂桶	82	湯たんぼ
11	岡持ち	35	いかき	59	風呂籠	83	石油ランプ
12	唐傘	36	ざる	60	横槌	84	がんどう(木製桶型)
13	行李	37	鯉節削り	61	伸子針	85	がんどう(金属製)
14	一斗杓	38	ごま炒り	62	張板	86	仕事着
15	斗かき	39	豆炒り	63	釜	87	長着
16	飯籠	40	酒徳利	64	菜箸	88	張台
17	火鉢	41	弁当箱	65	鍋	89	灰とこぬか
18	炭取箱	42	甕	66	鍋つかみ	90	すり鉢
19	火箸	43	氷冷蔵庫	67	荒神箒	91	こね鉢
20	卓袱台	44	手桶	68	火掻き棒		
21	箱膳	45	石臼	69	十能		すべて一宮市博物館蔵
22	茶碗	46	臼台	70	炭俵		
23	汁碗	47	たわし	71	七輪		
24	箸	48	まな板	72	早鍋		

企画展 **くらしの道具**
おとな服
子ども服

平成29年1月14日(土)～3月20日(月・祝)
 開館特別午前特設30分～午後6時(入館は4時30分まで)
 休館 日毎週月曜日(ただし3月20日は開館) 市内小中学生は観覧無料

くらしの道具の、ナイショのハナシ。
 着た人のしを、学ばせてくれる。
 赤ん坊にいとをいしてつくろくじを。
 いつでもどこでもいっしょにいたから。
 きものや服は、ちよつとあしやべり。

〒491-8922 一宮市大和町砂神寺239番地
 TEL 0586-46-3216 FAX 0586-46-3215
 URL http://www.city-ikoma.jp/

(2) 一宮市木曾川資料館

展覧会・催し物

平成 27 年度

平成 27 年 5 月 8 日 (火) ～ 5 月 31 日 (火)

神谷英男拓本展 (前期)

平成 27 年 6 月 2 日 (火) ～ 6 月 30 日 (火)

神谷英男拓本展 (後期)

平成 27 年 7 月 3 日 (金) ～ 7 月 31 日 (金)

写真で魅せる二宮金次郎像 (前期：一宮市立小学校の金次郎像)

平成 27 年 8 月 4 日 (火) ～ 8 月 30 日 (日)

写真で魅せる二宮金次郎像 (後期：近隣市町小学校の金次郎像)

平成 27 年 7 月 20 日 (木) ～ 8 月 31 日 (月)

壁画作品『アートドッグズ 138』バトンプロジェクト展示

平成 27 年 9 月 5 日 (土) ～ 10 月 31 日 (土)

二つの一豊兜、<見て、触って、かぶって>違いを体感しよう。

平成 27 年 11 月 3 日 (火) ～ 11 月 29 日 (日)

S Pレコードの衣装 レコードジャケットの世界

(前期：コロンビア・テイチク・ポリドール)

平成 27 年 12 月 1 日 (火) ～ 12 月 26 日 (土)

S Pレコードの衣装 レコードジャケットの世界

(後期：ビクター・キング・タイハイ/マーキュリー)

平成 28 年 3 月 3 日 (木) ～ 3 月 27 日 (日)

拓本展イロイロ パート I 松井まこと

平成 28 年 4 月 5 日 (火) ～ 5 月 7 日 (土)

拓本展イロイロ パート II 松井まこと

平成 28 年度

平成 28 年 5 月 8 日 (木) ～ 5 月 30 日 (金)

S Pレコードでたどる 懐かし映画主題歌

「東京行進曲」から「風速 40 米」まで

(前期：戦前戦中篇)

平成 28 年 6 月 1 日 (水) ～ 6 月 30 日 (木)

S Pレコードでたどる 懐かし映画主題歌

「東京行進曲」から「風速 40 米」まで

(後期：戦後篇)

平成 28 年 7 月 3 日 (日) ～ 8 月 28 日 (日)

神谷英男拓本展 ナツメロは好きですか? Part.3

S P盤時代の名曲たち

平成 28 年 9 月 4 日 (日) ～ 10 月 30 日 (日)

一宮甲冑作り同好会作品展示会

平成 29 年 1 月 6 日 (金) ～ 2 月 26 日 (日)

S Pレコード時代を飾る デビュー曲 デビュー盤

平成 29 年 3 月 1 日 (水) ～ 3 月 31 日 (金)

ちょっと変? な S Pレコードの世界

変り種のレコードたちを訪ねて 前期

平成 29 年 4 月 1 日 (土) ～ 4 月 30 日 (木)

ちょっと変? な S Pレコードの世界

変り種のレコードたちを訪ねて 後期

(3) 玉堂記念展示室 一宮市立玉堂記念木曾川図書館 3階

平成 27 年度

展示替え作業（図書館の整理休館日に実施）

- ① 平成 27 年 5 月 14 日（木）
- ② 平成 27 年 7 月 9 日（木）
- ③ 平成 27 年 8 月 13 日（木）
- ④ 平成 27 年 10 月 8 日（木）特別展展示作業
- ⑤ 平成 27 年 11 月 12 日（木）特別展撤収作業
- ⑥ 平成 28 年 1 月 14 日（木）
- ⑦ 平成 28 年 3 月 10 日（木）

特別展 宮脇晴と宮脇綾子 愛のまなざし 同時開催「川合玉堂 自然へのまなざし」

会期 平成 27 年 10 月 9 日（金）～11 月 11 日（水）
 休館日 10 月 13 日（火）・19 日（月）・26 日（月）、
 11 月 2 日（月）4 日（水）・9 日（月）
 開館時間 午前 10 時～午後 6 時
 主催・企画 一宮市・一宮市教育委員会
 会場 玉堂記念展示室、一般展示室
 観覧料 無料
 開館日数 28 日間



宮脇晴《風邪をひいた自画像》
昭和 57 年（1982）（一宮市博物館蔵）



宮脇綾子《ねぶりこ》
昭和 44 年（1969）（一宮市博物館蔵）

一宮市立玉堂記念木曾川図書館 特別展
宮脇晴と宮脇綾子 愛のまなざし
 2015 年 10 月 9 日〔金〕～11 月 11 日〔水〕

近年の新収蔵品を含む一宮市博物館収蔵品のなかから、宮脇晴と宮脇綾子の作品を紹介します。

入館無料

- ◎開館時間＝午前 10 時～午後 6 時
- ◎休館日＝10 月 13 日（火）・19 日（月）・26 日（月）、11 月 2 日（月）・4 日（水）・9 日（月）
- ◎主催＝一宮市・一宮市教育委員会
- ◎学芸員による展示解説 各回午後 3 時から 定員なし 申込不要
 10 月 14 日（水）・17 日（土）・21 日（水）・24 日（土）・28 日（水）・31 日（土）、
 11 月 3 日（火・祝）・7 日（土）・11 日（水）
- ◎所在地＝愛知県一宮市木曾川町外郎田字西郷中 25 番地 ☎0586-84-2346
- ◎交通案内＝名鉄名古屋本線新本曾川駅下車西へ徒歩約 15 分。
 または西尾線中央道外郎田交差点を西へ約 100 メートル。

平成 25 年度に寄贈された新収蔵品を含む当館収蔵品の中から、宮脇晴（1902～85）と宮脇綾子（1905～95）の作品 26 点を紹介した。家族や花々など、身近なものに向けられたふたりの愛のまなざしを感じ取ってもらう内容展示とした。また、同時開催として、木曾川図書館収蔵品の中から川合玉堂作品 9 点を四季ごとに展示し、自然を愛し自らの宗旨を「大自然宗」と名乗った玉堂の自然に向けるまなざしを紹介した。三人の芸術家による三者三様のまなざしに着目しながら、博物館の収集活動の一端を紹介し、芸術文化の振興に資することを目的とした。

同時開催
川合玉堂
自然へのまなざし



川合玉堂《五月雨》 昭和 24 年（1949）
（一宮市立玉堂記念木曾川図書館蔵）

学芸員による展示解説・参加者 ※各回午後 3 時から

- ① 10 月 14 日（水）13 人
- ② 10 月 17 日（土）5 人
- ③ 10 月 21 日（水）5 人
- ④ 10 月 24 日（土）4 人
- ⑤ 10 月 28 日（水）3 人
- ⑥ 10 月 31 日（土）6 人
- ⑦ 11 月 3 日（火・祝）6 人
- ⑧ 11 月 7 日（土）5 人
- ⑨ 11 月 11 日（水）2 人

出品目録

一般展示室

No.	作家名	作品名	時代	所蔵
1	宮脇綾子	らん	昭和 49 年（1974）	一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
2	宮脇綾子	山うど	昭和 42 年（1967）	一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
3	宮脇綾子	干柿（二つづつの）		一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
4	宮脇綾子	ねぶりこ	昭和 44 年（1969）	一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）

No.	作家名	作品名	時代	所蔵
5	宮脇綾子	無花果		一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
6	宮脇綾子	さかな		一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
7	宮脇綾子	はたるいか		一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
8	宮脇綾子	鮎		一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
9	宮脇晴	黒湯		一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
10	宮脇晴	とへの蛙		一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
11	宮脇晴	山のさち		一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
12	宮脇晴	裸婦		一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
13	宮脇晴	裸婦		一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
14	宮脇晴	裸婦		一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
15	宮脇晴	裸婦		一宮市博物館（平成 25 年度寄贈）
16	宮脇晴	巻き貝と花瓶	大正 12 年（1923）	一宮市博物館（平成 14 年度寄贈）
17	宮脇晴	仔猫葡萄の図	大正 14 年（1925）	一宮市博物館（平成 14 年度寄贈）
18	宮脇晴	山への道	大正 12 年（1923）	一宮市博物館（平成 14 年度寄贈）
19	宮脇晴	八事への道	大正 14 年（1925）	一宮市博物館（平成 14 年度寄贈）
20	宮脇晴	高蔵寺玉野川	大正 7 年（1918）	一宮市博物館（平成 14 年度寄贈）
21	宮脇晴	りんご	大正 8 年（1919）	一宮市博物館（平成 14 年度寄贈）
22	宮脇晴	奥能生牢出津港	昭和 43 年（1968）	一宮市博物館（平成 14 年度寄贈）
23	宮脇晴	灼瓶のひなげし	昭和 47 年（1972）	一宮市博物館（平成 14 年度寄贈）
24	宮脇晴	ポニーの少女		一宮市博物館（平成 14 年度寄贈）
25	宮脇晴	風邪をひいた自画像	昭和 57（1982）	一宮市博物館（平成 14 年度購入）
26	宮脇晴	ミルクを飲む幼児	昭和 28（1953）	一宮市博物館（平成 14 年度購入）

玉堂記念展示室

1	新潮雙鶴	昭和 9 年（1934）頃	6	松溪夕靄	明治 35 年（1902）頃
2	柳下野馬図	明治 23 年（1948）	7	筑波	大正 13 年（1924）
3	鶴飼	昭和 29 年（1954）	8	高嶺残雪	昭和 24 年（1949）
4	五月雨	昭和 24 年（1949）頃	9	海辺晩秋	昭和 27 年（1952）頃
5	湖畔秋色図	大正 12 年（1923）頃			

平成 28 年度

展示替え作業（図書館の整理休館日に実施）

- ① 平成 28 年 5 月 12 日（木）
- ② 平成 28 年 7 月 14 日（木）
- ③ 平成 28 年 8 月 10 日（木）
- ④ 平成 28 年 10 月 11 日（木）特別展展示作業
- ⑤ 平成 28 年 11 月 10 日（木）特別展撤去作業
- ⑥ 平成 29 年 1 月 4 日（水）
- ⑦ 平成 29 年 3 月 9 日（木）

特別展 博物館収蔵品展 水墨の美 同時開催「川合玉堂 水墨作品を中心に」

会期 平成 28 年 10 月 14 日 (金) ~ 11 月 9 日 (水)
 休館日 10 月 17 日 (月)・24 日 (月)・31 日 (月)、
 11 月 4 日 (金)・7 日 (月)
 開館時間 午前 10 時~午後 6 時
 主催・企画 一宮市・一宮市教育委員会
 会場 玉堂記念展示室および一般展示室
 観覧料 無料
 開館日数 22 日間

一宮市博物館収蔵品の中から、水墨作品 6 点を紹介した。また同時開催として、木曾川図書館収蔵品の中から川合玉堂作品約 10 点を展示した。水墨と彩色の融和を目指した玉堂の作品とともに、様々な水墨作品を紹介することにより、博物館の収集活動の一端を紹介し、芸術文化の振興に資することを目的とした。

学芸員による展示解説・参加者 ※各回午前 10 時から

- ① 10 月 16 日 (日) 3 人 ② 10 月 20 日 (木) 2 人
- ③ 10 月 22 日 (土) 4 人 ④ 10 月 27 日 (木) 6 人
- ⑤ 11 月 3 日 (木・祝) 5 人 ⑥ 11 月 5 日 (土) 2 人
- ⑦ 11 月 8 日 (火) 2 人

出品目録

一般展示室

No.	作家名	資料名	時代	所蔵
1	中林竹洞	水墨山水図並賛	江戸時代後期 (19 世紀)	一宮市博物館
2	岸駒	漁舟山水図	江戸時代後期 (19 世紀)	一宮市博物館
3	渡辺清	夏景宇治山水之図	江戸時代後期 (19 世紀)	一宮市博物館
4	渡辺清	秋月雁図	江戸時代後期 (19 世紀)	一宮市博物館
5	江馬細香	二十四番花之図並賛	江戸時代後期 (19 世紀)	一宮市博物館
6	村瀬太乙	冬景山水図	江戸時代後期 (19 世紀)	一宮市博物館

川合玉堂作品

1	高嶺残雪	昭和 24 年 (1949)	7	鶺鴒 (画賛)	昭和 15 年 (1940) 頃
2	水墨山水図	大正中期 (1919 頃)	8	ふきのと (画賛)	大正 (1912 ~ 26) 頃
3	八剣神社 (揮毫)	昭和 28 年 (1953) 頃	9	玉堂の自画像	昭和 28 年 (1953)
4	跳鯉	大正 4 年 (1915)	10	写生帖	昭和 30 年 (1955) 頃
5	白礪 (習作)	昭和 5 年 (1930)	11	書簡二月二十六日 (八剣神社揮毫)	昭和 28 年 (1953)
6	香魚	昭和 28 年 (1953)	12	書簡六月十一日 (水墨山水)	昭和 28 年 (1953)



平成 28 年
 10 月 14 日 (金) ~ 11 月 9 日 (水)
 主催：一宮市・一宮市教育委員会 企画：一宮市博物館
 会場：一宮市立玉堂記念木曾川図書館 3 階
 開館時間：午前 10 時~午後 6 時
 休館日：10 月 17 日 (月)・24 日 (月)・31 日 (月)、11 月 4 日 (金)・7 日 (月)

学芸員による展示解説
 10 月 16 日 (日)・20 日 (木)・22 日 (土)・27 日 (木)、
 11 月 3 日 (木・祝)・5 日 (土)・8 日 (火)
 各回午前 10 時から 定員なし 申込不要

3 教育普及

(1) 古文書講座

ひろく郷土一宮の歴史に対する理解を広める一環として、平成4年度から古文書講座を開講している。本講座では一宮市博物館に保管されている市内の近世文書をテキストに使用し、古文書の解読力を養うとともに、江戸時代の民衆生活に関する研究の進展に寄与することを目的とする。

講師 小川 一郎（一宮市文化財保護審議会委員）
会場 一宮市博物館講座室・妙興寺公民館
開講日時 毎月原則第2土曜日午後2時から午後4時。5月～2月の全10回
対象 市内在住・在勤の16歳以上
定員 42人。3か年の修了で修了証を授与。
受講料 テキスト代1,000円

平成27年度

テキスト 「田所村小島家文書」

受講者 1回生16人、2回生9人、3回生4人

日程

- 第1回 5月9日 博物館講座室 開講式・オリエンテーション「小島家の出自について」
- 第2回 6月13日 博物館講座室 「小島家の出自について」
・「福島雅則から小島平右衛門への知行宛行状・同添状」（慶長12年）
- 第3回 7月11日 博物館講座室 「田所村のかたち、支配について」
・「尾州葉栗郡田所村野方改帳」（慶安元年）
・「葉栗郡田所村免定」（元禄16年）
・「亥年免状」（享保4年）
- 第4回 8月8日 妙興寺公民館 「百姓身分としての小島家のすがた」
・「永代相渡し申田之事」（元禄10年）
・「相渡し申新田高田地之事」（正徳2年）
- 第5回 9月12日 妙興寺公民館 「牢人格式宗門自分一札・苗字帯刀の許可願い」
- 第6回 10月10日 妙興寺公民館 「牢人格式宗門自分一札・苗字帯刀の許可願い」
- 第7回 11月14日 妙興寺公民館 「牢人格式宗門自分一札・苗字帯刀の許可願い」
・「恐乍奉願上口上之事」（正保3年）
- 第8回 12月12日 妙興寺公民館 「能拝見、年等御目見の願」
・「御能拝見願書奉願御事」（元文2年）
・「年頭一統 御目見願書之事」「乍恐奉願上御事」（寛保元年）
- 第9回 1月9日 博物館講座室 「宗門自分一札継目中絶につき、藩へ上げた小島家来歴の書き上げ」
- 第10回 2月13日 博物館講座室 「宗門自分一札継目中絶につき、藩へ上げた小島家来歴の書き上げ」、閉講式
・「上（小島丈右衛門より北方代官水谷茂左衛門宛）」（文化12年）

平成28年度

テキスト 「瀬部熊澤家文書」

受講者 1回生11人、2回生9人、3回生8人

日程

- 第1回 5月14日 博物館講座室 開講式・オリエンテーション
- 第2回 6月11日 妙興寺公民館 「尾張藩士引き請け浪人 熊澤十左衛門」
・「瀬部村浪人熊澤十左衛門願いにつき、御広敷詰熊澤与右衛門より小牧陣屋（代官所）宛書状」（文政10年11月）
・「浪人熊澤十左衛門死去、倅多宮十左衛門と改名、引き続き瀬部村に居住させたきにつき、小十人組熊澤与右衛門より同組頭宛書状」（文政2年正月）
- 第3回 7月9日 博物館講座室 「浪人十左衛門と家族 その1」
・「次男兼吉を五明村道音寺弟子にしたきにつき、浪人十左衛門より小牧陣屋宛達書」（天保6年2月）

- ・「浪人十左衛門、家族、懸人・召仕宗門改めにつき、十左衛門より小牧陣屋宛一札」(文政11年3月)
- 第4回 8月13日 妙興寺公民館 「浪人十左衛門と家族 その2」
- ・「娘ゆりを東杉村で暮らさせたきにつき、十左衛門より春日井郡東杉野村庄屋宛一札」(嘉永3年2月)
- 第5回 9月10日 妙興寺公民館 「十左衛門借家住人の不始末 その1」
- ・「借家人初五郎、髪結定吉と無宿者との喧嘩一件への嫌疑につき、十左衛門より小牧陣屋宛達書」(天保4年6月)
- ・「十左衛門敷地内の髪結所での鶏勝負(闘鶏)嫌疑につき、関係の者、関係村々より十左衛門宛口書・詫び状」(安政3年10月)
- 第6回 10月8日 妙興寺公民館 「十左衛門借家住人の不始末 その2」
- ・「借家住人已之吉の医師体・売薬不都合につき、重(十)左衛門より小牧陣屋宛達書」(文久2年閏8月)
- ・「巳之助締まりにつき、重左衛門より勘定奉行所宛請書」(文久2年閏8月)
- 第7回 11月12日 妙興寺公民館 「重(十)左衛門、再縁の綻れを調停」
- 第8回 12月10日 妙興寺公民館 「重(十)左衛門、再縁の綻れを調停」
- ・「重左衛門、再縁の綻れを調停」(年不詳)
- ・「再縁の綻れにつき、一宮伊藤松太郎より熊澤重(十)左衛門宛嘆願書」(年不詳12月)
- 第9回 2月4日 博物館講座室 「重(十)左衛門、宮田村祭礼に貸した馬を傷つけられ訴訟」
- 第10回 3月4日 博物館講座室 「重(十)左衛門、宮田村祭礼に貸した馬を傷つけられ訴訟」、閉講式
- ・「熊澤十左衛門より勘定所宛訴状」(慶応元年9月)
- ・「宮田村より十左衛門宛誤札(詫び状)」(慶応元年11月)

(2) 博物館キッズクラブ

市内の小学校4年生～6年生を主な対象として、シニア会員(継続会員の中学生)も加え、博物館の豊富な資料やネットワークを活用し、さまざまな体験講座を通して、郷土の歴史について学ぶとともに、自主的な思考力・判断力・表現力を培うことを目的として実施した。この活動により、将来の博物館活動支援が可能となる次世代を継続的に育てることも副次的な目標である。平成18年度からの継続事業。

平成27年度

第1回講座「博物館マスターになろう」

日時・会場 平成27年6月14日(日) 午後1時30分～3時 一宮市博物館にて

参加者 8人(会員6人・シニア会員2人)とその保護者

第2回講座「三重県の博物館・美術館ツアー」

日時 平成27年8月2日(日) 午前9時～午後5時

見学先 三重県総合博物館・三重県立美術館

参加者 12人(会員4人・シニア会員2人・保護者等6名)

第3回講座「浮世絵展を見よう！」

日時・会場 平成27年10月25日(日) 午後2時～午後4時 一宮市博物館にて

参加者 7人(会員5人・シニア会員2人)

第4回講座「墨会館を探検しよう」

日時 平成28年3月19日(土) 午前10時～11時

見学先 墨会館(一宮市小信中島字南九反11-1)

参加者 9人(会員4人・シニア会員2人・保護者3人)

平成28年度

第1回講座「尾張洋画入門」

日時・会場 平成28年6月19日(日) 午後2時～3時30分 一宮市博物館にて

参加者 7人(会員6人・シニア会員1人)とその保護者

第2回講座「蒲郡市の博物館・水族館ツアー」

日時・会場 平成 28 年 7 月 17 日（日） 午前 9 時～午後 4 時 30 分
見学先 蒲郡市生命の海科学館・竹島水族館
参加者 19 人（会員 9 人とその保護者）

第 3 回講座「モバイル・トリエンナーレ キッズツアー」

日時・会場 平成 28 年 9 月 17 日（土） 午後 1 時～ 2 時 一宮市博物館にて
参加者 会員 7 人

第 4 回講座「浅野長政と戦国時代を知る」

日時・会場 平成 28 年 11 月 20 日（日） 午前 10 時～ 12 時 一宮市博物館にて
参加者 会員 4 人

第 5 回講座「木曾川資料館で蓄音機を知る」

日時・会場 平成 29 年 3 月 20 日（月・祝） 午後 2 時～ 3 時 一宮市木曾川資料館にて
参加者 7 人（会員 4 人・保護者 3 人）

(3) 講演会

平成 27 年度

尾張平野を語る 20「信仰の歴史と民俗」

一宮市の位置する濃尾平野一特に尾張平野の歴史や文化、自然環境について考えることを目的に、各分野の専門研究者を招いて連続講演会を行うもので、平成 8 年度からの継続事業である。

平成 27 年度は、尾張地域の江戸時代の信仰の歴史と民俗について、専門研究者の方々をお招きし、ご講演いただいた。江戸時代は多様な信仰が華開いた時代であり、人々は霊山・霊場へと旅立ち、様々な民間宗教者が町や村を訪れた。人々の生活の中には信仰と行事が定着し、今にいたっている。「信仰」「歴史」「民俗」をキーワードに、当地域の特徴を考える内容となった。

「尾張から日本三霊山の大巡礼―「三禅定」の旅の歴史―」

講師 加藤 基樹（富山県〔立山博物館〕学芸員）
日時 平成 28 年 3 月 6 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時
会場 博物館講座室
聴講者 110 人

「陰陽師・万歳師・修験者」

講師 林 淳（愛知学院大学文学部教授）
日時 平成 28 年 3 月 13 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時
会場 博物館講座室
聴講者 107 人

「尾張平野の寺院・村・門徒」

講師 蒲池 勢至（同朋大学仏教文化研究所所員）
日時 平成 28 年 3 月 20 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時
会場 博物館講座室
聴講者 128 人

平成 28 年度

尾張平野を語る 21「ウールが支えた洋装文化」

一宮市は近代以降ウールの産地として知られており、市民の方々の関心の高い分野にもなっている。企画展「くらしの道具 おとな服・こども服」（平成 29 年 1 月 14 日（土）～ 3 月 20 日（月・祝））にあわせ、当館所蔵の墨コレクション（艶金興業株式会社旧蔵）の中から、ウールでできた大礼服、行幸啓扈從文官服、フロックコート（明治天皇所用）、背広（佐藤栄作所用）、北白川宮永久王所用の子供服や学習院初等科制服などを展示するのに合わせ、ウールと関連の深い洋装に関する各分野

の専門家を招き、近代日本における洋装文化について紹介する内容とした。

「雑誌『皇族画報』にみる近代皇族のファッション—おとな服・こども服」

講師 青木 淳子（大東文化大学特任准教授）
日時 平成29年2月5日（日） 午後2時～3時
会場 博物館講座室
聴講者 21人

「華麗なる大礼服の二面性—制服の魅力と強制力—」

講師 刑部 芳則（日本大学商学部准教授）
日時 平成29年2月12日（日） 午後2時～3時
会場 博物館講座室
聴講者 19人

「学校制服の成り立ちと移り変わり—衣服のかたちと素材に注目して」

講師 難波 知子（お茶の水女子大学助教）
日時 平成29年2月19日（日） 午後2時～3時
会場 博物館講座室
聴講者 15人

「洋装化ファッションの源泉—日本に伝えられたヨーロッパ・ファッション」

講師 能澤 慧子（東京家政大学教授）
日時 2月26日（日） 午後2時～3時
会場 博物館講座室
聴講者 25人

(4) たいけんの森

開催日 毎週土曜・日曜・祝日・休日（ただし夏休み・冬休み期間中は毎日）
時間 午前10時30分～12時、午後1時～4時30分
会場 博物館2階たいけんの森

平成27年度

「ねんどで一宮のまちをつくろう」

会期 平成27年4月4日（土）～6月28日（日）
内容 小麦粉粘土の建物のミニチュアで一宮のまちを製作。
参加者 217人

「じょうもんキーホルダー」

会期 平成27年7月4日（土）～9月27日（日）
内容 樹脂粘土で土器の形を作り、縄などで模様付けたキーホルダーを作成。
参加者 967人

「かんたん浮世絵」

会期 平成27年10月3日（土）～12月27日（日）
内容 多色刷りの浮世絵版画を、東海道五拾三次の日本橋で体験。
参加者 1,665人

「ミニ凧・こまづくり」

会期 平成28年1月9日（土）～3月27日（日）
内容 簡単な材料で室内でも遊べるミニ凧とこまづくりを体験。

参加者 948 人

「はたおり・糸つむぎ体験」

会期 年間を通して、毎週土・日曜日に開催。

内容 木綿のはたおりと糸つむぎを体験

参加者 1,026 人

平成 28 年度

「ぬりえ」

会期 平成 28 年 4 月 2 日（土）～ 6 月 26 日（日）

内容 有名な絵画を題材にしたぬりえを体験。木曾川図書館より複製絵画 4 点（ゴッホ「自画像」、マネ「笛を吹く少年」、
ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」、岸田劉生「麗子座像」）を借用して展示。

参加者 211 人

「じょうもんキーホルダー」

会期 平成 28 年 7 月 2 日（土）～ 9 月 25 日（日）

内容 樹脂粘土で土器の形を作り、縄などで模様付けたキーホルダーを作成。

参加者 894 人

「当世具足を着てみよう！」

会期 平成 28 年 10 月から 11 月の土曜日

内容 戦国時代の鎧の複製を着る体験。

参加者 82 人

「花押スタンプ」

会期 平成 28 年 10 月から 12 月の日曜・祝日

内容 戦国武将の花押の形をスタンプで学習

参加者 277 人

「ミニ凧&こまづくり」

会期 平成 29 年 1 月 7 日（土）～ 3 月 26 日（日）

内容 簡単な材料で室内でも遊べるミニ凧とこまづくりを体験

参加者 832 人

「はたおり・糸つむぎ体験」

会期 年間を通して、毎週土・日曜日に開催。

内容 木綿のはたおりと糸つむぎを体験

参加者 947 人

(5) 生涯学習出前講座

平成 27 年度

日時	聴講者数	講座名	開催場所／申込団体	講師
平成 27 年 4 月 8 日	143 人	あなたのまちの江戸時代	千秋公民館 / 千秋町連区	石黒智教
平成 27 年 4 月 12 日	90 人	あなたのまちの江戸時代	平松公民館 / 小原長寿会	神田年浩
平成 27 年 4 月 23 日	74 人	遺跡から見たあなたのまちの歴史	浅井町小塞神社 / 一宮市立浅井南小学校	藤井雅大
平成 27 年 7 月 12 日	23 人	川合玉堂の作品と生涯	神明公民館 / 木曾川連区里小牧区	成河端子
平成 27 年 7 月 23 日	6 人	あなたのまちの江戸時代	エムズシティ一宮 / エムズシティ一宮大志会	石黒智教
平成 27 年度 8 月 7 日	180 人	遺跡からみたあなたのまちの歴史	開明公民館 / 高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会開明支部	藤井雅大
平成 27 年 8 月 15 日	25 人	あなたのまちの江戸時代	ゆきおろし / 団欒の家 ゆきおろし	石黒智教
平成 27 年 9 月 14 日	65 人	川合玉堂の作品と生涯	大志公民館 / 大志公民館	成河端子
平成 27 年 9 月 17 日	7 人	遺跡からみたあなたのまちの歴史	エムズシティ一宮パーティールーム / エムズシティ一宮大志会	藤井雅大
平成 27 年 9 月 18 日	98 人	遺跡からみたあなたのまちの歴史	時之島公民館 / 瀬部校区町内会	藤井雅大
平成 27 年 9 月 28 日	95 人	遺跡からみたあなたのまちの歴史	今伊勢公民館 / 今伊勢公民館	藤井雅大
平成 27 年 10 月 9 日	33 人	あなたのまちの江戸時代	今伊勢公民館 / 今伊勢町連区町会長会	石黒智教
平成 27 年 10 月 13 日	110 人	あなたのまちの江戸時代	北方公民館 / 高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会北方支部	石黒智教
平成 27 年 10 月 15 日	198 人	遺跡からみたあなたのまちの歴史	今伊勢公民館 / 一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会今伊勢支部	藤井雅大
平成 27 年 10 月 27 日	80 人	川合玉堂の作品と生涯	木曾川体育館 / 一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会木曾川町支部	成河端子
平成 27 年 11 月 30 日	106 人	あなたのまちの江戸時代	尾西南部公民館 / 高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会朝日支部	石黒智教
平成 27 年 12 月 8 日	49 人	あなたのまちの江戸時代	今伊勢公民館 / 今伊勢愛郷クラブ	石黒智教
平成 28 年 2 月 10 日	15 人	あなたのまちの江戸時代	団欒の家ゆきおろし / 団欒の家ゆきおろし	石黒智教
平成 28 年 3 月 20 日	66 人	あなたのまちの江戸時代	浅野羽根公民館 / 羽白寿会	石黒智教

平成 28 年度

日時	聴講者数	講座名	開催場所／申込団体	講師
平成 28 年 5 月 26 日	25 人	あなたのまちの歴史	ケアハウスユーハウスいわと 1F ロビー / ケアハウスユーハウスいわと	藤井雅大
平成 28 年 7 月 1 日	29 人	あなたのまちの歴史	一宮博物館講座室 / シルバーカレッジ史跡めぐりサークル	石黒智教
平成 28 年 8 月 3 日	110 人	あなたのまちの歴史	奥公民館大会議室 / 社会福祉協議会奥町支部	石黒智教
平成 28 年 8 月 24 日	90 人	あなたのまちの歴史	大志公民館 / 大志老人クラブ連合会	石黒智教
平成 28 年 10 月 4 日	50 人	あなたのまちの歴史	丹羽公民館 / 西成校区	石黒智教
平成 28 年 10 月 13 日	80 人	あなたのまちの歴史	野口公民館 / 浅野校区町内会長会	瀧はる香
平成 28 年 10 月 14 日	31 人	あなたのまちの歴史	今伊勢公民館中会議室 / 今伊勢町連区町会長会	瀧はる香
平成 28 年 10 月 18 日	92 人	あなたのまちの歴史	西成公民館大会議室 / 赤見校区町会長会	石黒智教
平成 28 年 10 月 25 日	19 人	あなたのまちの歴史	チアフル浅井 / ふれあいサロンくわの実	藤井雅大
平成 28 年 11 月 14 日	16 人	川合玉堂の作品と生涯	貴船公民館 / 貴船第 26 重陽会	成河端子
平成 28 年 11 月 21 日	100 人	あなたのまちの歴史	尾西南部公民館 / 高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会朝日支部	藤井雅大

(6) 博物館実習

博物館学芸員資格取得に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から依頼のあった実習生の受け入れを行い、博物館の実務を演習させた。

平成 27 年度

期間 平成 27 年 7 月 9 日 (木)、8 月 11 日 (火) ~ 8 月 16 日 (日) 7 日間

実習生 岐阜聖徳学園大学 1 人、愛知学院大学 2 人、愛知淑徳大学 1 人、愛知大学 1 人、
京都府立大学 1 人、同朋大学 1 人、愛知県立大学 1 人

実習内容 行政文書の整理・配架、歴史・美術工芸・考古の取り扱い等、たいけんの森・出前講座などの普及活動等を実習。

平成 28 年度

期間 平成 28 年 7 月 6 日 (水)、8 月 13 日 (土)、14 日 (日)、16 日 (火) ~ 19 日 (金) 7 日間

実習生 愛知学院大学 1 人、愛知県立大学 1 人、三重大学 1 人、愛知淑徳大学 2 人、中部大学 1 人、名古屋芸術大学 1 人

実習内容 行政文書の整理・配架、歴史・美術工芸・考古の取り扱い等、写真实習、たいけんの森などの普及活動等を実習。

(7) 中学生職場体験学習

職場体験学習として、市内各中学校から依頼のあった生徒の受け入れを行い、博物館の実務を体験させた。

平成 27 年度

期間 7 月・8 月・10 月・11 月

参加者 9 校 18 人 延べ 12 日間

平成 28 年度

期間 7 月・8 月・10 月・11 月

参加者 6 校 12 人 延べ 9 日間

(8) インターンシップ

学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行う制度の一環として、人事課を窓口として受け入れを実施した。

平成 27 年度

期間 平成 27 年 9 月 15 日 (火) ~ 9 月 20 日 (日) 6 日間

実習生 愛知県立大学 1 人

平成 28 年度

期間 平成 28 年 9 月 6 日 (火) ~ 9 月 10 日 (土) 5 日間

実習生 愛知大学 1 人

(9) 異校種・社会体験研修の受け入れ

小中学校の教員で、10 年経験者の研修の一環として、異校種・社会体験研修の受け入れを実施した。

平成 27 年度

期間 平成 27 年 7 月 30 日 (木)・8 月 5 日 (水)・8 月 6 日 (木)

研修者 一宮市立丹陽小学校・教諭 1 人

平成 28 年度

期間 平成 28 年 8 月 2 日 (火)
研修者 清須市立春日中学校・教諭 1 人

期間 平成 28 年 8 月 25 日 (木)・26 日 (金)
研修者 稲沢市立平和中学校・教諭 1 人

(10) 子ども向けクイズ

子どもたちに常設展示を楽しんでもらうことを目的として、「たんけんカード」(シルエットクイズ)を平成 27 年 7 月より実施。その後、平成 28 年に始めた「シルエットクイズ」は、展示資料のシルエットのみを掲出したシートを受付で配布し、常設展示室の中で探し出して資料名を記入するもの。参加者には、「武将カード」などを進呈。

平成 27 年度 たんけんカード 参加者 1,381 人

平成 28 年度 たんけんカード・シルエットクイズ 参加者 1,482 人

(11) 刊行物

展示図録・解説書等

平成 27 年度企画展「合併 10 周年 いちのみやのあゆみ」解説書 平成 27 年 4 月 25 日発行 4,000 部 無料

平成 27 年度夏季小展示「うつわのうつりかわり」解説書 平成 27 年 7 月 18 日発行 2,000 部 無料

平成 27 年度特別展「浮世絵展～描かれた風景～」図録 平成 27 年 10 月 3 日発行 1,000 部 1,100 円

平成 27 年度企画展「くらしの中の民具」解説書 平成 28 年 1 月 9 日発行 6,000 部 無料

平成 28 年度企画展「尾張洋画入門」解説書 平成 28 年 5 月 21 日発行 4,000 部 無料

平成 28 年夏季小展示「土の中のいちのみや」解説書 平成 28 年 7 月 16 日発行 4,000 部 無料

平成 28 年度特別展「三英傑とともに歩んだ浅野長政」図録 平成 28 年 10 月 8 日発行 1,000 部 900 円

平成 28 年度企画展「くらしの道具」解説書 平成 29 年 1 月 14 日発行 6,000 部 無料

所蔵品目録・調査報告書等

「一宮市博物館年報(14) 平成 25・26 年度事業報告」平成 28 年 3 月 31 日発行 600 部 無料

博物館だより

N o. 56 平成 27 年 10 月 1 日発行 2,000 部

N o. 57 平成 28 年 3 月 31 日発行 2,000 部

N o. 58 平成 29 年 1 月 12 日発行 2,000 部

N o. 59 平成 29 年 3 月 31 日発行 2,000 部

一宮市内小中学校向け情報紙「こみみ通信」

第 85 号 平成 27 年 4 月 10 日発行

第 86 号 平成 27 年 6 月 20 日発行

第 87 号 平成 27 年 10 月 1 日発行

第 88 号 平成 27 年 12 月 1 日発行

第 89 号 平成 28 年 5 月 1 日発行

第 90 号 平成 28 年 7 月 1 日発行

第 91 号 平成 28 年 9 月 1 日発行

第 92 号 平成 28 年 11 月 1 日発行

第 93 号 平成 29 年 1 月 1 日発行

第 94 号 平成 29 年 3 月 1 日発行

4 利用状況

(1) 資料貸出

平成 27 年度

許可日 平成 27 年 5 月 10 日
申請者 一宮市三岸節子記念美術館
資料 土田麦僊「花と金魚鉢」 土田麦僊「美人草に鳩」
目的 特別展「一宮の文人野村一志と土田麦僊をめぐる画家たち」展（平成 27 年 10 月 3 日～11 月 23 日）

許可日 平成 27 年 10 月 13 日
申請者 多治見市美濃焼きミュージアム
資料 法圓寺中世墓遺跡出土資料 17 点、遺構写真 8 点
目的 企画展『天国へのやきもの—美濃の蔵骨器と、骨壺のいま—』（平成 27 年 12 月 18 日～平成 28 年 4 月 10 日）

許可日 平成 27 年 11 月 19 日
申請者 井原市立田中美術館
資料 棟方志功作品 21 点（「大和し美し」 6 点、「阿童女の柵」 1 点、「咩童子の柵」 1 点、「空海頌版画柵」（上・下）
2 冊、「善知鳥版画巻」 10 点、「砂山の柵」 1 点）
目的 秋季特別展「棟方志功—平櫛田中を「先醒」と呼んだ板画家」

許可日 平成 27 年 12 月 8 日
申請者 一宮市尾西歴史民俗資料館
資料 起町役場文書 全 15 点（①議事録留、②明治三十九年起 至四十四年 町会々議録綴 第一号、③明治四十五年
起 至大正五年 町会々議録綴 第二号、④大正六年起 大正十年至 町会々議録綴 第参号、⑤自大正十一年
至全十二年 町会々議録綴、⑥自大正十三年 至大正十五年 町会々議録綴、⑦自昭和六年 至全八年 町会々議
録綴、⑧明治四十五年起 町会決議録綴 第二号、⑨大正六年起 至大正九年 町会決議録綴 第参号、⑩大正十
年起 町会決議録綴、⑪大正十二年 町会決議書類綴、⑫大正十三年 町会決議書類綴、⑬大正十五年 町会決議書
綴、⑭昭和七年 町会決議綴、⑮昭和九年 合併関係綴）
目的 企画展「織物のまち—大正・昭和の起町—」（平成 28 年 1 月 16 日～2 月 28 日）

許可日 平成 28 年 3 月 4 日
申請者 愛知県陶磁美術館
資料 門間沼遺跡出土赤彩広口壺 1 点、大毛池田遺跡出土 緑釉椀 1 点
目的 常設展「日本と世界のやきもの」（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

許可日 平成 28 年 3 月 10 日
申請者 一宮市尾西歴史民俗資料館
資料 堀切コレクション時代布目録襤褸 06940 キタ 29
目的 展覧会のための調査・研究（閲覧・複写）

許可日 平成 28 年 3 月 17 日
申請者 徳川美術館
資料 浮世絵体験キット 一式（体験用資料）
目的 春季特別展「ぶらり浮世絵散歩—平木名品コレクション—」会期中の土曜子ども教室で使用（借用期間 平成 28
年 3 月 17 日～5 月 31 日）

許可日 平成 28 年 6 月 1 日
申請者 知多市歴史民俗博物館
資料 神原鳳章斎「春景山水図」、神原鳳章斎「亀上男子図」
目的 特別企画展「神原鳳章斎 祭礼幕を描いた絵師」（前期 平成 28 年 10 月 29 日～11 月 27 日、後期 平成 28 年 11
月 29 日～12 月 18 日）

許可日 平成 28 年 7 月 28 日
申請者 一宮市国際交流協会事務局
資料 民族衣装 (体験用資料) 115 点
目的 協会設立 25 周年記念事業 七夕まつり「グローバル商店街」(平成 28 年 7 月 30 日・31 日) 民族衣装を着て記念撮影を行うブースにて使用

許可日 平成 28 年 8 月 5 日
申請者 岐阜県博物館
資料 円空作 観音菩薩立像 (稲沢市板葺町・阿弥陀堂所蔵、一宮市博物館寄託)
目的 特別展「東海地方の円空仏—その造形と足跡をたどる—」(平成 28 年 9 月 23 日～ 11 月 20 日)

許可日 平成 28 年 9 月 15 日
申請者 一宮市国際交流協会事務局フレンドシップフェスティバル
資料 民族衣装 (体験用資料) 115 点
目的 協会設立 25 周年記念事業 世界をあそぼう!フレンドシップフェスティバル 2016 (平成 28 年 10 月 1 日・10 月 2 日) 民族衣装を着て記念撮影を行うブースにて使用

平成 28 年度

許可日 平成 29 年 1 月 14 日
申請者 一宮市三岸節子記念美術館
資料 絵画 全 39 点 (①狩野安信《菟兎図》江戸時代前期、②源J《岩上雉之図》江戸時代後期、③椿椿山《蓮池白鷺図》、④森高雅《雪蘆白鷺図》、⑤喜田華堂《蔓花狗児図》1887 年、⑥喜田華堂《滝猿之図》江戸時代後期—明治初期、⑦喜田華堂《富貴祝寿之図》明治 10 (1877) 年、⑧鈴木松年《普賢三尊図 象背普賢之図》、⑨鳳柳《月下狸之図》、⑩森狙仙《藤三猿之図》江戸時代後期、⑪浅井星洲《瀑布猿之図》江戸時代後期、⑫川合玉堂《小春日》明治—大正頃、⑬望月金鳳《月下の熊》、⑭望月金鳳《虎》、⑮服部石仙《麦と狐》、⑯森泰石《猛虎之図》、⑰加藤英舟《ライオン之図》、⑱我妻碧宇《鶉》、⑲松本盛春《秋草双鶏図》大正 15 (1926) 年、⑳森半景《雪松群雀図》、㉑水谷芳年《初夏花鳥図》、㉒佐々木尚文《朝顔》昭和前期、㉓川合玉堂《長閑》昭和 15 (1940) 年頃、㉔川合玉堂《鶉飼》昭和 29 (1954) 年、㉕山喜多二郎太《農村風景》昭和 22 (1947) 年、㉖山喜多二郎太《山村の春》1955—59 年頃、㉗山喜多二郎太《林間の猿》1955—59 年頃、㉘寛忠治《ノラ 2》1988 年 3 月頃、㉙寛忠治《ノラ 5》1988 年 3 月頃、㉚宮脇晴《仔猫葡萄図》1925 年、㉛宮脇綾子《さかな》、㉜宮脇綾子《鮎》、㉝伊万里《染付青磁鳳凰文輪花大皿》江戸中期、㉞伊万里《色絵鳳凰文盃洗》江戸後期、㉟伊万里《染付芦鷺丸文大鉢》江戸後期、㊱伊万里《色絵花蝶文蓋茶碗》江戸後期、㊲瀬戸《馬の目皿》江戸後期、㊳瀬戸《仁清蛤向付》江戸後期、㊴犬山《染付海老絵徳利》明治)
目的 企画展「びじゅつ動物園」(平成 29 年 2 月 4 日～ 3 月 5 日)

許可日 平成 28 年 3 月 4 日
申請者 愛知県陶磁美術館
資料 門間沼遺跡出土赤彩広口壺 1 点、大毛池田遺跡出土 緑釉椀 1 点
目的 常設展「日本と世界のやきもの」(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

許可日 平成 28 年 1 月 29 日
申請者 愛知県陶磁美術館
資料 ①変形蓮華文軒丸瓦 中島廃寺 ②素弁八弁蓮華文軒丸瓦 中島廃寺 ③鬼瓦 中島廃寺
④単弁九弁蓮華文軒丸瓦 長福寺廃寺 ⑤単弁八弁蓮華文軒丸瓦 伝法寺廃寺
⑥四重弧文軒平瓦 伝法寺廃寺
目的 企画展『瓦万華鏡』(平成 29 年 4 月 15 日～ 6 月 25 日)

(2) 写真等利用

平成 27 年度

- 許可日・資料 平成 27 年 4 月 2 日、「紙本著色足利義教像」(重要文化財・妙興寺蔵)
申請者・目的 日テレアックスオン、静岡第一テレビ制作「まさか! ? のニッポン献上品」番組内紹介
- 許可日・資料 平成 27 年 4 月 22 日、馬見塚遺跡出土 玉類 5 点
申請者・目的 国立大学法人 熊本埋蔵文化財調査センター助教 大坪志子、『縄文玉文化の研究』(仮)掲載
- 許可日・資料 平成 27 年 6 月 3 日、空襲後の一宮市街地の被害状況写真 11 点
申請者・目的 岡山市長、岡山空襲展示室「第 38 回岡山戦災の記録と写真展-つないでいく記録と記憶-」展示
- 許可日・資料 平成 27 年 9 月 3 日、長谷川秀一・兼松正吉肖像画
申請者・目的 一宮市役所情報推進課、138 マップのコンテンツ「武将マップ」掲載
- 許可日・資料 平成 27 年 9 月 5 日、墨コレクション 陣羽織 104 点
申請者・目的 共立女子大学名誉教授 齊藤昌子、共立女子大学・共立女子短期大学櫻友会福岡支部主催の講演会(平成 27 年 11 月 1 日)「陣羽織の染料について」で使用
- 許可日・資料 平成 27 年 9 月 25 日、歌川広重「保永堂版 東海道五拾三次之内 日本橋」
申請者・目的 一宮市立市民病院管理課、市民病院 院内情報誌「院内コレクション」表紙
- 許可日・資料 平成 27 年 10 月 2 日、仁王胴具足(復元)籠手の表地(家地)
申請者・目的 (株)美術出版社、月刊『美術手帖』(2015 年 11 月号)特集「京都、職人技の美」掲載
- 許可日・資料 平成 27 年 10 月 13 日、法圓寺中世墓遺跡出土資料(17 点)・法圓寺中世墓遺跡遺構写真(8 点)
申請者・目的 多治見市美濃焼きミュージアム、企画展『天国へのやきもの-美濃の蔵骨器と、骨壺のいま-』印刷物等
- 許可日・資料 平成 27 年 10 月 27 日、尾張太古図・明治 20 年作成中嶋郡全図・大正 4 年一宮町案内図
申請者・目的 一宮市観光案内所、開所 3 周年記念イベント展示におけるパネル作成
- 許可日・資料 平成 27 年 11 月 26 日、馬見塚遺跡出土の合口土器棺・大毛池田遺跡出土の緑釉椀
申請者・目的 愛知県史編さん室、『愛知県史 通史編 1 原始・古代』掲載
- 許可日・資料 平成 27 年 12 月 26 日、「紙本著色足利義教像」(重要文化財・妙興寺蔵)
申請者・目的 実教出版株式会社、高等学校用検定教科書『高校日本史 B 新訂版』掲載
- 許可日・資料 平成 27 年 12 月 27 日、浅野寺沢家文書・熊澤家文書(保管)・旧丹陽村役場文書(所蔵)
申請者・目的 愛知県史編さん室、『愛知県史 資料編 23 近世 9 維新』『愛知県史 資料編 36 現代』掲載
- 許可日・資料 平成 28 年 1 月 15 日、ばしょう踊の写真
申請者・目的 北方町地域づくり協議会、「北方町史跡マップ」掲載
- 許可日・資料 平成 28 年 1 月 18 日、陣羽織 4 点
申請者・目的 一宮地場産業ファッションデザインセンター、メールマガジン掲載
- 許可日・資料 平成 28 年 2 月 3 日、「岩塚古墳石棺発掘」(『新編一宮市史』本文編 上、p.127 図 4-22)
申請者・目的 愛知県史編さん室、『愛知県史 通史編 1 原始・古代』及び付録 C D-R O M 版に掲載
- 許可日・資料 平成 28 年 3 月 4 日、大毛沖遺跡出土墨書土器 3 点・門間沼遺跡出土墨書土器 1 点
申請者・目的 国立歴史民俗資料館、『古代出土文字資料画像データベース』掲載

許可日・資料 平成 28 年 3 月 22 日、絵画 21 点
申請者・目的 有限会社風媒社、中山真一著『愛知洋画壇物語 P A R T II』（仮題）掲載

平成 28 年度

許可日・資料 平成 28 年 4 月 23 日、法圓寺中世墓遺跡遺構写真（第 2 次調査区全景）
申請者・目的 愛知県史編さん室、『愛知県史 資料編 5 考古 5 鎌倉～江戸』掲載

許可日・資料 平成 28 年 5 月 5 日、「黒田小」旧木曾川郵便局など 5 枚（木曾川町史編さん時の写真資料で博物館蔵）
申請者・目的 一宮市民会館等指定管理者、木曾川文化会館オープニングイベント「わが町木曾川写真展」チラシ

許可日・資料 平成 28 年 5 月 10 日、「紙本著色足利義教画像」（重要文化財・妙興寺蔵）1 点
申請者・目的 株式会社ランズ、「日本歴史大地図」（仮題）（発行社 株式会社ユーキャン）掲載

許可日・資料 平成 28 年 5 月 20 日、馬見塚遺跡旧ハッカ地点出土 下呂石（石核・剥片）
申請者・目的 愛知県埋蔵文化財センター、『研究紀要 第 17 号』掲載

許可日・資料 平成 28 年 6 月 1 日、黄フェルト地鶴模様笹紋陣羽織（墨コレクション）
申請者・目的 株式会社岩崎書店、『賢治童話ビジュアル事典（仮題）』掲載

許可日・資料 平成 28 年 6 月 7 日、墨コレクション大礼服 2 点
申請者・目的 法政大学出版局、『帝国日本の大礼服（仮題）』に掲載

許可日・資料 平成 28 年 6 月 10 日・平成 28 年 7 月 8 日（追加申請）、墨コレクション宮内官（勅任官）大礼服など 6 点
申請者・目的 吉川弘文館、『日本生活史辞典』掲載

許可日・資料 平成 28 年 9 月 18 日、火事装束一具（目録Ⅱ-2）・火事装束一具（目録Ⅱ-3）
申請者・目的 津山郷土博物館、特別展「行列を組む武士たち-津山藩松平家の行列図より」展示・図録

許可日・資料 平成 28 年 10 月 27 日、「結城縞織屋の図」復元模型
申請者・目的 富士精工株式会社、日刊工業新聞 別刷愛知特集『愛知ものづくり史』掲載

許可日・資料 平成 28 年 12 月 14 日、浅野公園関連写真 12 点
申請者・目的 浅野史蹟顕彰会、浅野公園 100 周年記念式典の記念品クリアファイルの作成

許可日・資料 平成 29 年 1 月 26 日、大平遺跡出土遺物の実測図
申請者・目的 愛知県史編さん室、『愛知県史 資料編 5 考古 5 鎌倉～江戸』掲載

許可日・資料 平成 29 年 2 月 7 日、「紙本著色足利義教像」（重要文化財・妙興寺蔵）
申請者・目的 有限会社コーベット・フォトエージェンシー、高校生向け日本史まとめ教材『ポイント整理日本史』掲載

許可日・資料 平成 29 年 2 月 23 日、足利義教像（妙興寺蔵）
申請者・目的 株式会社アルバ、『戦いで読む 日本の歴史』掲載

(3) 施設利用

平成 27 年度

日時 期間	施設	開催場所／申込団体
4月1日(水)～7日(火) 午前 5.5日	特別展示室	「伝統創作版画家瀧秀水先生源氏物語十二作完成記念展覧会」実行委員会(版画の展示)
5月31日(月) 1日	和室	萌木会(茶道研究会)
7月19日(日) 午前 0.5日	講座室	愛知県石器石材調査(調査)
7月30日(木)～8月2日(日) 4日	講座室	一宮青陶会(陶芸作品の展示)
8月2日(日) 午後～9日(日) 6.5日	ギャラリー	すぎもと和(絵画の展示)
8月5日(水)～26日(水) 午前 18.5日	特別展示室・講座室	学校教育課(「第64回一宮市子ども写生大会作品展」)
9月1日(火)～13日(日) 12日	ギャラリー	小倉義夫・小倉照江(絵画の展示)
10月20日(火)～25日(日) 6日	ギャラリー	横平愛(イラストの展示)
11月8日(日) 1日	和室	萌木会(研究会)
12月6日(日) 1日	和室	中島恭子(茶会)
(平成28年)		
1月9日(土) 午後～10日(日) 1.5日	和室	清真会(茶道)
2月6日(土)～7日(日) 2日	和室	萌木会(茶道)

平成 28 年度

日時 期間	施設	開催場所／申込団体
4月26日(火) 午前 0.5日	和室	なのの会(香道の体験)
5月3日(火)～8日(日) 5日	ギャラリー	宇佐美佳代(ボールペン画の展示)
5月21日(土)～22日(日) 2日	和室	おもてなしの会(茶会)
6月21日(火)～26日(日) 6日	ギャラリー	Café ふろーりす(絵画の展示)
7月1日(金) 0.5日		シルバーカレッジ史跡めぐりサークル(講座)
7月21日(木)～26日(火) 4.5日	特別展示室・講座室	響愛学園(アート作品の展示)
7月28日(木)～31日(日) 4日	講座室	一宮青陶会(陶芸作品の展示)
8月2日(火)～24日(水) 18.5日	特別展示室・講座室	学校教育課(第65回一宮市子ども写生大会作品展)
8月7日(日) 午後～14日(日) 5.1日	ギャラリー	すぎもと和(絵画の展示)
8月16日(火)～24日(水) 7日	ギャラリー	Café ふろーりす(クラフト作品の展示)
9月21日(水)～30日(金) 9日	ギャラリー	Café ふろーりす(絵画の展示)
10月6日(木)～13日(木) 6日	ギャラリー	Café ふろーりす(着物の展示)
10月25日(火)～30日(日) 6日	ギャラリー	楽陶会&日中古墨・書道(書と陶芸作品の展示)
11月1日(火)～13日(日) 11日	ギャラリー	田中佐知男(絵画の展示)
11月15日(火)～20日(日) 6日	ギャラリー	Café ふろーりす(絵画の展示)
11月22日(火)～27日(日) 5日	ギャラリー	伊勢型紙同好会(伊勢型紙の展示)
11月30日(水)～12月11日(日) 11日	ギャラリー	Café ふろーりす(クラフト作品の展示)
12月13日(火)～18日(日) 6日	ギャラリー	Café ふろーりす(クラフト作品の展示)
(平成29年)		
1月11日(水)～22日(日) 11日	ギャラリー	Café ふろーりす(クラフト作品の展示)
1月24日(火)～2月5日(日) 11日	ギャラリー	Café ふろーりす(絵画の展示)
2月16日(木) 午後 0.5日	講座室	愛知県史跡整備市町村協議会(会合)
2月26日(日) 1日	和室	益心会(茶会)
2月21日(火)～3月2日(木) 9日	ギャラリー	Café ふろーりす(絵画の展示)
3月3日(金)～19日(日) 9日	ギャラリー	Café ふろーりす(書とクラフトの展示)
3月22日(水)～31日(金) 9日	ギャラリー	Café ふろーりす(絵画の展示)
3月24日(金)～4月9日(日) 15日	講座室	松原憲司(絵画の展示)

(4) 入館者統計

一宮市博物館

平成 27 年度

	開館 日数	個人			団体			減免			未就学児	招待	無料利用	団体数	合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中					
4月	25	296	8	10	0	0	0	473	0	199	37	52	1,113	0	2,188
5月	27	509	21	11	68	0	0	479	0	79	34	199	91	2	1,491
6月	25	159	13	4	55	0	0	181	0	48	29	23	73	2	585
7月	27	251	24	10	0	0	0	307	0	202	24	31	145	0	994
8月	26	447	36	30	0	0	0	402	0	790	197	825	1,664	0	4,391
9月	26	1,554	28	5	78	0	0	864	7	89	36	297	97	3	3,055
10月	27	1,179	29	11	54	0	0	1,435	0	148	46	464	177	2	3,543
11月	24	1,126	32	18	21	0	0	1,317	0	171	74	571	154	1	3,484
12月	23	980	10	9	106	0	0	730	0	116	30	220	159	4	2,360
1月	24	372	10	39	232	0	0	392	0	1,818	51	196	112	1	3,222
2月	23	353	9	9	0	0	0	316	0	1,970	66	116	84	0	2,923
3月	27	347	14	9	20	0	0	472	0	361	48	54	78	1	1,403
合計	304	7,573	234	165	634	0	0	7,368	7	5,991	672	3,048	3,947	16	29,639
														開館以来累計	736,762

平成 28 年度

	開館 日数	個人			団体			減免			未就学児	招待	無料利用	団体数	合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中					
4月	26	156	13	10	0	0	0	137	0	75	24	15	93	0	523
5月	25	359	15	9	144	0	1	506	0	93	30	85	176	2	1,418
6月	26	557	12	5	21	0	0	607	0	90	30	304	111	1	1,737
7月	27	220	23	12	6	0	0	389	8	124	32	16	663	0	1,493
8月	25	419	39	39	38	0	0	420	42	700	181	814	1,783	1	4,475
9月	25	761	20	0	0	0	0	939	5	209	108	321	785	0	3,148
10月	26	456	5	10	0	0	0	548	0	145	56	205	247	0	1,672
11月	24	397	7	14	22	0	0	744	0	101	30	181	1,085	1	2,581
12月	23	499	13	7	0	0	0	732	0	108	32	346	349	0	2,086
1月	23	260	5	14	32	0	0	292	1	1,309	50	141	208	1	2,312
2月	24	345	6	14	27	30	0	417	0	2,305	77	53	245	2	3,519
3月	27	243	9	16	20	0	0	306	0	598	55	114	385	1	1,746
合計	301	4,672	167	150	310	30	1	6,037	56	5,857	705	2,595	6,130	9	26,710
														開館以来累計	763,472

木曾川資料館

平成 27 年度

	開館 日数	個人			団体			団体数	合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中		
4月	25	297	0	7	2,229	0	0	2	2,533
5月	27	281	0	19	47	0	135	4	482
6月	25	260	0	2	0	0	0	0	262
7月	27	319	0	4	0	0	0	0	323
8月	26	318	0	28	50	0	0	5	396
9月	26	373	0	24	0	0	0	0	397
10月	27	348	0	7	0	0	151	2	506
11月	24	353	0	3	0	0	0	0	356
12月	23	279	0	0	0	0	0	0	279
1月	24	277	0	3	0	0	0	0	280
2月	23	263	0	2	37	0	0	1	302
3月	27	365	0	5	0	0	0	0	370
合計	304	3,733	0	104	2,363	0	286	14	6,486

平成 28 年度

	開館 日数	個人			団体			団体数	合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中		
4月	26	232	0	0	0	0	0	0	232
5月	25	332	0	4	0	0	135	1	471
6月	26	379	0	7	0	0	0	0	386
7月	27	318	0	6	0	0	0	0	324
8月	25	312	0	2	0	0	0	0	314
9月	25	344	0	1	30	0	0	1	375
10月	26	487	0	5	0	0	89	1	581
11月	24	339	0	0	70	0	0	1	409
12月	23	262	0	0	83	0	0	1	345
1月	23	215	0	0	0	0	106	1	321
2月	24	260	0	2	75	0	0	2	337
3月	27	261	0	4	0	0	0	0	265
合計	301	3,741	0	31	258	0	330	8	4,360

豊島記念資料館

平成 27 年度

利用日	利用者	利用者数
平成 27 年 4 月 8 日 (水)	FDC、個人 1 件	3
平成 27 年 4 月 11 日 (土)	個人 3 件	4
平成 27 年 4 月 12 日 (土)	個人 1 件	2
平成 27 年 4 月 16 日 (木)	個人 1 件	1
平成 27 年 5 月 12 日 (火)	個人 1 件	1
平成 27 年 5 月 27 日 (水)	トヨタ紡織	1
平成 27 年 6 月 6 日 (土)	個人 1 件	1
平成 27 年 6 月 22 日 (月)	一宮商工会議所	15
平成 27 年 7 月 31 日 (金)	奈良女子大学	1
平成 27 年 11 月 17 日 (火)	「わがまち・ふるさと・西小島」写真展実行委員会	7
平成 27 年 12 月 19 日 (土)	個人 2 件	3
平成 27 年 12 月 23 日 (水)	個人 1 件	1
平成 28 年 1 月 21 日 (木)	個人 1 件	1
平成 28 年 3 月 5 日 (土)	個人 1 件	1
平成 28 年 3 月 8 日 (火)	個人 1 件	3
	合計	45

平成 28 年度

利用日	利用者	利用者数
平成 28 年 4 月 30 日 (土)	大志連区町会長役員など	23
平成 28 年 6 月 2 日 (木)	三菱東京 UFJ 銀行一宮支店新人研修	6
平成 28 年 9 月 24 日 (土)	一宮モーニングエンジェルス	1
平成 28 年 11 月 26 日 (土)	撚糸組合	1
平成 29 年 1 月 25 日 (水)	JTB 中部一宮支店	2
	合計	33

(5) 団体観覧・案内

平成 27 年度

年月日	団体名	人数
平成 27 年 4 月 12 日 (日)	ふるさと再発見ツアー	17 人
平成 27 年 4 月 16 日 (木)	一宮市立丹陽小学校 6 年生	68 人
平成 27 年 4 月 16 日 (木)	一宮市立丹陽小学校 5 年生	73 人
平成 27 年 5 月 17 日 (日)	東風の会	43 人
平成 27 年 5 月 11 日 (火)	刈谷市文化財保護審議会	11 人
平成 27 年 5 月 20 日 (水)	史跡めぐり	17 人
平成 27 年 5 月 22 日 (金)	中日メディアブレーン「ローズ倶楽部」	23 人
平成 27 年 6 月 14 日 (日)	湘南歴史散歩の会	30 人
平成 27 年 6 月 20 日 (土)	史跡めぐり「ふるさと再発見」	10 人
平成 27 年 6 月 24 日 (水)	岩倉市郷土に学ぶ歩く会	24 人
平成 27 年 7 月 4 日 (土)	稲沢市文化財愛護少年団	51 人
平成 27 年 7 月 4 日 (土)	愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科	8 人
平成 27 年 7 月 28 日 (火)	一宮市教育委員会学校教育課初任者研修 (中学校教諭)	29 人
平成 27 年 7 月 31 日 (金)	一宮市教育委員会学校教育課初任者研修 (小学校教諭)	53 人
平成 27 年 8 月 19 日 (水)	児童文化教室「ふるさと一宮探検」	16 人
平成 27 年 9 月 3 日 (木)	米原市山東公民館	20 人
平成 27 年 9 月 3 日 (木)	京都府立大学考古学研究室	12 人
平成 27 年 9 月 8 日 (火)	大和東小学校 PTA	37 人
平成 27 年 9 月 18 日 (金)	みやし市立中央図書館	21 人
平成 27 年 10 月 15 日 (木)	安城市文化財保護委員会・博物館協議会合同研修会	11 人
平成 27 年 10 月 20 日 (火)	萩原町連区交通協議会シルバー	23 人
平成 27 年 10 月 21 日 (水)	稲沢市立長岡小学校 3 年生	23 人
平成 27 年 10 月 29 日 (木)	稲沢太極拳友好会	31 人
平成 27 年 10 月 30 日 (金)	東ライフデザインセンター	25 人
平成 27 年 11 月 6 日 (金)	民生児童委員協議会高齢者・障害者福祉部会	18 人
平成 27 年 11 月 10 日 (火)	福岡県宗像市議会社会常任委員会	7 人
平成 27 年 11 月 11 日 (水)	高齢者福祉施設あいふるの里デイサービス	22 人
平成 27 年 11 月 12 日 (木)	老人デイサービスセンター丹陽	22 人
平成 27 年 11 月 14 日 (土)	朝日旅行「円空をめぐる旅」	16 人
平成 27 年 11 月 15 日 (日)	ボーイスカウト一宮 4 団	48 人
平成 27 年 11 月 17 日 (火)	あいふるの里デイサービス	21 人
平成 27 年 12 月 6 日 (日)	益心会	21 人
平成 27 年 12 月 6 日 (日)	四日市文化会	25 人
平成 27 年 12 月 13 日 (日)	東和会老人クラブ	23 人
平成 27 年 12 月 13 日 (日)	ふみの会	28 人
平成 27 年 12 月 15 日 (火)	愛地球クラブ Walking 会	32 人
平成 27 年 12 月 17 日 (木)	防犯協会貴船支会	30 人
平成 28 年 1 月 30 日 (土)	名鉄ハイキング	232 人
平成 28 年 3 月 12 日 (土)	名鉄観光	20 人

平成 27 年度

年月日	団体名	人数
平成 28 年 4 月 12 日 (火)	いきいき歩こう会	39 人
平成 28 年 5 月 1 日 (日)	JR さわやかウォーキング	123 人
平成 28 年 5 月 22 日 (日)	野口 2 丁目町内会ウォーキング	49 人
平成 28 年 7 月 1 日 (金)	シルバーカレッジ史跡めぐりサークル	29 人
平成 28 年 7 月 29 日 (金)	一宮市教育委員会学校教育課初任者研修	23 人
平成 28 年 6 月 14 日 (火)	中央ライフデザインセンター前期講座 ふるさと再発見 各務野の人物往来	21 人
平成 28 年 7 月 1 日 (金)	シルバーカレッジ史跡めぐりサークル	29 人
平成 28 年 8 月 23 日 (火)	児童文化教室「ふるさと一宮探検」	11 人
平成 28 年 8 月 26 日 (金)	養老町文化財保護協会	38 人
平成 28 年 10 月 15 日 (土)	一宮観光まちふくりゼミ	34 人
平成 28 年 10 月 25 日 (火)	木曾川図書館玉堂記念室 木曾川東小	107 人
平成 28 年 11 月 20 日 (日)	クラブツーリズム (株)	22 人
平成 28 年 12 月 14 日 (水)	一宮市防犯協会貴船支部	33 人
平成 29 年 1 月 25 日 (水)	各務原野外センター	32 人
平成 29 年 1 月 31 日 (火)	稲沢市立片原一色小学校 3 年生	24 人
平成 29 年 2 月 2 日 (木)	県立一宮聾学校	7 人
平成 29 年 2 月 23 日 (木)	JTB いろいろあるバスツアー団体	25 人
平成 29 年 2 月 28 日 (火)	国学院大学	32 人
平成 29 年 3 月 17 日 (金)	稲沢北小学校 3 年生	66 人
平成 29 年 3 月 25 日 (土)	年金者組合西尾支部・碧南支部	20 人

5 調査研究・収集

(1) 美術工芸資料等購入事業

平成 27 年度 なし

平成 28 年度 なし

(2) 寄贈資料

平成 27 年度

- ・張手 2 点
- ・森春濤「七言絶句」1 点、森春濤「七言絶句 高山竹枝」1 点、森春濤「七言絶句」1 枚（未表装）、森槐南「七言律詩」1 点、森槐南「詩稿」3 点
- ・鈴鎌毛織資料のうち集団就職関係資料 27 点
- ・ミス織物審査風景写真 4 点、ミス・準ミス織物入選者写真 3 点、ミス・準ミス織物パレード風景写真 6 点、準ミス織物当選表彰状 1 点
- ・村上堯紅「源氏物語の歌」折帖 1 点
- ・旧大尉所蔵 部隊行動略図 1 点、香港島上陸作戦攻略線（歩兵第 228 連隊木村部隊足立隊戦闘経過要図）1 点、アンボン島戦略戦（歩兵第 228 連隊五中隊足立隊 戦闘経過略図）1 点、ガダルカナル島戦略戦図 1 点
- ・海軍省教育局「趣味ノ暗号」1 冊、昭和二年度練習艦隊司令部編「実用英語文例」1 冊、絵入愛国百人一首 1 点
- ・北方村青年団々旗（本郷分団）一式
- ・浄土宗勤行式版木（北田院版）5 点
- ・馬見塚遺跡出土遺物（コンテナ大・小 計 2 箱）
- ・火鉢（昭和十年国勢調査記念 千秋村）一対
- ・森春濤短冊 一葉、佐藤一英自筆原稿「英遠の浦に」「つるぎとともに」「その太刀や」3 点、我妻碧字書簡 1 点、高木市之助ハガキ（一宮市役所教育委員会一宮万葉大学係宛）1 点、荻須高德自筆サイン 1 点
- ・火鉢（昭和 10 年度国勢調査記念 千秋村）一対
- ・白装束 冬物 男女各一式、着物 8 着、はかま 2 着、襦袢 1 着、綿入 1 着
- ・漢籍 9 冊（論語 4 冊、孟子 4 冊（天保 11 年版）、中庸 1 冊）
- ・番手測定器（木製）1 台
- ・和傘 1 本
- ・一宮耕地整理組合確定図及各筆調書 昭和 15 年 2 部
- ・上皿手動棹秤（SHIRAI SEIKO 製）1 台、上皿手動棹秤（MURAKAMI 製）1 台、上皿手動棹秤（Shirai Seiko 製）1 台、携帯用棹秤 1 点、そろばん（裏に丸「は」の刻印あり）、服部服装品店経営、ペンとペン立て 1 式、分度器 1 点
※体験用として
- ・いずみ（一宮市丹陽町九日市場で使用）1 点
- ・真空管 35 本
- ・浴衣（昭和 38 年頃、七夕まつりの盆踊りにて、今伊勢婦人会が揃いで着用。）
- ・南朝遺裔適否照査之請願書 1 冊
- ・江崎梅溪収集書跡等 181 点ほか
- ・森槐南 七言絶句二種（軸装）1 点
- ・土田麦麩「野村一志あて書簡」（大正 3 年 4 月 16 日付、額装）1 点

平成 28 年度

- ・山茶碗 皿 1点
- ・山茶碗片 1点、灰釉陶器片 1点（ともに大平遺跡近接地出土）
- ・佐藤一英（1899～1979）愛用の書籍等 一式（『萬葉集大成』22冊（1～22巻）、「萬葉集大成月報」14部（3～5、9、10、13～20、22）、『萬葉集古義』12冊（1～12巻）、『萬葉集總釋』第五、『日本国民文学全集2 万葉集』、『少年少女日本名作物語全集2 万葉物語』（佐藤一英訳著）、織都一宮市産業案内図（昭和33年10月発行））
- ・刀剣（太刀）銘 兼音 長さ貳尺貳寸参分四厘（拵え付） 1点
- ・山茶碗 椀 1点
- ・永坂石埭作 書画軸「萬物静観皆自得四時佳興与人同」（1919年） 1点
- ・日本画10点（山口華楊「立葵」8号、森田曠平「洛北おとめ」6号、森田曠平、「泰西美人」10×10cm、吉田善彦「柿若葉の頃」10号、吉田善彦「戒壇院路」8号、上村淳之「紅ヒワ」10号、上村松篁「駒どり」6号、福井爽人「山椒薔薇」4号、福井爽人「黄昏」12号、社本我泉「万里長城」10号）
- ・トンビ（マント）昭和20～50年頃 1点、襟巻 1点
- ・手作りの綿入れ着物 昭和39年頃 1点、真綿の帽子 昭和39年頃 1点、白毛糸ケープ 昭和39年頃 1点、赤の着物 昭和40年頃 1点、ねんねこはんでん よそいき 昭和39年頃 1点、ねんねこはんでん 普段着 昭和39年頃 1点
- ・トップ メリノ60's 1点、梳毛糸 2点

(3) 寄託資料

平成 27 年度 なし

平成 28 年度 なし

(4) 収蔵品 修復・修繕

平成 27 年度

No.	作家名	作品名	サイズ cm	内容
1	大澤鉦一郎	リングと柿	21.8×27.1	既存額の加工（塗り直し、仕上げ直し、アクリル、裏板、箱袋一式）
2	横井 礼以	安藤秋三郎氏肖像	40.0×31.0	既存額の加工（清掃、アクリル、裏面加工、ヒートン、紐、箱袋一式）
3	横井 礼以	安藤夫人肖像	40.5×31.0	既存額の加工（清掃、アクリル、裏面加工、ヒートン、紐、箱袋一式）
4	森 馨之助	若き日の父	21.0×16.0	新規額装
5	森 馨之助	K子像	26.2×16.0	新規額装
6	藤井外喜雄	ニューヨーク	6F	新規額装
7	藤井外喜雄	犬を連れる少女	6F	新規額装
8	藤井外喜雄	ベンチに座る女	6F	新規額装
9	藤井外喜雄	孫娘の晴れの日	10F	新規額装
10	藤井外喜雄	セーヌ川より望む	10F	新規額装
11	藤井外喜雄	袋田の滝	10F	新規額装

12	藤井外喜雄	出雲大社	10F	新規額装
13	藤井外喜雄	水上スキー場	10F	新規額装
14	藤井外喜雄	ダム	10F	木枠張り込み、新規額装
15	藤井外喜雄	草原	8F	木枠張り込み、新規額装
16	藤井外喜雄	子供二人	6F	木枠張り込み、新規額装
17	藤井外喜雄	ピアノ弾く恩案	4F	木枠張り込み、新規額装
18	藤井外喜雄	永薫（子ども）	4F	木枠張り込み、新規額装
19	佐分 眞	婦人像（青い服）	22.6 × 15.6	新規額装
20	佐分 眞	裸婦	45.2 × 37.5	既存額の加工
21	佐分 眞	婦人像（黄色い服）	45.3 × 37.6	既存額の加工
22	佐分 眞	風景（パリ近郊）	37.8 × 45.5	新規額装
23	佐分 眞	花（ばら）	33.0 × 23.5	既存額の加工
24	佐分 眞	フランス冬景色	27.0 × 24.0	既存額の加工
25	佐分 眞	サイゴンの子供	26.7 × 21.0	既存額の加工
26			半切（545 × 424）	汎用額縁作成 11 点

平成 28 年度

No.	作家名	作品名（材質）	サイズ cm	内容
1	八木 茂雄	横たわる女	45.5 × 53.2	新規額装（UV カットアクリル付き）、 作品修復
2	八木 茂雄	尾鷲湾	33.3 × 24.0	既存額修繕、作品修復
3	八木 茂雄	十和田湖	38.0 × 45.7	既存額修繕、作品修復
4	八木 茂雄	印度更紗と裸婦	72.7 × 50.0	新規額装（UV カットアクリル付き）
5	八木 茂雄	腰かける女	53.0 × 45.5	新規額装（UV カットアクリル付き）
6	八木 茂雄	白い開門	45.5 × 53.3	既存額修繕
7	八木 茂雄	石灰工場	45.5 × 53.3	既存額修繕
8	八木 茂雄	海辺の工場（板）	24.3 × 33.2	既存額修繕
9	八木 茂雄	波切灯台	38.3 × 45.5	既存額修繕
10	八木 茂雄	飛驒の里（ボード）	32.0 × 40.8	既存額修繕
11	八木 茂雄	若狭船小屋	45.5 × 38.0	既存額修繕

(5) 受贈図書等

都道府県の配列順（寄贈者の配列は都道府県の中の50音順とした）

01 北海道	02 青森県	03 岩手県	04 宮城県	05 秋田県	06 山形県	07 福島県	08 茨城県	09 栃木県	10 群馬県
11 埼玉県	12 千葉県	13 東京都	14 神奈川県	15 新潟県	16 富山県	17 石川県	18 福井県	19 山梨県	20 長野県
21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県	25 滋賀県	26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県	29 奈良県	30 和歌山県
31 鳥取県	32 島根県	33 岡山県	34 広島県	35 山口県	36 徳島県	37 香川県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県
41 佐賀県	42 長崎県	43 熊本県	44 大分県	47 沖縄県					

No.	受入先	書名
01	北海道埋蔵文化財センター 北海道立北方民族博物館 アイヌ文化振興研究推進機構 根室市歴史と自然の資料館 小樽市総合博物館 苫小牧市美術博物館	調査年報 28,29 「森と川の精霊とともに～ロシア・アムール地方のアート&クラフト」資料目録 11 民族資料目録 5 研究紀要第 24,25 号 年報平成 26,27 年度 たより No.96～102 アイヌ工芸品展「木と生きる～アイヌの暮らしと木の造形」助成事業案内 平成 28,29 年度版 イカラカラーアイヌ刺繍の世界 紀要第 27 号,28 号 「くるまいし」No.30・31 紀要第 29 号 紀要第 1,2 号 館報第 11 号 年報第 1,2 号 ニューズレター No.3
02	棟方志功記念館	40 年のあゆみ
03	岩手県立博物館 大船渡市教育委員会 北上市教育委員会	たより No.145～152 宮野貝塚平成 23～25 年度緊急発掘調査報告書 治沢遺跡平成 24 年度緊急発掘調査報告書 船造遺跡中村遺跡平成 24,25 年度緊急発掘調査報告書 中井貝塚平成 22 年度緊急発掘調査報告書 田代遺跡平成 21 年度緊急発掘調査報告書 小出館遺跡平成 25 年度緊急発掘調査報告書 大洞貝塚長洞遺跡平成 27 年度緊急発掘調査報告書 埋蔵文化財調査報告書第 6 集,114～123 集 紀要第 5 号 年報 2013,2014 年度
04	仙台市博物館 仙台市歴史民俗資料館	「仙台市史編さん事業報告－仙台市制百周年記念事業」 「いっきに見る仙台市史」 年報 42, 43 号 特別展「仙台のまちと近代交」「仙台・昔と今の暮らし」企画展「学都仙台と杜の都－仙台文化を訪ねて」「仙台の祭りと年中行事」調査報告書第 33,34 集 年報 2015,2016 資料集第 13,14 冊 たより No.47・48
05	秋田県立博物館	年報平成 27,28 年度 ニュース No.160～163
07	会津若松市教育委員会 福島県文化財センター 福島市教育委員会 福島県文化財センター白河館	文化財調査報告書第 139,141～144,146～148 「まぼろん通信」vol.55・56 埋蔵文化財報告書第 223～231 集 史跡・宮畑遺跡環境整備事業報告書 企画展「縄文土器の年代－その古さを読み解く」
08	日立市郷土博物館 鹿嶋市文化スポーツ振興事業団 小美玉市玉里史料館	特別展「増田聡子展－色彩と形象の交響詩」 紀要 9,10 「市民と博物館」第 111～113・115～117 号 鹿嶋市の文化財第 153～157 集 史料館報 vol.8
09	栃木県立文書館	研究紀要第 19,20 号 たより第 57・58 号
10	伊勢崎市教育委員会 群馬県埋蔵文化財調査事業団 群馬県立歴史博物館 前橋市教育委員会	埋蔵文化財展「古墳発掘!!」 下触鷹巣遺跡 4 事務所及び倉庫建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 南原遺跡一分譲地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 建売分譲地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書南原遺跡 11 安堀町西太田遺跡 4 小規模多機能居宅介護施設及び住宅型有料老人ホーム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 文化財調査報告書群馬県伊勢崎市今泉町二丁目大谷戸遺跡一分譲住宅造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 天人前Ⅱ遺跡一建売分譲地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書 文化財調査報告書群馬県伊勢崎市下触（赤堀地区）所在石山南古墳群－多数の人物埴輪を出土した大型円墳と集築墳の調査 文化財調査報告書第 111,114,116～119 集 研究紀要 34,35 群馬県立歴史博物館紀要第 36,37 号 元総社蒼海遺跡群 (56)・(61)～(65)・(72)・(73)・(81)～(85)・(88)～(91)・(95)～(98)・(100)～(103)・(117)・(118)・(120)・(121) 元総社中学校遺跡 元総社蒼海遺跡群 (17 街区) JX 日鉱日石エネルギー株式会社店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 元総社蒼海遺跡群 (93 街区) 店舗建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 上野国府範囲内容確認調査報告書Ⅲ,Ⅳ 朝倉・後閑水田遺跡 総社町向畑遺跡 No. 川曲地蔵前遺跡 No.4,31 大渡道場遺跡 No.2 東国の雄総社古墳群 大室古墳の教室考古学講演会講座の記録 1, 2 ～裾野は長し赤城山～南城山南麓の古墳 ～1946 年、ここで旧石器が発見された～赤城山南麓の旧石器 赤城山南麓の中世史跡女堀 五代東田遺跡五代南部工業団地（拡張）土地区画整理事業に伴う埋蔵文化調査報告書 赤城山南麓の縄文 Part1 移りゆく縄文土器 平成 26 年度国宝重要文化財等保存整備費補助金史跡前二子古墳等地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業大室古墳の教室古代東国文化シンポジウム東アジアからみた前二子古墳記録・資料集 年報第 45 集

No.	受入先	書名
	山下工業株式会社 大閑堂書店	南原遺跡 10 一倉庫建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 保永堂版広重東海道五拾三次
11	入間市博物館 川越市立博物館	紀要第 11 号 特別展「小堀遠州と川越藩主ー遠州と酒井忠勝の交流を中心に」 企画展「妖怪一闇にひそむ不可思議なるもの」「妖怪一闇にひそむ不可思議なるもの」 たより第 74 号～79 号
	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 遠山記念館 戸田市立郷土博物館	会誌記録と史料第 25 号,26 号 「会報」No.98～100 たより第 49 号～52 号 特別展「戸田ボートコース物語～オリンピックがやってきた!」「植輪が語る戸田市の古墳時代」 企画展「戦争と人々の暮らし～戦後 120 年・110 年・70 年」「今昔写真帳ー戸田市の歩み」 博物館・自然学習センターを活用した事例集 研究紀要第 25,26 号 たより vol.43・44
	ふじみ野市立大井郷土資料館 税務大学校税務情報租税史料室 朝霞市博物館 ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館	「資料館通信」第 68 号 租税史料叢書第八巻国税徴収関係史料集～直接税を中心に 企画展「小さな銅鐸を追って～銅鐸形製品と小銅鐸」 特別展「戦後のあゆみ～ふじみ野市誕生までの軌跡」
12	印旛郡市文化財センター	企画展「鏡の向こう一神を視る人を見る」 発掘調査報告書第 338～343,345～347 集 年報 30,31 「フィールドブック」vol.37・138
	国立歴史民俗博物館	特別展「伝統の古典菊」「台湾と日本震災史とともにたどる近現代」 企画展「大久保利通とその時代」「ドイツと日本を結ぶもの一日独修好 150 年の歴史」「よみがえれ! シーボルトの日本博物館」「万年筆の生活感ー筆記の近代」「夷酋列像～蝦夷地イメージをめぐる人・物・世界」 研究報告第 191,194～204 集 資料図鑑 11 要覧平成 28 年度
	千葉県文書館	「皇室画ふれた千葉×千葉がふれた皇室」 収蔵文書目録第 29,30 集 千葉県の文書館第 21,22 号
	千葉市立郷土博物館 野田市郷土博物館	研究紀要第 21,22 号 特別展「生誕ー八〇年押絵師勝文斎ー野田にやってきた江戸・東文化」「生誕ー四〇年染谷亮作と川間村ー農業と教育の理念を目指して」 埋蔵文化財調査報告第 43 冊 平成 26, 27 年度野田市内遺跡発掘調査報告 東亀山遺跡ー第 3 次発掘調査 年報・紀要第 7, 8 号
	船橋市郷土資料館 松戸市立博物館	平成 25～27 年度年報 「みゅーじあむ・船橋」Vol.3～7 企画展「石斧と人ー3 万年のあゆみ」 資料展「松戸市平和祈念展」 市史上巻 (改訂版) 原始・古代・中世 文化財調査報告第 57～61 集 牧之内遺跡, 中芝遺跡, ハヶ崎遺跡, 東平賀遺跡 紀要第 22,23 号 年報第 22,23 号 「まつどミュージアム」No.23
	東邦考古学研究会	東邦考古 40
13	朝日新聞社	おしごと年鑑 2016
	東京都江戸東京たてもの園 東京都江戸東京博物館	下布田遺跡 特別展「レオナルド・ダ・ヴィンチ～天才の挑戦」「浮世絵から写真へー視覚の文明開化」「徳川の城～天守と御殿」「花燃ゆ」「大関ヶ原」「軍市官兵衛」「東京オリンピックと新幹線」「大江戸と洛中ーアジアのなかの都市景観」「真田丸」 企画展「徳川將軍の書画」「徳川將軍家の婚礼」「大妖怪展ー土偶から妖怪ウオッチまで」「戦国時代展ーA Century of Dreamas」「江戸と北京ー18 世紀の都市と暮らし」 調査報告書第 29～31 集 紀要第 5,6 号 「NEWS」vol.89～96 博物館実習報告第 31 号
	お茶の水女子大学 国書刊行会 品川区立品川歴史館 杉並区立郷土博物館	被災写真救済の手引き～津波・洪水などで永損した写真の対応マニュアル 特別展「品川産業事始～日本を支えた近代産業群」「東海道品川宿」 紀要第 30,31 号 特別展「夢の配達人森林桂～『天国に一番近い島』からはじまるものがたり」「祭りばやしのひびきー杉並の祭礼と郷土芸能」「『荻外荘』と近衛文麿」 企画展「杉並にあった映画館」「中西悟堂生誕 120 年野鳥の父、中西悟堂をめぐる人々」 常設展示図録
	世田谷区立郷土資料館	特別展「世田谷の土地ー絵図と図面を読み解く」「国重要文化財指定記念野毛大塚古墳展」 世田谷叢書第九, 十集 たより No.62～65
	たばこと塩の博物館	記念展「浮世絵と喫煙具ー世界に誇るジャパンアート」「隅田川をめぐる文化と産業 浮世絵と写真でみる江戸・東京」 常設展示解説ガイドブック 年報第 30,31 号
	地方行財政調査会 調布市郷土博物館	地方行財政調査資料ー都市版 「ろくろからコマー木地挽物と伝統こけし」 考古資料でたどる調布の三万年 調布の文化財第 51 号～53 号 たより No.76・77
	東京国立博物館 東京大学史料編纂所画像史料解析センター 東京都埋蔵文化財センター	ニュース第 730 号～742 号 「センター通信」第 69 号～76 号 「南多摩発見伝丘陵人の宝ものー遺跡からみた多摩丘陵の歴史～」「たまのよこやま」No.97～104
	徳川林政史研究所	史学美術史論文集金鯉書第四十二輯 (徳川林政史研究所研究紀要第四十九号) 金鯉叢書第四十三輯～史学美術史論文集

No.	受入先	受入先	書名	書名
	日本博物館協会		企画展「ずっとずっとふるさと陸前高田～心に生きるたからもの」 安定化処理大津波被災文化財保存修復技術提携プロジェクト 「博物館研究」第562号～585号	
	日本ユネスコ協会 府中市郷土の森博物館 文化庁		世界遺産年報 No.21,22 紀要第29号2016 「あるむぜお」 No.112～118 変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業尾張・三河の花のとう 『日本における水中遺跡保護の在り方について』（中間まとめ）	
	法政考古学会 港区教育委員会		法政考古学第41・42集 港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 57,58,61 但馬出石藩仙石家屋敷跡～虎ノ門・六本木地区市街地再開発事業地遺跡の発掘調査 埋蔵文化財調査年報13	
	港区立港郷土資料館 葛飾区教育委員会 青山学院大学史学研究室 文京ふるさと歴史館 明治大学博物館 昭和館		平成26～28年度港区指定文化財 研究紀要17,18 館報33,34 たよりNo.75～79 鬼塚確認調査報告書 葛飾区遺跡調査会調査報告第60集 埋蔵文化財調査年報 日本歴史学会編集日本歴史第804,809号 たより第23号 研究報告第20号,21号 年報2014年度 特別企画展「もっと知りたい・戦中・戦後のくらし」 昭和のくらし研究No.13,14 戦後70年特集 館報第16,17号	
	明治大学学芸員養成課程 美術出版社 美術年鑑社 学習院大学 大田区立郷土博物館 文部科学省 首都大学東京考古学研究室 日本文化財保護協会 慶應義塾大学文学部		紀要26,27 年報30,31 美術手帖/No.1030 新美術新聞No.1372 「ミュージアム・レター」第28号～32号 特別展「土器から見た大田区の弥生時代久ヶ原遺跡発見、90年」 科研費NEWS2014年度vol.4～2016年度vol.3 人類誌集報2015－4遺跡誌情報・民俗誌情報・実験誌情報による人類誌 埋蔵文化財調査要覧平成27,28年度 平成27・28年会報「飛天」 東京都新宿区信濃町南遺跡Ⅵ 慶應義塾大学病院1号館（新病院棟）新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	
	文化庁文化財部記念物課		平成26年度「記念物・文化財景観」マネジメント支援事業－史跡等重要文化的景観マネジメント支援事業報告書	
	株式会社吉川弘文館 八王子市		日本生活史辞典 日本歴史学会編集日本歴史第804,809号 新八王子市史通史編1 原始・古代 新八王子市史民俗調査報告書第4,5集 新八王子市史近現代統計資料集数字が語る八王子の現代 新八王子市史自然調査報告書－八王子市動植物目録 市史民俗調査報告書第3集 八王子市史叢書5 八王子写真民俗誌	
	学習院大学大学院 明治大学校地内遺跡調査団		年報第4,5号 明治大学校地内遺跡調査団調査研究報告書5～6 下原・富士見町遺跡 後期旧石器時代の発掘調査(1) 石器群の概要と出土状況	
	葛飾区郷土と天文の博物館		特別展「平成かつしか風土記～地域の継承と文化財」「セルロイドの町かつしか」 企画展「葛飾・柴又の宝物－知られざる歴史・文化的魅力」 発掘された古代の葛飾－柴又地区の集衆 たより第113～115号	
	國學院大學 明治大学 早稲田大学會津八一記念博物館 国分寺市教育委員会 慶應義塾福沢研究センター 株式会社リクルートホールディングス 六一書房 株式会社岩崎書店 NHK放送博物館 美術史學會		紀要第40,41輯 学術資料センター研究報告第31～33輯 院友学芸員No.10 ことわざを楽しく学ぼう、社会・文化・人生－ことわざの魅力と威力の再発見 勝家伝来文書－旧富岡美術館蔵 所蔵陶磁器目録 全国史跡整備市町村協議会50周年記念誌全史協50年のあゆみ 「福澤研究センター通信」第24,25号 「20年30話～クリエイター30組の対話によるデザインの過去・現在・未来」 静岡県考古学会シンポジウム1996年度静岡県における中世墓 賢治童話ビジュアル事典 放送博物館の60年 美術史第179冊	
14	小田原市郷土文化館 神奈川大学日本常民文化研究所		研究報告No.51,52 歴史と民俗32,33 神奈川大学日本常民文化研究所2015～2017年度 「民具マンズリー」第48巻1～12号第49巻1～12号	
	川崎市市民ミュージアム 茅ヶ崎市教育委員会 東海大学 平塚市博物館		紀要第27～29集 埋蔵文化財調査報告47 学園史ニュースNo.10,11 「七十五年史編纂だより」第3号 特別展「女の子と男の子のお雛さま～桃と丹後の節句人形」 研究報告自然と文化第38,39号 年報No.38,39	
	藤沢市文書館 横浜市歴史博物館		市史料集(39,40) 歴史をひもとく藤沢の資料1 紀要第34号 企画展「古代の仏教－博物館収集資料を中心に」「君も今日から考古学者！横浜発掘物語2015」「鶴見川流域のくらし－生業・水運・信仰」「大おにぎり展－出土資料からみた穀物の歴史」「蒔田の吉良氏－戦国の蒔田城と姫君」「楽しい浮世絵ストーリー～	

No. 受入先	書名
	丹波コレクションの世界」「大昔のくらしをさぐる」「称名寺貝塚～土器とイルカと縄文人」「横浜のあゆみ～ヒト・モノ・マチ」「すくすく育てみんなの願い～出産と育児をめぐるモノがたり」歩いた・見た・調べた横浜歴史博物館～民俗に親しむ会鶴見川流域フィールドワーク調査報告写真集「鶴見川流域の狛犬百態」紀要第19,20号調査研究報告第11,12号資料目録第23,24集平成26,27年度「学校内歴史資料室を活用した博物館デビュー支援事業」年報NEWS38～40
大磯町郷土資料館	企画展「遺跡からみる近代別荘地の形成と展開」「用田村伊東宗兵衛家文書の世界～古文書が結ぶ二つの地域」資料15,16年報平成26,27年度たよりNo.36,37
寒川文書館	町史調査報告書20,21町史研究第27,28号
綾瀬市教育委員会	埋蔵文化財調査報告10
横浜みなと博物館	企画展「愛すべき海辺の観光の今昔」「日本の海の玄関」
四門	神奈川県茅ヶ崎市西久保大町B遺跡西久保大町B遺跡・第4次調査報告
15 十日町市博物館	「縄文後期の墓栗ノ木田遺跡～縄文人の死と弔い」埋蔵文化財発掘調査報告書第49集土器づくりの考古学年報第1,2号
新潟市総務局国際文化部歴史文化課	新潟市のあゆみ(増補改訂版)
新潟市歴史博物館	企画展「田んぼで魚とり」「古墳ワールド蒲浦の古墳」「近世黎明～堀直寄と新潟」「新潟まつりの歴史をさぐる」「第四国立銀行展」「お菓子と新潟」研究紀要第11,16,17号年報第15,16号「帆檣成林」vol.34～139
新潟県教育庁	「新潟まいぶんナビ」増刊号
16 富山市郷土博物館	特別展「戦国の強者津田遠江守重久」「都市“富山”の四〇〇年」館報平成25,26年度たより第369・380～402号
17 石川県立美術館	「れきはく」No.117～119
石川県立歴史博物館	紀要2014,2015
18 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	特別展「若狭武田氏の誇り」
福井県立若狭歴史民俗資料館	福井県埋蔵文化財調査報告第159～164集 所報6 年報30,31
福井県教育庁埋蔵文化財調査センター	これき人物シリーズ6,7,8
福井県立こども歴史文化館	館報平成26,27年度
福井県立若狭歴史博物館	埋蔵文化財調査報告書第3,39,40,42,43,45～49集 文化財年報一平成25,27年度 遺跡で散歩 Vol.5
19 南アルプス市教育委員会	山梨考古第134号
山梨県考古学協会	特別展「信州の祈りと美～善光寺から白陰、春草まで」「創造の源泉菱田春草のスケッチ」「日本の近代化に挑んだ人びと」～田中芳男と南信州の偉人たち～ 収藏品図録城田孝一郎の木彫 日夏耿之介コレクション目録 自筆の書画編 飯田お練り祭り本屋台調査報告書 研究紀要第25,26号 年報第24～26号
20 飯田市美術博物館	岡谷市内遺跡発掘調査報告書平成26,27年度
岡谷市教育委員会	諏訪市埋蔵文化財調査報告第75,76集
諏訪市教育委員会	年報31,32 「信州の遺跡」第7・8・10号 「ジュニアこうこがく」第4・5号
長野県埋蔵文化財センター	企画展「山と海の廻廊をゆく～信濃と北陸をつなぐ道」研究紀要第21,22号 たよりvol.83～90
長野県立歴史館	松本城三の丸跡を掘る 松本市文化財調査報告No.174,214,216～219
松本市教育委員会	特別展「博物館がみつめる松本～収藏品からよみがえる記憶」「第6回戦争と平和展～戦争の記憶と記録から平和を考える」年報2013～2015 「あなたと博物館」No.198～209
松本市立博物館	紀要第32集 博物館ノートNo.19
塩尻市立平出博物館	黒田八幡原遺跡 飯田市史跡座光寺の石川除確認調査報告書 磐座(富士浅間神社)
飯田市教育委員会	化石遺跡・化石1号古墳 別府中島遺跡 大休下遺跡 上山遺跡群 飯田城跡(桜丸) 谷川窯跡
21 恵那市教育委員会	文化財調査報告書第44集
大垣市教育委員会	ミズクマおおがき2015Starting Point 大垣の新進美術家たち 埋蔵文化財調査報告書第25集
各務原市埋蔵文化財調査センター	年報第23・24号[轍]
各務原市歴史民俗資料館	木曾川流域の自然と歴史～木曾川学論集2 たより第34号
各務原市教育委員会	各務原市の文化財
可児市教育委員会	可児市埋文調査報告書48大萱窯跡群発掘調査報告書I～牟田洞古窯跡・大萱窯下古窯跡 史跡美濃金山城跡保存活用計画書
岐阜県博物館	特別展「天下人の時代～信長・秀吉・家康と美濃」「東海地方の円空仏その造形と足跡をたどる」調査研究報告第36号 館報第38,39号
岐阜県美術館	年報No.32,33
岐阜県文化財保護センター	調査報告書第135～138集
岐阜市教育委員会	平成25,26年度岐阜市市内遺跡発掘調査報告書 岐阜城跡4～織田信長居館伝承地の確認調査

No.	受入先	書名
	岐阜市歴史博物館	特別展「豊臣から徳川へー徳川美術館の名品で綴る」「先人からのギフト」 館藏品図録「復興への道ー占領下の日本」 信長史料集第一集天文三年～永禄六年 研究紀要第22号 年報 No.30 たより No.89～94
	関市教育委員会 多治見市教育委員会 多治見市文化財保護センター 土岐市教育委員会	文化財調査報告第32～37号 長良川の鵜飼ー関市小瀬鵜飼習俗調査報告書 西浦家文書目録 多治見市埋蔵文化財発掘調査報告書第91～94号 研究紀要第13号 「自然と人の文化」No.45～49 平成25・26年度土岐市市内遺跡発掘調査報告書 史跡乙塚古墳附段尻巻古墳第5次・第6次発掘調査報告書
	土岐市美濃陶磁歴史館	特別展「元屋敷発掘史ー美濃桃山陶の再発見と古窯あと発掘ブームの中で」「美濃陶祖伝ー信長の朱印状と桃山陶」 企画展「塚本司郎の陶芸ー白磁・彩磁」 資料集第1集
	内藤記念くすり博物館 美濃市教育委員会 美濃加茂市民ミュージアム みのかも文化の森	認知症～ともに生きる 「感染症の世界～顧みられない熱帯病を中心として」 美濃市文化財調査報告書第36～38号 企画展「ラインの風景展ーめぐる人々とその歴史」 平成27,28年度の活用にむけてーみのかも文化の森・美濃加茂市民ミュージアム活用の手引き・活用実践集 紀要第14集 年報VOL15,16 「MUSEUM NEWS」vol.79～85
	富加町教育委員会 養老町教育委員会 海津市歴史民俗資料館 瑞浪市陶磁資料館	織田信長の東美濃攻略「夕雲の城」 埋蔵文化財調査報告書第8集 館報平成26,27年度 特別展「人間国宝加藤孝造展」 瑞浪市歴史資料第3集 研究紀要第16号 年報第34号
	本巣市教育委員会	古代と未来のかけ橋船来山古墳群2席田郡建郡1300年記念船来山古墳群報告会資料集 本巣市文化財調査報告書第3,4集
	荒川豊蔵資料館	展示・収蔵品図録「人間国宝認定60年記念展「豊蔵黒の世界」 収蔵品図録、「美濃桃山陶の再興ー大萱牟田洞ー孤高の陶芸家・荒川豊蔵」
	岐阜県立加納高校 株式会社上智 多治見市美濃焼ミュージアム	Art Festa in Gifu 笠谷石塚遺跡～クスリのアオキ鋳物師屋店建設に伴う埋蔵文化財調査報告 「天国へのやきものー美濃の蔵骨器と、骨壺のいま」
22	新居関所史料館	企画展「新居絵図ー絵地図で探る古里の昔」「海と新居関所」解説図録 館藏品展「漆工芸」図録 年報平成24～27年度
	磐田市教育委員会	平成25,26年度国庫及び県費補助事業に伴う市内遺跡発掘調査等事業ー静岡県磐田市市内遺跡確認調査報告書 松林山1号墳ー発掘調査報告書 五反田古墳群発掘調査報告書 平成26年度特別史跡遠江国分寺跡発掘調査概報 特別史跡遠江国分寺跡ー本編ー
	静岡県立美術館 静岡市立芹沢銈介美術館	「アマリス」No.117～124 「芹沢銈介の収集1ーやきもの～西アジアとヨーロッパ」 館所蔵「芹沢銈介の作品」 「芹沢銈介の収集2,3,4,5」
	静岡市立登呂博物館 島田市博物館 駿府博物館	館報20～22 年報・紀要第13号 たより vol.21 企画展「日本画近代化への道橋本雅邦と門人たちー大観、観山、春草、玉堂ほかー」 生誕ー四〇年記念「KANZAN 第三の男・下村観山」
	沼津市歴史民俗資料館	「江梨歳時記ー写された海辺のくらし」 資料集28,29 紀要39,40 「資料館だより」Vol.39～41
	菊川市教育委員会 浜松市博物館	どきどき通信 No.1～3 特別展「徳川家康公顕彰四百年記念事業ー徳川家康天下取りへの道ー家康と遠江の国家」 テーマ展浜松オートバイ列伝II「ライラックの軌跡」 館報第27,28号
	浜松市 浜松市教育委員会	戦国期の国衆井伊氏ゆかりの石塔 平成26,27年度浜松市文化財調査報告 ヒラシロ遺跡ー発掘調査と保存整備事業のあらまし 浜松市文化財ブックレット9ーはままつの渡来文化と埴輪群像 浜松城跡10,11 郡田山十六遺跡2 梶子遺跡21 浜松の遺跡3 梶子遺跡16 鳥居松遺跡7 万斛西遺跡 梶子遺跡18 高塚遺跡3 梶子遺跡17
	焼津市歴史民俗資料館 島田市教育委員会	年報29 国指定史跡島田宿大井川川越遺跡保存管理計画 静岡県島田市埋蔵文化財報告第49集
	菊川市教育委員会 静岡市東海道広重美術館 御前崎市教育委員会 湖西市教育委員会	菊川市埋蔵文化財調査報告書第16 年報ー第8号 年報26,27年度 御前崎市指定史跡薩田ヶ谷横穴群御前崎市の横穴墓を代表する遺跡 市内遺跡発掘調査報告書ー平成23・24年度 市内窯跡分布調査報告書市内遺跡確認調査報告書ー平成25,26年度 スズキ工場内第3地点古窯跡発掘調査報告書 元新居Iー元新居遺跡・大元屋敷遺跡の発掘調査 新居関跡ー第12次～第15次調査・遺構よみがえる新居関所ー特別史跡新居関跡保存整備事業

No. 受入先
伊豆の国市
23 一宮市国際化推進研究会
一宮市商工会議所

書名
文化財年報12
商工組合中央金庫三十年史
67 国鉄の現状 10年のあゆみ 21世紀の中部ビジョン 40年のあゆみ 豊田
商工会議所 JETRO - 50年の歩み 50年の記録東海地方の日中友好と貿易のあゆ
み DISCOVER100 清水建設株式会社名古屋支店100年の歩み FASHION
PROMENADE セントラルパーク10周年記念 internationaltextilesNr. 261.266
OMRON Leading Executives in Mid-Japan - 中部経済圏に活躍する人々
アセテート繊維紡織および染色整理 NIKKEN SEKKEI Building Future
Japan 1900 - 2000 NTTの10年 1985 - 1995, サービス・技術編, 資料編, 通史編
いちのみやGUIDE'88,'89,'92 いちのみや消防史 クリーン・ジャパン・センター
20年の歩み レオロジー入門 スポーツ八十年史付アジアのオリンピック ワー
ルド・インポート・フェア・ナゴヤ'85公式記録 愛知の伝説 テレビ愛知15年史
びしん50年の歩み びしん50年の歩み フードドラマなごや '92公式記録 愛知日
野のあゆみ 愛知県社会保険労務士会20,30年のあゆみ 愛知県信用保証協会
20,30,40年のあゆみ バガス繊維及其利用 愛知県新地方計画主要事業計画図(昭
和36~昭和45年) 愛知県地方労働委員会五十年史労働委員会の課題 愛知県注
洋服協同組合温故録 愛知陸上競技協会尾張支部40周年記念誌 愛知大学五十年史
通史編 伊勢崎商工会議所50年史 伊勢商工会議所史 伊勢神宮 伊勢町物語
伊予三島商工会議所創立50周年記念誌 維新革命史 一宮市教育委員会60年史
一宮市西部終末処理場通水記念 一宮市体育協会60年史 TOYOTA 一宮市中小
企業福祉センター組合創立10周年を語る 宇都宮商工会議所七十,百年史 永野重雄
追想集 炎の軌跡-藤田國雄と東邦ガス 丸万証券八十年史 輝ける年輪-岐阜商
工会議所百周年記念誌 岡崎商工会議所百年史 岡崎信用金庫五十年史 岡谷商工
会議所五十年史 化学・工業セルロースハンドブック 化学繊維 化繊便覧 我が
社の歴史と夢 画集ボルドー美術館 解説染色の化学 回想の与良工 蒲郡商工
会議所五十年史 海外経済協力基金史 感動は世紀を越えて「川越物語」川越商工
会議所100周年記念誌 宮田用水史上、中、下巻 宮田用水史附図 共同組合一宮繊維
卸センター・15、20年のあゆみ 桐生商工会議所五十年史-しらたき 金沢商工
会議所創立120周年記念誌 桑原幹根回顧録知事二十五年 句集花冠・句集風祭 句
集四季 句集冬霧 経済団体物語 五十年のあゆみ 一宮市立市民病院50年史
公害健康被害補償予防協会20年のあゆみ 公木萬紀(第11集)史話群像 工業所有
権制度この10年の歩み 合成繊維 国史大観 国民金融公庫二十,三十,五十年史
今治商工会議所百年史 混紡品の染色 財団法人流通システム開発センター25
年史 山一證券史 山下病院八十年の歩み 設立記念誌 産業教育100年記念会誌
産業教育100年記念会実施委員会 産業教育振興中央会五十年の歩み 暫遊荘
四十年史愛知県経営者協会 四日市商工会議所百年史 思い出の新古二道 資料が語
る租税100年 暫遊荘 四十年史愛知県経営者協会 四日市商工会議所百年史 思
い出の新古二道 資料が語る租税100年 写真集富山 美しき自然と人との交歓
社史1962 社史東邦瓦斯株式会社 社団法人日本DIY協会20年の歩み 住宅資材
ひとすじに45年 十年の歩み 十六銀行史 西三河地域総合計画構想図 川柳合同
句集「満寿美」 諸国一宮記 商工行政史上、下巻 商工中金二十,五十年史 小樽
商工会議所百年史 織物デザイン入門 昭和36年度版国会年鑑1961 昭和
9,10,11,14,16年版内外綿業年鑑 松阪商工会議所四十年記念史 織物の樹脂加工
新訂毛織物仕上げ法 新編一宮市史資料編二 酢酸繊維ならびに合成繊維用染料(上、下
巻) 新編織織法 森 傳吉翁 図説服飾事典 図説逢佐風土記誌一名古屋三百五
十年の歩み 図説広告変遷史 数字でみた国鉄昭和42年版 世界の貨幣 世界発
明年表 清水建設二百年 西宮神社震災復興誌 赤城おろし 戦後二十五年の歩み
染色の物理化学 染色加工講座1~7 染色整理技術講座第1,2集 染料染色年報第
1~3巻 繊維講座第13集 繊維染色加工辞典 蘇東興業40年 創造限りなくトヨ
タ自動車50年史 創立記念画集 創立30周年記念鐵工連30年を歩む 創立50周
年記念誌,創立50周年記念誌道程 倉庫業中央団体80年の歩み 創立50周年記念
誌,創立50周年記念誌道程 双獅庵茶話 倉敷紡績百年史 続東海銀行史 大垣信用
金庫70年史 大和ハウス工業の40年 大和銀行四十年史 第19回発明と産業近代
化展覧会 第一銀行史(下巻) 第六歌集黄落 第3回アジア協議大会記念アジアの
オリンピック 中京財界史 中京相互銀行史 中小企業支援育成便覧 中央会
20,40年史 中央信託銀行30年史 中央新幹線沿線学者会議10年の歩み(1992~夏
~2001春) 中小企業信用保険公庫三十年史 中日新聞三十年史創業85年の記録
中部圏1985計画とその事業 中部地建の50年 中部地方電気事業史下巻 中部電
力20,30年史 中部電力の概況昭和43年版 中部配電社史 中部日本新聞二十年史
中部羊毛工業の実態と諸問題 中和羊毛工業20年のあゆみ 追想小川四郎兵衛
通商産業調査会30年史 電熱組合40年史 海の電信電話-90年のあゆみ- 東海
の虹中部日本放送十年史 東海銀行史 東海十六史第7版 東海証券株式会社五十
年史 東海繊維機械工業会50年概史 東京総会始末記下巻資料編,上巻記録編,中
巻感想編 東邦瓦斯50年史 同朋学園七五年史 特許制度70年史 栃木商工
会議所九十年史並びに商工会議所会館建設記念誌 二十年のあゆみ 尼崎商工
会議所創立90周年記念 日建設計工務株式会社経歴書 日光川改修誌 日本DIY協会10年の
歩み 日本スポーツ百年 日本の繊維工業 日本の河川日本の文明を育んだ河川
日本の地場産業<伝統的工芸編> 日本の歴代知事第二巻(上)(下) 日本火災海
上保険株式会社70年史 日本勧業銀行七十年史 日本興業銀行五十年史 日本興業
銀行五十年史 日本工業倶楽部25年史上、下巻 日本実業商工信用録 日本毛織百
年史 日本毛製品の現状 日本毛麻輸出史 日本電信電話ユーザー協会20年史コ

No. 受入先

書名

- コミュニケーションを支えて7305日 日本服地卸業界史 日本綿業労働論 日本毛麻輸出史(続) 日本羊毛産業略史 日本六十余州伝説 物語 八王子商工会議所百年史 美浜町の植生 発明協会70周年愛知県支部記念誌 発明協会70年史 半田商工会議所創立100周年記念誌 紡績と製織 尾州商人のど根性-タマコシ五十年の歩み 尾西地方特定公共下水道事業施設改良史 浜松商工会議所百年史 尾西地方特別都市下水道事業史 姫路商工会議所七十七年史 舞鶴商工会議所五十年史 紡績計算風格を求めて五十年-橋本毛織創業五十年史- 物流に生きる-東陽倉庫九十年の歩み 名古屋染港誌全一卷 平成16年国府宮裸祭大鏡餅奉納江南市奉賛会片岡毛織創業九十年史, (二) 墨敏夫知と技の軌跡100年 保健所のあゆみ保健所法施行30周年記念 毎日新聞百年史1872~1972 名鉄局のあらし昭和43年度 名古屋空港ビルディング株式会社創立30周年記念誌“飛翔” 明日をひらく東海テレビ放送10周年記念出版 名古屋商工会議所百年史 名古屋相互銀行20,30年史 名古屋鉄道社史 名美百年史 毛糸紡績汎論 毛織物事典 毛織のメッカ尾州-尾西毛織工業九十年のあゆみ 問屋街の歴史と四十年のあゆみ 労働基準法十年の歩み 靖國輸出振興から国際協調ヘージェットロの30年 力織機構学 歴史・伝承の旅 絆-豊田業団からトヨタグループへ 翔け世界にトーマン70年のあゆみ
- 名古屋画廊 横井礼以画集 愛知県洋画壇物語PART II
- 名古屋港水族館 「さかなかな」vol.85~92
- 名古屋市教育委員会 名古屋市中区富士見町遺跡第8次発掘調査報告書 名古屋城三の丸遺跡第12次発掘調査~調査成果の概要 名古屋市中区尾張元興寺跡第15次発掘調査報告書 史跡志段味考古群保存管理計画 瑞穂遺跡第10次発掘調査報告書 若葉通遺跡第3次発掘調査報告書 名古屋市H-108号窯発掘調査報告書 天白元屋敷遺跡平成25年度発掘調査報告書 見晴台考遺跡第44・45・46・47・48次発掘調査の記録 名古屋市文化財調査報告88~90,92 特別史跡名古屋城跡発掘調査報告書(名古屋城西之丸発掘調査) H-G-18号窯発掘調査報告書 玉ノ井遺跡第13次発掘調査報告書 天白元屋敷遺跡・平成26年度・第7次発掘調査報告書 名古屋市北区若葉通遺跡第4次発掘調査報告書 朝日遺跡第23次発掘調査報告書-公共下水道雨水管整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 楠町遺跡第2次発掘調査報告書
- 名古屋市市政資料館 「新修名古屋市長だより」第33号
- 名古屋市博物館 特別展「名古屋めしのもと」 特別展「禅の心とかたち-總持寺の至宝」 企画展「エピソードでたどる書の散歩道」「いつだって猫展」 図録 「アンコール・ワットへのみち展」 図録 資料図版目録10 横井庄一生活資料 「魔女の秘密展」 ギリシア考古学の父シュリーマン ティリンス遺跡原画の全貌 「採録 名古屋の衣生活 伝えたい記憶・残したい心」 資料叢書3,3-22 研究紀要第38,39巻 「アートペーパー」第98~103号 たより第213~221号
- 名古屋市秀吉清正記念館 特別陳列解説目録「浮世絵にみる秀吉清正」「秀吉伝説-その真実を問う」
- 名古屋市蓬左文庫 「蓬左」No.90~93
- 名古屋見晴台考古資料館 見晴台遺跡ガイドブック第2版 研究紀要第16号2014 年報31,32
- 名古屋大学文学部考古学研究室 研究論集185,188 東山72号窯発掘調査報告書
- 愛知学院大学文学部 愛知学院大学論叢文学部紀要第45,46号
- 愛知県 第31回国民文化祭あいち2016公式ガイドブック愛故知新伝統を「愛」しみ、新しきを、「知」り、文化は動く Eyes on Aichi
- 愛知県教育委員会 あいち山車図鑑 あいち山車図鑑(第2版) ふりかえれば未来日本の祭シンポジウム報告書 史跡貝殻山貝塚保存管理計画 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館拡充整備基本構想<概要版>
- 愛知県公文書館 たより第20~21号
- 愛知県総務部法務文書課史編さん室 愛知県史通史編1,6,7 愛知県史別冊文化財4典籍, 窯業I 古代猿投系 愛知県史研究第19~21号 愛知県史資料編5,22,23,36 [DVD] 一宮市博物館所蔵資料妙興寺文書101-106
- 愛知県埋蔵文化財センター 調査報告書第189~192,194,197,199,200,202~208集 【CD-ROM】 調査報告書第189~192,194,197,199,200,202~208集 研究紀要第16,17号 平成27,28年度年報
- 愛知大学総合郷土研究所 紀要第60,61輯 ブックレット24,25
- 愛知大学博物館学芸員課程 博物館学芸員課程年報第20,21号
- 愛知県教育委員会文化財課 日本遺産
- 愛知県美術館 「生誕110年片岡球子展」「ゴッホとゴーギャン展」
- 愛知学院大学 考古学発掘調査報告19~22 図書館情報センター貴重資料目録[西洋編]
- 愛甲昇寛 「一四〇〇年の謎にせまる法隆寺秘宝展」「史迹と美術」総合目録「史迹と美術」総合目録追録その1(第451号~第500号) 「史迹と美術」総合目録追録その1(第451号~第500号) 「正倉院展目録1965,1973,1975,1978」 「国宝醍醐寺のすべて~密教のほとけと聖教」「東京国立博物館名品図録」「東大寺」「磬」発掘された古代の在銘遺宝」「法隆寺昭和資料帳調査秘宝展図録1」「中国王朝の至宝」 「新編知立市史別巻文化財編」 遍照院大般若波羅蜜多經調査目録 「新潟知立市史別巻文化財編」 抜刷遍照院大般若波羅蜜多經調書目録 「新編知立市史別巻文化財編」 抜刷工芸 「飛鳥の埴仏と塑像~川原寺裏山出土品を中心として」「ブツダ釈尊-その生涯造形」「ブツダ展~おおいなる旅路」「みほとけのかたち~仏教に会う」 奈良国立博物館「春日西塔・東塔跡の発掘~殿下の御塔・院の御塔」「天平」「山岳信仰の遺宝」「西大寺展」

No. 受入先

書名

- 「仏像と像内納入品展」「館蔵の経塚遺物」「古地図」「慈恩大師」「大和額安寺・鎌倉極楽寺五重塔の納入品～鎌倉時代の高僧・忍性菩薩をしのぶ」「中将姫絵伝」「能楽面」「仏教版画」「まぼろしの久能寺経に出会う平安古経展」「国分寺」「女人高野室生寺のみ仏たち」「仏教工芸の美目録」「平安鎌倉の金銅仏」「菩薩」「大和の古代美術～渡来文化受容のかたち」「奈良国立博物館名品図録」「資財帳」「鎮壇具」「東国の古瓦～原田良雄氏コレクション」「東大寺の伎楽面」「仏教版画」「矢田丘陵周辺の仏教美術」
- 稲沢市の梵音具 河内飛鳥古寺名寶 画像不動明王 解説版新指定重要文化財 1～3,7,8,10～13 観音菩薩 根来 観音菩薩目録 韓国美術五千年展 岩波講座日本歴史 1～12,14～23 季刊考古学第 46,76 号群書解題第一～十一巻 群書類従続正分類総目録・文献年表 群書類従第一～二十九輯 慶長以前罅口・雲版年表稿 経塚遺宝 吾妻鏡人名索引 弘法大師と密教美術 高野山の梵鐘 高野山町石の研究 大安寺の美術 大陸伝来仏教美術展 史迹と美術(復刻版) 1～19 史迹と美術 193,203～236,242～260,262,264,266～269,271～273,275,277～279,282,283,285～308,310～321,325～327,329～332,334～340,366～380,382～608,610～859,863～868 号 史迹美術同致会最近のあゆみ一本会創立六十五周年記念 史迹美術同致会創立七十周年,八十周年を迎えて 正倉院展目録 1997,2013 檀像一白檀仏から日本の木古彫仏へ 抽出物と仏像型 日本の書 日本の仏教を築いた人びとーその肖像と書 尾張宝印塔拓影集 武家のみやこ鎌倉の仏像～追真とエキソチシズム 日本仏教美術名宝展 仏教芸術 9,10,12,13,19,22,30,33,35,45,49,53,56～321 仏教話の美術 仏像のあらわした金剛鈴 法隆寺献納金銅仏 平安仏画ー日本美の創成 仏像東漸ー伊勢・伊賀・そして東へ 法隆寺展ー聖徳太子と平和への祈り 密教工芸ー神秘のかたち 満蒙喇嘛教美術圖版 當麻寺～極楽浄土へのあこがれ 平成9～15年度指定神戸市文化財調査報告書 續群書類従第一輯～第三十七輯 續群書類従補遺一～三
- 熱田神宮宝物館 特別展「太陽のちからー信仰とみなぎる生命力」企画展「神さまのおおしもの」「熱田神宮名宝図録ー宝物から見る歴史と信仰」たより No.205～216
- 安城市教育委員会 文化財調査報告書第 5,6,34～38 集
- 安城市歴史博物館 特別展「台地を拓く都築弥厚の夢」「三河真宗の名刹本證寺」「安城ゆかりの大名家康の名参謀本多正信」「まねるうつすつたえる」企画展「時代を彩った美女たち」「わたしたちの見た戦争ー戦時下のこどもたち」「安城の文化財ーモノ語り名品展」指定文化財がつむぐ7つの「モノ語り」「そうだ！旅に出ようー収蔵資料から見る昔の旅行」歴史研究第 40～42 号年報第 24,25 号 れきしみち No.100～104 ニュース No.96～99
- 稲沢市荻須記念美術館 年報平成 27 年度
- 稲沢市教育委員会 市内遺跡発掘調査概要報告書Ⅳ,Ⅴ 史跡尾張国分寺跡 史跡尾張国分寺跡保存管理計画書 歴史年表 文化財ノート 文化財愛護少年団活動記録第 36 集
- 犬山市教育委員会 犬山たび 卷之一～七
- 大口町教育委員会 研究紀要Ⅱ,Ⅲ
- 大府市教育委員会 文化財調査報告書第 11 集 鴨池東古窯
- 大府市歴史民俗資料館 年報第 25～27 号
- 岡崎市教育委員会 市史研究第 35 号 岡崎城跡Ⅲー三の丸
- 岡崎市美術博物館 企画展「藤井達吉の全貌ー野に咲く工芸・宙を見る絵画」「浮世絵の美ー平木コレクションの名品」「法隆寺展ー聖徳太子と平和への祈り」「古文書みりよく発見!」「暮らしのうつりかわりわくわくシート」収蔵品展「そこに在ることー歴史・美術にみる存在の印」史料叢書大樹寺文書下 研究紀要第六号「アルカディア」vol.64～69 年報平成 25・26 年度
- 春日井市教育委員会 特別展「古窯のまち春日井ーその歴史的起源を探る」常設展示図録(考古編)かすがい古代史 発掘遺跡発掘調査報告第 14 集 平成 25～27 年度市内遺跡調査概要報告書 遺跡解説パンフレットその 2「郷土誌かすがい」第 74～76 号
- 春日井市道風記念館 特別展「八代集の古筆」「陽明文庫の名品にみる近衛家の美意識」「道風記念館だより」第 49・50 号
- 蟹江町歴史民俗資料館 年報第 35,36 冊
- 蒲郡市教育委員会 埋蔵文化財発掘調査報告書
- 刈谷市教育委員会 中条遺跡発掘調査報告書 国指定天然記念物小堤西池カキツバタ群落調査報告書 14
- 刈谷市美術館 平成 26,27 年度刈谷市美術館年報
- 幸田町教育委員会 民俗文化財調査報告第 1 集 国史跡島原藩主深溝松平家墓所保存管理計画
- 小牧市教育委員会 小牧の寺院
- 産業技術記念館 館報 vol.71,72 「赤れんが便り」vol.69・70
- 新城市教育委員会 新城城跡発掘調査報告書Ⅳ 名勝・天然記念物鳳来寺山石垣等保存修理計画書 名勝・天然記念物鳳来寺山鳳来寺山石積保存整備事業報告書
- 杉本美術館 たより第 112～119 号
- 瀬戸市埋蔵文化財センター 企画展「戦国時代の瀬戸窯ー古瀬戸から大窯へ」
- 知多市教育委員会 文化財資料第 43,44 集
- 知立市歴史民俗資料館 企画展「描かれた八橋」「知立にあった商売やさん」「戦争を忘れないー知立市民の記憶」私の戦争体験 1,2ー知立市民の証言 年報平成 26,27 年

No. 受入先	書名
東海市教育委員会 徳川美術館 豊川市地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム	平成 25,26 年度畑間・東畑・郷中遺跡発掘調査報告書 北広遺跡範囲確認調査報告書 「葵」No.95～101 企画展「こだいトリエンナーレ～古代の人びとの心象風景を表象する一鳥のつまみを頂く器」 豊川海軍工廠展「豊川海軍工廠の絵作品集」 「森羅万象～大小島真木十津田隆志～現代美術 in 豊川」 日本画家岩原良仁画集 年報平成 26,27 年度
豊田市教育委員会	平成 25,26 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書 豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 62～70 集 とよたデカスプロジェクト 2014,2015 豊田市史研究第 6,7 号 豊田市指定有形民俗文化財真屋岡本家住宅（塩座・土蔵・離れ座敷）保存修理工事報告書 名勝龍性院庭園総合調査報告書平成 23～27 年度の調査結果 新修豊田市史 8,10,22, 資料編一考古Ⅱ弥生・古墳, 資料編一現代Ⅰ, 別冊一民俗Ⅱ平和のくらし 「新修豊田市史だより」第 16～19 号
豊田市郷土資料館	特別展「旧家の蔵から～足助の町を彩った商人文化～」 とよたの祭事記録藤沢・押沢松嶺地区の棒の手 たより No.92～97 こどもしりょうかんだより No.32・33
豊田市民芸館 トヨタ博物館 豊橋市教育委員会	愛知陶磁美術館所蔵本多静雄コレクション「陶磁のこま犬」 たより第 18～21 号 紀要 No.22,23 たより No.94～97 豊橋市ナガバノイシモチソウ自生地群落調査及び回復実験報告書Ⅳ 愛知県豊橋市葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自生地大規模植生回復作業報告書Ⅰ 2013～2014 年葦毛湿原調査報告書Ⅴ 史跡瓜郷遺跡保存管理計画書 国指定瓜郷遺跡 豊橋市指定有形文化財浄慈院地藏堂保存修理報告書 豊橋市指定有形文化財愛知大学公館（旧陸軍第十五師団長官舎）建築調査報告書 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 128～138,140,141 集
豊橋市自然史博物館	特別展「天空を制した巨大翼竜と鳥たち」 企画展「メガ恐竜展 in 豊橋」 資料集第 25 号 研究報告第 25,26 号 年報第 27,28 号
豊橋市地下資源館 豊橋市美術博物館	年報平成 26,27 年度 特別企画展「近代の日本画の名作一描かれた日本の美」 収藏品展「墨のいろーモノクロームの世界に遊ぶ」 石巻神社所蔵「大般若経」調査報告書 研究紀要 2013 年 18 号 年報平成 24～26 年度 「風伯」第 92～96 号
豊橋市二川宿本陣資料館	「本陣に泊った大名たちⅡー讃岐高松藩松平家と阿波徳島藩藩須賀家」 「伊豆守が行く吉田藩の大名行列と松平信明」 豊橋市指定有形文化財商家「駒屋」（主屋・脇門・離れ座敷・渡り廊下・茶室・南土蔵・中土蔵・北土蔵・北倉）保存修理報告書 豊橋市二川町の醸造施設建物調査報告書ー東駒屋と西駒屋を中心に
南山大学人類学博物館 西尾市 西尾市教育委員会	紀要第 34,35 号 新編西尾市史研究第 1,2 号 板倉家菩提寺万灯山長圓寺文化財総合調査報告書<目録編>上, 下<解説編>〔建造物編〕 だより第 2・3 号
日本モンキーセンター 博物館明治村 半田市立博物館 一宮地場産業ファッションデザインセンター 古橋懐古館	年報平成 26,27 年度 モンキー」1 巻 1 号 「NEWS LETTER」vol.2ー1,2ー2,3ー1 たより vol.79～86 年報・紀要平成 26 年度 友の会だより第 31,32 号 糸がつむぐお話Ⅱー尾州ツィード
碧南海浜水族館 碧南市教育委員会 鳳来寺山自然科学博物館 美和町歴史民俗資料館 東車維持財団 かわら美術館	特別展「古橋家中興の祖古橋源六郎輝兒」 企画展「稲武をこよなく愛した芳賀登と古橋家文書研究会の五十年」「仰ぎ見る富士山」「奥三河の祭りごと」 年報第 27,28 号 「マリンドリーム」No.76～81 市史第 71 集 館報第 44,45 号 尾張西部のオコワ祭調査報告書 叢書 10 尾張一宮の桃花祭と車楽ー尾張平野の山車文化を巡って
龜山雪峰 田中三郎 日進市教育委員会 真宗大谷派名古屋教区教化センター INAX ライブミュージアム 知多市歴史民俗博物館 岡崎市美術館 中京大学 椋山女学園大学学芸員委員会 江南市歴史民俗資料館	特別展「馬たてまつる～埴輪からおまんこ、競馬まで」「安土・桃山の城郭革命～信長・秀吉・家康と金箔瓦」 収蔵資料伊藤圭介旧蔵瓦コレクション 収蔵作品坂本万七 自分史 亀の歩み 続いちのみや街の彫刻オブジェモニュメント 市史自然編, 目録民俗編, 自然編 「親鸞聖人と尾張門徒～その信仰のすがた」 「NEWS LETTER」vol.35～42 年報第 16,17 号 岡崎市美術館年報平成 25・26 年度 文学会論叢第一, 二号 BSM(Bulletion of Sugiyama Museology) 第 22,21 号 企画展「戦前の未年年賀状展」「昭和の時代と風景(2)ー記念・観光たばこの図柄から」「60 年を振り返るー新聞と写真からー」「日本の爪ー東日本を中心にして」「戦前の暑中見舞絵はがき展」「江南の文学碑」 年報平成 26,27 年度
清須市はるひ美術館	巡回展「北海道立近代美術館・札幌芸術の森美術館コレクションによるエコール・ド

No. 受入先

大口町歴史民俗資料館
西尾市岩瀬文庫

瀬戸市美術館
田原市教育委員会
田原市博物館

名古屋大学大学院文学研究科
光村印刷

熱田神宮宮庁
愛知県生涯学習推進センター
瀬戸市文化振興財団
犬山城白帝文庫

愛知学院大学大学院
同朋大学仏教文化研究所

愛知淑徳大学
一宮市芸術文化協会
碧南市藤井達吉現代美術館

清須市教育委員会
荒木集成館
愛西市教育委員会
瀬戸蔵ミュージアム

あいちトリエンナーレ

高橋記念美術文化振興財団
古代瀬波の里
愛知県立芸術大学
みよし市立歴史民俗資料館
中部大学民俗資料館博物館
奥井鉄工株式会社
愛知登文会
愛知県陶磁美術館

書名

・パリに咲いた異邦人の夢」第8回はるひ絵画トリエンナーレ

図鑑 No.14,15 年報 17,18

特別展「茨木のり子没10周年詩人茨木のり子とふるさと西尾」[新発見。新知見。一新編西尾市史中間報告展Ⅰ] 企画展「こんな本があった！～岩瀬文庫平成悉皆調査中間報告展13」「こんな本があった！岩瀬文庫平成悉皆調査中間報告展14」「山田満寛氏記念虫愛づる人々」「How to? 岩瀬文庫の指南書たち」「江戸の美味しさを召し上がれ～素晴らしき料理本の世界」「越境する絵ものがたり」「火事～火事と日本人のかわり1000年」「江戸きゃらくたあ図鑑～岩瀬文庫資料にみる“Cawaii”“オモシロ”キャラたち」 たより No.46・47・49～53

「没後100年宮川香山」

田原の文化財ガイドⅣ,Ⅴ 埋蔵文化財調査報告書第8～10集 田原藩日記第十一巻 企画展「帰ってきた国指定重要文化財渡辺華山筆千山万水図～初公開奈良岩雄氏寄贈資料」「戦後70年渥美半島と戦争」「田原の美術道家珍彦展～シルクロードと渥美」「万葉千首完成50年鈴木翠軒の書～万葉の世界」「写楽と豊国～役者絵と美人画の流れ」「川崎のぼる汗と涙と笑いと」「姫路市立美術館所蔵ポール・デルヴォー版画展～幻想のヴィーナスたち」日本芸術院所蔵鈴木翠軒筆「万葉千首」作品集 研究紀要第7,8号 「華山会報」第34～37号

名研究論集182 一史学61 [考古学抜刷第30集]

歌川広重・溪斎泉英木曾海道六拾九次之内(増補版) 歌川広重不二三十六景富士三十六景富士見百図 及川正通特大号展～時代を駆けむけて「ぴあ」がうまれた。そして、これから…

「あつた」第246～249号

「まなびいあいち」No.43～55

企画展「織豊期の瀬戸窯と美濃窯」調査報告第56,58集 研究紀要第19輯

特別展「城主の装い」 「犬山・名古屋・江戸～城主の見た絵図」 研究紀要第9,10号 「歴史文化館だより」vol.12・13

紀要第27号

2015(平成27)年度前期展示三河土呂の蓮如忌(本願寺蓮如生誕600年記念) 紀要第三十四,三十五号 所報第29号

ラプレミューズへのみち～第4,5号～ 学芸員課程2015,2016MUSEの窓

いちのみや文芸2016・2017

企画展「記憶のモニュメントその軌跡の展開石黒将二展」「没後一三〇年山中信天翁と幕末維新」「メタルズ!変容する金属の美」「鬼才河鍋曉斎展～幕末と明治を生きた絵師」「時空を超えてつむぐ～多和英子VS放菴・達吉・鉄五郎」〔記録集〕時空を超えてつむぐ～多和英子VS放菴・達吉・鉄五郎年報平成24・25年度/研究紀要No.3

埋蔵文化財調査報告Ⅷ,Ⅸ

きりん第19・20号 パンフレット No.220～225

文化財調査報告書第2集 八竜遺跡

企画展「明治に生まれた美麗なるやきもの～石目焼」 「陶磁器図案家馬淵利貞～昭和初期の産業デザイン」

あいちトリエンナーレ アーツ・チャレンジ2015/ あいちアートプログラム実施報告書 アーツ・チャレンジ2016/ あいちアートプログラム～虹のキャラヴァンサライに向けて 虹のキャラヴァンサライあいちトリエンナーレ2016開催概要 あいちトリエンナーレ2016虹のキャラヴァンサライ創造する人間の旅 あいちトリエンナーレ2016ダイジェスト あいちトリエンナーレ2016公式ガイドブック

「VOICE」Vol.16

研究紀要第2,3号

ニュースNo.62・63

特別展「南画家伊豆原麻谷とその時代」

「NEWS LETTER」vol.7～9

一宮商工会議所五十年史 第18回発明と産業近代化展覧会 写真紳士録第二集

ニュース第12,13,16号

あいちトリエンナーレ2016特別連携事業/企画展/埋蔵文化財展「弥生への旅朝日遺跡～2000年前のキャラヴァンサライ」 あいちトリエンナーレ2016特別連携事業第二展示部門「弥生古物を旅する～美術館の中の弥生」 特別企画展「人が大地と出会うとき」 企画展「くらしをうつす～郷土の土人形展」 「愛知ノート～土・陶・風土・記憶」 「魅惑の陶製人形～ノベルティ、人物俑、はにわ、土人形、フィギュリン」 「タイル～近代都市の表面」 寄贈記念「世界をみる眼～古陶磁とガラス西垣千代子コレクション」 「古唐津桃山・江戸の華やぎ古武雄」 「川喜田半泥子物語～その芸術的生涯」 「煎茶～山本梅逸と尾張・三河の文人文化」 「常滑～古常滑・急須・陶彫」 「鯉江良二展～土に還るそれ以前・それ以後」 「ギリシャ陶器『古典』の誕生～アッティカ、ローマからセーヴル、ピカソまで」 建築装飾としてのタイル・

No. 受入先

ナカシャクリエイテブ株式会社

江崎武

原誠

佐藤金吾

土本 典生

梅村孝之

熊澤潔

田中佐知男

愛知県下水道科学館

本地宗治

書名

陶壁が生きる街を記録と記憶に残すプロジェクト事業報告書 沖縄の工芸—琉球ガラス・陶磁器・染織・琉球漆器 館報第 22,23 号

加納城跡—岐阜市加納丸之内地内における緊急発掘調査 笠屋石塚遺跡—スーパーセンターオークワ関笠屋店建設工事に伴う埋蔵文化財調査報告

擔風詩集

将棋ペン倶楽部 2015 年秋

「墨蹟」第 13,15,19,21,23,24,29 ~ 32 回現代名僧墨蹟展 15 周年記念遺墨展図録 「道」本当の幸福とは何であるか 「大宝輪」まんだら—創刊 60 年秀作選秀作選第 2 集 NHK ブックス 58,281 SUNMOOK No.1 微笑の円空仏を訪ねる旅 かみなり雪潭 これで大丈夫禅語百科 たくあん石の悟り ドタン場で実力を発揮する本続・不動心大死一番 ほんまもんでいきなはれ まあ坐れ もう死んでもいいのですか. ありがとう ゆっくりしいや~百年に人生を語る ヨーロッパ狂雲記 よくわかる茶席の禅語 わが師を語る名僧たちの人づくり わたしの航跡 遺偈・遺誠—迷いを超えた名僧最期のことば 一口説法心を練る 一禅僧の自伝 逸外老師隨聞記底なし釣瓶で水を汲む 雲開窟鉄翁遺芳躰 永平寺の聯と額 越後獅子禅話 歌集龍珠 回想山本玄峰 各宗各派高僧名士墨跡集 覚の宗教 観音信仰入門 季刊禅画報第 20,21 号 久松真一著作集第 4 巻「茶道の哲学」求道の人びと—近代仏教百年の歩み 教育社歴史新書<日本史>113 神仏分離 金剛窟の風香 金剛老大師遺墨 激動期明治の高僧今川洪川 剣と禅 賢者の条件—禅僧は時代をどう生きたか 現代語訳臨濟録 光インド仏跡めぐり 坐禅<いま、ここ、自分>を生きる 坐禅入門 坐禅話讀法話 山岡鉄舟 山下清東海道五十三次 山田恵諱 100 歳を生きる 慈眼堂歌日記 自己を見つめる—本当の自分とは何か 若い人々へのメッセージ 関山嶺の風光 珠玉人生法話集 宗門葛藤集 十牛関 書と禅 床の間の禅語, 続 昭和・平成禅僧伝臨濟・黄檗編 昭和新修無門関 心の杖ことば 366 日上<1 月 1 日~6 月 30 日> 親鸞と真宗 心眼—悟りの目付け 人間、考えすぎるから不自由になる「思い込み」にとらわれない生き方 吹毛軒 人生、あわてることはない—心のゆとり十三説法 人生、それでよろしいのか 人生・心がけ 人生しっかり生きなされよ 瑞鹿山円覚寺 瑞法の尼寺日記 瑞龍鐵眼禪師遺録 世界の名著続 3 禅語録 精神的スタミナをつくる本不動心 生きる喜び 誠満豪支犒軍遺霊の旅和中支その他犒軍遺霊の旅 仙厓 仙厓和尙逸話選 青山俊重「摂心日めくり法話」悲しみはあした花咲く 雪月花つれづれ 禅からの発想—自由自在に生きる 禅と思想 禅に聞け~澤木興道老師の言葉 禅のしり 禅の極意今すぐ幸福になる方法 禅の思想 禅の心 禅の世界—道元禪師と永平寺 禅をZENを伝えた明治の高僧釈宗演伝 禅語にしたしむ 禅語の四季 禅語の茶掛を読む辞典 禅語百景 禅僧が医師をめざす理由 禅僧の逸話 禅入門 禅無所得を生きる 禅門逸話選上, 下 禅林偈頌選 禅瞑想—ピラミッド式座禅のやさしい実践法と効果の科学的究明 素浪人塚本竹甫一尺八に生き、酒を愛した男の生涯 創業 70 周年記念刊行鎌倉室町の美術 足立美術館大観選 村瀬太己その生涯と作品 太陽シリーズ 35 太陽仏の美と心シリーズ」絢爛たる経典 待つことを知るものは勝つ 大淵窟遺墨集 大菩薩禅堂金剛寺を訪ねる会と大接心の記録 卓州禪師遺芳 歎異抄 法句経のこころ 茶席の禅語(上, 下) 茶道誌淡交 2002 年増刊号近代の禅僧と茶の湯 中国名勝古墳 定本山岡鉄舟 佛心 提唱碧巖集全 唐木順三文庫 5—千利休 東洋の心 燈影撰書 28—松本省念老師<下回想篇> 碧巖物語 毒語心經 独楽熊谷守一の世界 汝自らに問え~迷いを取り払う禅の教え 二百年遠諱記念東嶺の禅と書 日本の寺院を知る事典 日本の信仰仏神と習俗 日本仏教宗派事典コンパクト版 日本仏教人名事典コンパクト版 白隠禪師息耕録開筵普說講話 日々清々 般若心経の心 煩惱人の心のさとり方—一生を味わいつつ大道を歩む知恵 美濃路の石仏 不二の妙道を行く 布袋の袋俳禅余話 仏教聖典 仏教名句揮毫手帖 法然と浄土信仰 別冊墨第 8 号禅の書—高僧墨蹟の系譜 鵬雲斎千宗室好物聚成第一~三巻 本当の自己に生きる無門閑提唱 墨三十八号九月号—特集慈雲尊者 墨四十八号五月号—特集澤庵宗彭 墨—日本高僧遺墨全 3 巻 魔禅 夢窓国師の風光 無為室遺墨集 無門閑提唱 名僧いんたびゅう 名僧百言 名僧百人一話 I 夜船閑話講話 季刊禅画報第 5~10,13,15,18 号 裏千家茶道教科教養論 4—百人の禅僧 臨濟録提唱 臨濟録物語 歴史・伝説の旅 鈴木大拙の人と学問 鷲峯餘光—興國寺開山法燈國師七百年遠諱 佛のこころ詩の心

「考古学研究」復刻版第 6 巻~第 10 巻 「私たちの考古学」復刻版第 1 巻~第 5 巻 遺跡学研究第 1~10 号 季刊考古学別冊 2,4~20 見瀬丸山古墳と天皇陵 季刊考古学第 1,10,14,16,18~20,24,26,28,31,34,39,40,42~126 古代学研究第 35~59,129 号~162,167 号~第 207 号 古代文化第 45,52,53,57,58,60 巻 考古学雑誌第 73~89 巻 佐織町史資料編二 展望考古学—考古学研究会 40 周年記念論集 日本考古学第 1~40 号 日本考古学年報 11,29,32,37~40 公木萬記(第 8,9 集)

画業 60 年の軌跡梅村孝夫作品集

南朝遺裔適否照査之請願書

SACHIO TANAKA Art Works 2015

「ぐるぐる」vol10

いい伝え三百六話 おやじ聞き書 ガ島血戦盡忠録 ザ・尾張シリーズ第 4 集尾張の女性 われらの平野 流石遺稿 濃尾の自然と人 愛知郷土文化史談紙魚(全) 愛知県教育史第一~四巻・別冊愛知県寺小屋一覽 温故百話 一宮の民話第九集 一

- 宮史談会叢書 3,15～17,19～21 一宮市史巻之上 一宮市史全 一宮市内の円空仏
 一宮市内に郷土史関連取材記事抄 一宮市文化財私見 一宮市北方町加藤家文書そ
 の三 一宮八景 我が祖父坪内廣三郎が奉持した『勅語・令旨』集 関ヶ原合戦大
 繪巻 岐阜落城軍配と慶長記 吉田家本「長久手記」 旧明力坊前田速念寺史稿江戸
 時代編 教育勅語御下賜二 10 周年記念 愛知縣丹羽郡小學校寫真帖 三八市場
 郷土かるたわたしたちの尾張 郷土史 234 珍 近世なごやの裏話 近世尾張平野の変
 遷史全二編 犬山こぼれ話 犬山御城初築由來 古文書研究資料編「垂墨利加人デ
 大騒ぎ」 古文書研究資料編Ⅰ,Ⅱ 江戸時代貨金物価史 江南郷土研究会々報 江
 南郷土史研究会一會報二百号記念集冊版巻の一,二 三陽長篠合戦日記写 車車維
 持財団叢書—日本文化の特色を考える— 小牧付近図他(長久手・清須) [小牧陣始
 末記 1989/10 複製地図] 少年俱樂部第十八巻第一号附録 國史に輝く英傑集 昭
 和三十一年十月 五十年の歩み 松雨雜纂 信長公書狀集 森徳一郎先生著書並發
 表記録 西成の英霊 西大海道土地改良史 節操夜話 前野文書が語る戦国史の展
 開 全面移転を記念して～110年のあゆみ 第拾九期上半季營業報告書 珍本駄本
 探訪武功夜話のふるさと 坪内氏と高野島城付開明地名考 渡邊大將略奪 東海の
 ロマン日清戦争功労拔書 探訪武功夜話のふるさと 坪内氏と高野島城付開明地名
 考 渡邊大將略奪 東海のロマン 日清戦争功労拔書 日露戦争記録及び日露戦争
 第三師團輜重兵記録 特別史跡名古屋城年表～慶長の築城より 馬津新溝驛の解決
 入鹿溜池由來始末誌 尾西の史蹟を訪ねて 尾張の土産話①,③ 尾張一宮地方の
 伊勢參宮 尾張国神社考 尾張国丹羽郡野村年表 尾張国丹羽郡浅野村災害年表
 尾張国地図集成 尾張国富田莊絵図 尾張史料の新研究 尾張衆と関ヶ原合戦 尾
 張城址散策—尾張の城址を訪ねる(上,下巻) 尾張石文～石造物の銘 尾張大根切
 干發達史 尾張藩在郷名家録 尾張藩士録 尾張野風物詩資料篇その一,二 尾
 濃切支丹年表・札所巡禮 尾藩知名人年譜抄八 尾北のロマン上 尾北ホームニュー
 ス中日新聞連載の50話 彦根藩軍制秘録 武功夜話(全四巻) 武功夜話補巻 忘
 れじの尾張本 名古屋の街道一道と文化 名古屋空襲誌全八冊名古屋空襲を記録す
 る会(第1号～8号) 名古屋城博記念名古屋城今昔写真集 明治三十一年特別大演
 習實記 明治二十四年濃尾大震災寫真帖 歴史写真集名古屋再発見
- 名古屋城総合事務所 特別展「描かれた名古屋城写された名古屋城」
 馬引馬子の会 2千年の遺跡5千人の町 ふるさと馬引のあゆみ
 妙楽賢俊 西萩原ものがたり
 原信一 尾張いにしえ物語
 愛知県燃糸工業組合 燃糸
- 24 海の博物館 「浮世絵から見る海女」
 桑名市博物館 特別企画展「大定信展—松平定信の軌跡」 桑名市博物館収蔵品図録
 斎宮歴史博物館 特別展「よみがえる斎宮」 「古代の出雲—その限りない魅力」 平成24～26年度
 発掘調査概報 発掘調査報告Ⅱ 東部整備事業報告 たより No.74～77
- 鈴屋学会 第三十四回鈴屋学会大会要領 会報第三十二・三十三号
 本居宣長記念館 「ふみの森探検隊」No.15～22
 津市埋蔵文化財センター 「まいぶん津」第13号
 三重県埋蔵文化財センター 近畿自動車道名古屋神戸線(四日市JCT～龜山西JCT)建設に伴う埋蔵文化財発掘調
 査概報Ⅳ,Ⅴ 埋蔵文化財調査報告186—8,323—5,364—369,372,373 研究紀要第24号
 一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報26(平成26年度調査) 平成26,27
 年度三重県埋蔵文化財年報
- 三重県県立美術館 「HILL WIND」』36・40
 四日市市教育委員会 一般国道1号北勢バイパス埋蔵文化財発掘調査概報ⅩⅡ 埋蔵文化財発掘調査報告書
 50,52 「久留信官衛遺跡整備ニュース」vol.4～17
- 桑名市教育委員会 桑名市中央図書館開館10周年記念地域文庫コレクション～秋山文庫・伊藤文庫・堀田
 文庫・北村文庫・貝塚文庫 国指定天然記念物「多度のイヌナシ自生地」の現況に関
 する総合調査報告書平成25～27年度 多度村役場村会書類目録Ⅱ,2 桑名市文化財調
 査報告書—平成24,25年度
- 鈴鹿市考古博物館 特別展「鹿～『鹿と古代人』その後」 企画展「黄金に輝く～信長・秀吉の民」 伊勢
 国府跡17,18 速報展発掘された鈴鹿2014,2015 木曾田遺跡(第1・2次)～平田野中学
 校移転改築に伴う発掘調査報告書 磐城山遺跡(第6・7次)発掘調査報告書～農地改
 良工事に伴う緊急発掘調査 半田遺跡発掘調査報告書～御門垣内地区の調査 年報第
 16,17号
- 松阪市文化財センター 平成25,26年度年報
 明和町 三重県多気郡明和町斎宮跡埋蔵文化財調査報告32—史跡斎宮跡—平成26年度現状変
 更緊急発掘調査
- 三重県総合博物館 開館記念企画展「MieMu 発進！」 企画展第1弾「MieMu 誕生物語—三重県総合博物
 館ができるまで」 第3弾「でかいぞミエゾウ！化石が語る巨大ゾウの世界」 第4弾
 「祈りと癒しの地熊野」 第5弾「ふたりのウェディング事情」 「大変動の地—三重
 の三億年・変動に生きた巨大生物たち」 南北の共存東西の交流三重県総合博物館展
 示案内 親鸞高田本山専修寺の至宝 ぐらしの道具～いま・むかし あんな虫、こんな
 虫、そんな虫—身近な小さな生きものたち SUZUKA 夢と挑戦のステージ ホンダの
 F1と鈴鹿サーキット 伊勢志摩常世の浪の重浪よする国へいざ Now! 国立公文書館共

No.	受入先	書名
		催明治の日本と三重～近代日本の幕開けと鹿鳴館時代 交流展すばらしい三重の文化財Ⅰ 資料叢書 No.1,2 研究紀要第 1,2 号 年報通巻 1 号 「みえしんす」4～10・12～15 号
	皇學館大学研究開発推進センター 鈴鹿市遺跡調査会 諸戸財団	紀要第 2,3 号 年報第 2,3 号 鈴鹿市郡山町郡山遺跡群発掘調査報告Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ 名勝諸戸氏庭園保存修理事業中間報告書
25	近江八幡市教育委員会 大津市歴史博物館 滋賀県立大学人間文化学部 滋賀県立琵琶湖文化館	埋蔵文化財発掘調査報告書 51～53 平成 25 年度文化財年報 たより No.98・100～104 学芸員課程報告書第 17,18 号 平成 27 年度マザーレイク滋賀応援基金活用事業「受け継がれゆく神と仏の美—文化財修理の現場から」研究紀要第三十一,三十二号
	長浜城歴史博物館 長浜市教育委員会 彦根城博物館	たより第 40 号 長浜市埋蔵文化財調査資料第 147,148,150,155,157,159 集大辰巳遺跡第 45 次調査報告書 たより No.109,～111・113～116
	守山市埋蔵文化財センター(守山市教育委員会)	下之郷遺跡第 93 次・酒寺遺跡発掘調査報告書 下之郷遺跡確認調査報告書Ⅹ,Ⅺ 下之郷遺跡関連発掘調査報告書 文化財調査報告書平成 25 年度国庫補助対称遺跡発掘調査報告書
	楽浪文化財修理所 栗東市出土文化財センター	文化財修理報告書 Vol.13,14 地のまつりと水のまつり～古代の役所と祭祀～ 栗東発掘再発見 Vol.5,16 はっくつ 2014,2015 埋蔵文化財調査報告 2013,2014(平成 25) 年度年報
	東近江市教育委員会	国史跡指定・雪野山古墳発掘 25 周年記念事業雪野山古墳—過去・現在・未来—を語るシンポジウム 東近江市の遺跡シリーズ 1,13,14,15,16 埋蔵文化財調査報告書第 26～29 集
	米原市教育委員会 竜王町教育委員会	「佐加太」第 42～44 号 竜王町埋蔵文化財発掘調査報告書第 14 集竜王町内遺跡発掘調査概要報告書平成 24、25 年度 竜王町文化財資料集第 4 集竜王町埋蔵文化財発掘調査資料集Ⅳ—山ノ上焼・雨宮焼編
	大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査報告書 78,80～89,91～99,101～103 大津市埋蔵文化財調査年報—平成 24～27
	成安造形大学 長浜市長浜城歴史博物館 日野町教育委員会	紀要第 7,8 号 「雨森芳州と挑戦通信史—未来を照らす交流の遺産」 ふるさと日野の歴史
26	京都橘大学	大英博物館ゴーランド・コレクションの調査から 研究論集文学研究科第 13,14 号 歴史遺産調査報告 2014,2015 ゴーランド・コレクション総合研究の新知見に基づく日本古墳時代・研究史の再構築ニュースレター 1,2 号
	京都文化博物館 高麗美術館 向日市文化資料館 立命館大学文学部 京都大学総合博物館	研究紀要朱雀第 27,28 集 2014,2015 年度年報 「館報」第 102～105 号 特別展示図録「乙訓の四国街道と向日町」 「学芸員 NEWS LETTER」第 28,29 号 挑戦する大学博物館—学術標本・人・情報をつなげる博物館科学の創成にむけて 年報平成 26,27 年度 「ニュースレター」No.34～38
	同志社大学歴史資料館 美術館 宇治市歴史資料館	館報第 18,19 号 美術院紀要第八号 「宇治—トップブランドの成立と展開」 JR 奈良線 120 年進め!! 奈良鉄道 収蔵資料調査報告書 17,18 年報平成 25,26
	京丹後市教育委員会	平成 26 年度丹後・東海地方の文化方言等調査事業報告書「丹後・東海地方のことばと文化」～兄弟のようなことばを持つ両地方
	持田武夫	文化財選定保存技術「規矩術(近世規矩)」伝承事業出版木工技能者研修(普通コース)規矩術 建築規矩術(扇椽) 折り紙で学習する規矩術
	アートワン	「微笑みに込められた祈り円空・木喰展」
27	柏原市立歴史資料館	企画展「木簡紀行—安堂遺跡の木簡」「江戸時代の国分村」「まじなう—古代の祈りの道具たち」「大和・河内をつなぐ道—亀の瀬の歴史」 柏原市古文書調査報告書第十,十一集 館報第 27,28 号 「ゴンドラ」No.12・13
	河内長野市教育委員会 国立民族学博物館	河内長野市文化財調査報告書第 58～61 「みんぱく」第 451～461・463～475 号・総索引四〇巻 「友の会ニュース」第 226～233・235～237 号
	吹田市教育委員会	垂水南遺跡発掘調査報告書Ⅱ～垂水南遺跡第 57 次発掘調査 吹田市佐井寺一丁目所在佐井寺護摩堂および鐘楼建築調査報告書 五反島遺跡発掘調査報告書—吹田市南吹田下水処理場雨水滞水池設置工事に伴う発掘調査 平成 26,27 年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報
	吹田市立博物館	特別展「生誕 100 年西村公朝展—ほとけの姿を求めて」「絵図っておもしろい—国絵図と村絵図」「田園都市千里山～大正時代の理想郷」「古代の港か? 五反島遺跡の謎

No.	受入先	書名
	高槻市教育委員会 千里文化財団 枚方市教育委員会 枚方市文化財研究調査会 寝屋川市教育委員会	に迫る」館報 15,16 たより No.60～63・65・66・68 年報平成 25 年度 季刊民族学 No.152～159 枚方市文化財調査報告第 80 集—大阪府枚方市特別史跡百濟寺跡—写真図版編, 本文編 年報 36,37 文化と歴史のネットワークづくり事業歴史シンポジウム資料石宝殿古墳再考, 緑立つ 道の遺跡たち—第二京阪道路関連遺跡の調査を総括する—寝屋川市文化財資料 27,29 寝屋川のだんじり祭 I 明和地区のだんじり祭 国史跡高宮廢寺跡内容確認発掘調査 概要 II
	大阪くらしの今昔館 大阪歴史博物館 大阪大学埋蔵文化財調査委員会 泉大津市教育委員会 大阪大谷大学博物館 大阪大谷大学文化財学科 大阪府立狭山池博物館 泉南市教育委員会 大阪大学大学院 大阪市立美術館 大阪文化財研究所	ニュース vol.55～57 年報平成 26,27 年度 埋蔵文化財調査室年報 4 おほつ研究 VOL9,10 報告書第 62,63 冊 博物館だより No.117～121 歴史文化学科第 16 号 特別展「近世狭山池絵図—水田農民の狭山池改修史」 文化財調査報告書第 55,56 集 西山 1 号窯—篠窯跡群における瓦陶兼業窯の調査 たより vol.184～187 大阪市平野区加美遺跡発掘調査報告 VI, VII 大阪市北区中之島蔵屋敷跡発掘調査報告 II 大阪市北部遺跡群発掘調査報告 研究紀要第 17 号 「葦火」第 175～184 号 歴史文化研究第 15 号 歴史文化学科調査研究報告書第 2 冊論集他界観 志学台考古第 15,16 号
	四條畷市教育委員会 28 明石市立文化博物館 赤穂市立歴史博物館 尼崎市教育委員会 小野市立好古館 神戸市立博物館 神戸深江生活文化資料館 竹中大工道具館 西宮市立郷土資料館	文化財調査報告第 50～53 集 市史第五巻(考古編) 企画展「くらしのうつりかわり展～夏と冬のしたく」 特別展「源氏流いけばな」「山鹿素行」 尼崎市埋蔵文化財遺跡分布地図及び手引き 特別展「江戸時代の産業経済の発達～小野市市場地区」 たより No.80～85 館藏品目録美術の部 31 考古・歴史の部 31 研究紀要第 31 号 たより No.107～111 「生活文化史」第 43・44 号 「NEWS」vol.33～36 特別展「阪神沿線ごあんない—にのみやの郊外生活」「西宮町人の生活と文化～江 戸時代の日記を読み解く」 収蔵資料目録第七集 西宮歴史調査団年報 2013,2014 版 ニュース第 41～45 号
	姫路市立美術館 たつの市立龍野歴史文化資料館	たより vol.126～133 特別展「秀吉からのたより～よみがえる龍野神社の宝物」「秀吉からのたより」展示 資料別冊「脇坂家文書集成」「忠臣蔵から村文書まで—西播磨のアーカイブス」
	多可町教育委員会 兵庫県立考古博物館	多可町文化財報告 27—清水・タカアビ遺跡 特別展「築城—職人たちの輝き」「国史跡多田銀銅山—銀山攻略第二巻役所関連遺跡 の調査」「王墓の埴輪—池田古墳のすべて」「地震・噴火・洪水～災害復興の 3 万年史」 企画展「ひょうごの遺跡 2015—調査研究速報」「ひょうごの遺跡 2016—調査研究速 報」「千石コレクション古代中国鏡の至宝」 古代中国鏡の至宝解説シート 古代体験 交流事業全国古代体験フェスティバル 2015,2016 事業実施報告書 研究紀要第 8,9 号 館報 Vol.6 「NEWS」vol.16～19 「ひょうごの遺跡」第 93～95 号
29	飛鳥資料館	特別展「はじまりの御仏たち」「キトラ古墳と天の科学」「文化財を撮る—写真が遺す 歴史」「祈りをこめた小塔」
	田原本町教育委員会	企画展「たわらもと 2015 発掘速報展」「弥生遺産Ⅲ～唐古・鍵遺跡の石器～」「弥生遺 産Ⅳ～唐古・鍵遺跡の土製品・ガラス etc～」「小林家文書展」 唐古・鍵遺跡考古資 料目録 1 土器編 1 (絵画・紀号・文様) 文化財調査年報 23,24
	帝塚山大学考古学研究所 奈良県立民俗博物館	考古学研究所研究報告 X VII, X VIII シンポジウム報告書—最新研究行基の考古学 写真展「私がとらえた大和の民俗—衣—」「私がとらえた大和の民俗—食—」 たより 第 106・107 合併号
	奈良文化財研究所	企画展「飛鳥の考古学 2015～飛鳥の古墳調査最前線」「早川和子が描く飛鳥むかしむ かし」 紀要 2015,2016 概要 2015,2016 埋蔵文化財ニュース 158～165
	桜井市文化財協会	特別展「纏向」その後—大規模集落衰退後の纏向遺跡「拓かれた扉～桜井市の郷土 史研究はいかにして始まったか」 企画展「埴輪があった！古墳もあった？」「かわい い遺物たち～桜井市内出土遺物たち～」「国家誕生の地、桜井を語る」埋蔵文化財 2003,2007 年度発掘調査報告書 桜井市内遺跡発掘調査報告書—2013 年度 城島遺跡 第 42 次発掘調査報告書 発掘速報展 21 [50cm 下の桜井]
	桜井市立埋蔵文化財センター	纏向考古学通信 Vol7・8

No.	受入先	書名
	天理大学附属天理参考館 奈良大学文化財学科 橿原市教育委員会 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	天理参考館報第 28,29 号 文化財学報第三十三, 三十四集 研究報告 2014,2015 文化財調査年報平成 23 ~ 26 年度 特別展「継体大王とヤマト」「人のかたちの埴輪はなぜ創られたのか」「ヤマトの戦士古墳時代の武器・武具」「蘇我氏を掘る」「やまとのみやけと女性司祭者～史跡島の山古墳発掘 20 年」 大和を掘る 33,34
	宇陀市教育委員会 帝塚山大学附属博物館 桜井市教育委員会 桜井市纏向学研究センター 豆谷和之さん追悼事業会事務局	「古文書の宝庫片岡家文書の世界」 文化財調査概要 11 ~ 13 館報 X, X I 埋蔵文化財発掘調査報告書第 42 ~ 45 集 研究紀要纏向学研究第 3,4 号 年報第 2,3 号 魂の考古学—豆谷和之さん遺作・追悼文編
30	紀伊風土記の丘 和歌山市立博物館	特別展「紀伊の地大いに震う～考古学から南海地震を追う」 年報第 41,42 号・研究紀要第 3,4 号 和歌山市史第 1 ~ 3,5 ~ 10 巻 特別展「近代スポーツと国民体育大会—紀の国わかやま国体・わかやま大会への道」「表千家と紀州徳川家」「本居宣長と和歌山の人々 和歌山国学人物誌」「莊園絵図の世界—紀州流域を中心として」「花ひらく紀州の文化—紀州藩と茶道」「朝鮮通信使と紀州」「幕末の動乱と紀州」「和歌山の仏教文化」「城下町和歌山の絵師たち—江戸時代の紀州画壇—」「玉津島—衣通姫と三十六歌仙」 企画展「鷲森本願寺の歴史と寺宝」「絵画にみる和歌祭」 南海沿線「泉州ミュージアムネットワーク」「中国済南歴史文物展」 東京大学コレクション X VII 石の記憶—ヒロシマ・ナガサキ被爆試料に注がれた科学者の目 和歌山市立博物館総合案内 研究紀要 13,30,31 たより No.21
31	鳥取県埋蔵文化財センター 米子市美術館	青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報 2014,2015 第 6 回青谷上寺地遺跡フォーラム「人・もの・心を運ぶ船—青谷上寺地遺跡の交流をさぐる」 弥生の港湾集落—青谷上寺地遺跡 調査報告 60,61 所蔵品目録Ⅲ
32	島根県立古代出雲歴史博物館 出雲弥生の森博物館 八雲立つ風土記の丘	ニュース vol.34,36 ~ 39 平成 26、27 年度年報 「八雲立つ風土記の丘」 No.215 ~ No.219
33	岡山市教育委員会 岡山市立オリエント美術館 倉敷市埋蔵文化財センター 津山郷土博物館	南方遺跡—岡山済生会総合病院新病院建設に伴う発掘調査<第 1 分冊> 塚段古墳・坂口古墳—銀層ガラス玉を出土した後期古墳の発掘調査報告 上伊福（済生会）遺跡 2—岡山済生会総合病院管理棟・立体駐車場建設に伴う発掘調査弥生時代編 岡山城三之外曲輪跡—川崎医科大学総合医療センター建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 埋蔵文化財センター研究紀要第 8 号 埋蔵文化財センター年報 15 研究紀要 29,30 年報 15 平成 25・26 年度 特別展「佐平焼—結晶釉の美と特産品創出」 特別展 行列を組む武士たち—津山藩松平家の行列図より— 江戸一目図を歩く—鍛形蕙斎の江戸名所めぐり— 学芸員が作った津山城の本 年報平成 26,27 年度 「大博物館だより津博」No.83 ~ 89 津山市史だより創刊号・第 2・3・5・6 号
	総社市教育委員会 井原市立田中美術館	総社市埋蔵文化財発掘調査報告 23 ~ 25 年報 23 ~ 25 企画展「ジャパニーズ・ヴィーナス—彫刻家藤井浩祐の世界」「平家物語を描く—近代によみがえった古典」 棟方志功—平櫛田中を「先醒」と呼んだ板画家
34	広島県立文書館 広島県立歴史民俗資料館 広島大学考古学研究室 庄原市教育委員会 熊平製作所 奥田元宋・小由女美術館	資料集 9—村上天家乗安政五年・六年 館紀要第 13 号 たより No.40 年報第 32 号 紀要第 7,8 号 広島大学大学院文学研究科考古学研究室報告書第 3 冊 庄原市教育委員会発掘調査報告書第 28 冊 佐田谷・佐田峠墳墓群発掘調査報告書調査編(1) 「文化財だより」第 4 号 抜粋のつづりその七十五,七十六 開館 10 周年記念「川合玉堂展—日本の自然美を見つめて」
35	下関市立考古博物館 山口県立山口博物館 山口県立美術館 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム	特別展「綾羅郷遺跡とその時代—環濠集落事始め」 研究紀要 19,20 号 年報 20,21 「あやらぎ」 No.26・27 館報 37,38 研究報告第 41,42 号 年報平成 25 ~ 26 年度 「天花」124 ~ 126 号 研究紀要第 10,11 号
36	徳島県立博物館 徳島県立文書館 徳島市立徳島城博物館	企画展「阿波木偶箱まわしの世界—門付け、大道芸」「瓦から見る古代の阿波—寺院と役所」 「徳島藩絵師のすがお～伝えられた絵手本や写しから」 みんなで創るユニバーサルミュージアム報告書 研究報告第 25,26 号 年報第 24,25 号 ニュース No.98 ~ 105 特別展「終戦 70 周年記念民衆が見た戦争」 企画展「描かれた阿波の人物」 「写真資料に見る学舎の面影」 たより第 36 号 特別展「中国国分 / 四国国分～秀吉の天下取りと智将・蜂須賀正勝」 「坂東宗稔と

No. 受入先	書名
	近代徳島の茶の湯 企画展「最後の殿様～蜂須賀茂韶」 「浄瑠璃本の阿波淡路」 「異界と幻想の美術～美術のなかの不思議なものたち」 飯原一夫絵画展「記憶の昭和徳島～戦争の惨禍と戦後復興」「藍と葉のめぐりあい～和漢葉『敬震丹』と阿波・大坂」「ひな人形の世界」「徳島歴史玉手箱新収藏品展」「こども博物館江戸時代ブンカイ大図鑑」「大坂の陣・淡路加増四〇〇年展～武威の伝統と淡路の文化」年報第23,24号
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	開館五周年記念企画展「鳥居龍蔵－世界に広がる知の遺産」 企画展「よみがえる縄文世界－鳥居龍蔵の信州調査」 開館5周年記念講演会－鳥居龍蔵博士の思い出（複製版） 図説鳥居龍蔵伝（複製版） 「鳥居龍蔵の再発見～国内外の視点から」 報告書「鳥居龍蔵の再発見～国内外の視点から」 報告書「鳥居龍蔵の再発見～国内外の視点から」 講演会要旨集 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 新編みんなで学ぼう！鳥居龍蔵 Let's Learn Together about Torii Ryuzo！ 研究報告第2号 年報第5号
37 香川県立ミュージアム	「企画展示解説シート」 Vol.69～78, 特別号 「高松松平家歴史資料目録、一能面・能楽器」 西日本の背負運搬コレクション目録 収蔵資料目録7,8 高松藩主松平家墓所調査報告書 調査研究報告第6,7号 年報第7,8号 「ニュース」 vol.29～36
瀬戸内海歴史民俗資料館	「解説シート」 Vol.H26－1～3, H27－1～5, H28－1,3
38 愛媛県歴史文化博物館	特別図録「弘法大師空海展」 「続・上黒岩岩陰遺跡とその時代－縄文時代早期の世界」 「四国遍路と巡礼」 テーマ展図録「松山城下図屏の世界」 企画展「むかしのごちそう」 資料目録第23,24集 研究紀要第20,21号 「歴博だより」 No.81～88
39 高知県立歴史民俗資料館	企画展「大坂夏の陣 400年長宗我部遺臣それぞれの選択」 「小さいもの見～つけた！ 海洋堂のニッポン・ミニチュアカタログ」 コーナー展「干支の玩具西」 「おさるの楽園」 研究紀要第19,20号 年報No.24,25 「岡豊風日」 第89～97号
土佐山内家宝物資料館	研究紀要第13号 年報第13,14号 「海南千里」 第46～48号
高知県立高知城歴史博物館	山内家資料生菓子図案集 プレ広報誌第1～3号
40 九州歴史資料館	「九歴だより」 No.42～44
福岡市埋蔵文化財センター	収蔵資料目録第2集博多遺跡群 年報第34,35号
柳川市	柳川文化資料集成第一, 二, 四集
北九州市立自然史・歴史博物館	「小倉織－江戸時代から愛された木綿織物」 研究報告B類歴史第12,13号 年報平成25,26年度
九州国立博物館	特別展「戦国大名－九州の群雄とアジアの波濤」 「海の道、アジアの路 KYUSHU NATIONAL MUSEUM 2014」 博物館科学の設備 九博文化のカシンプोजウム－文化による地域社会の創造を目指して報告書－地域固有の文化の力と経済効果 開館10周年記念九州国立博物館史 九州国立博物館10年のあゆみ 「Asiage」 vol.36～43
糸島市教育委員会	糸島市文化財調査報告書第13集三雲・井原遺跡Ⅳ－三雲南小路・上覚・屋敷・ヤリミヅ・井原ヤリミヅ地区の調査 紀要第8～10号 年報10,11
福岡県立美術館	特別展「柳川・立花家の至宝」
43 熊本市立熊本博物館	館報No.27,28
44 大分県公文書館	たより第22～24号
大分県立歴史博物館	研究紀要16,17 年報2014,2015
大分市歴史資料館	特別展「変幻自在を極める－縄文の弥生のかごと木工芸」 「日本犬聞録－イヌと人の歴史」 「おおいた春夏秋冬くらしの行事」 ニュースNo.106～111
佐伯市教育委員会	佐伯藩史料温故知新録十一

Ⅱ 文化財事業

文化財は、郷土の歴史や文化を理解する大切な資料であり、地域文化発展の基盤となる貴重な遺産である。そしてこうした文化財を守り後世に伝えていくことは、私たちに課せられた重大な使命であり、責務である。

そのため、文化財の指定や保護の促進、文化財の公開・活用の実践、文化財愛護意識の高揚・啓蒙などを図るべく下記の事業を実施した。

1 文化財保護審議会

(1) 委員と審議会の開催

委員任期 平成 26 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日

氏名	分野	略歴	任命
小川 一朗	古文書	愛知県史特別調査員	※再任 平成 5 年 7 月～
中川原 育子	仏教美術	名古屋大学准教授	※再任 平成 17 年 7 月～
近藤 修	植物	環境省環境カウンセラー	※再任 平成 20 年 7 月～
富田 悦子	染色	染色作家	※再任 平成 20 年 7 月～
菅野 良司	建築	設計事務所代表取締役	※再任 平成 20 年 7 月～
愛甲 昇寛	工芸	愛知県史特別調査員	※再任 平成 23 年 7 月～
鬼頭 秀明	民俗	民俗芸能研究家	※再任 平成 23 年 7 月～
平松 良雄	考古	宗教法人來薰院代表役員	※新任 平成 27 年 10 月～

平成 27 年度

・第 1 回 平成 27 年 6 月 25 日 (木)

- ①平成 26 年度文化財保護事業報告について
- ②平成 27 年度文化財保護事業及び主要予算について
- ③平成 27 年度文化財標柱銘板新設・修繕予定について
- ④第 51 回市民文化財めぐりにについて
- ⑤優良文化財・調査研修会について
- ⑥その他

・第 2 回 平成 27 年 7 月 29 日 (水)

- ①仁王胴具足の市指定について
- ②優良文化財調査・研修研修会について
- ③第 51 回市民文化財めぐりにについて
- ④第 62 回文化財防火デー関連行事について
- ⑤その他

・第 3 回 平成 27 年 12 月 18 日 (金)

- ①仁王胴具足及び黒岩祭りの市指定について
- ②郷土史関係出版奨励事業について
- ③第 62 回文化財防火デー関連行事について
- ④その他

・第 4 回 平成 28 年 3 月 2 日 (金)

- ①仁王胴具足及び黒岩祭りの市指定について

・優良文化財調査・研修会

実施日 平成 27 年 10 月 22 日 (木)・23 日 (金)

研修場所 神奈川県立金沢文庫 特別展「仏教説話の世界」、真言律宗称名寺、鎌倉彫資料館、鶴岡八幡宮、臨済宗建長寺、臨済宗円覚寺

平成 28 年度

第 1 回 平成 28 年 5 月 27 日 (金)

- ①平成 27 年度文化財保護事業報告について
- ②平成 28 年度文化財保護事業及び主要予算について
- ③平成 28 年 4 月～5 月の文化財保護活動等について
- ④第 52 回市民文化財めぐりにについて

- ⑤優良文化財調査・研修会について
- ⑥第 63 回文化財防火デー行事について
- ⑦その他

第 2 回 平成 28 年 7 月 22 日 (金)

- ①優良文化財調査・研修研修会について
- ②第 52 回市民文化財めぐりについて
- ③第 63 回文化財防火デー行事について
- ④その他

第 3 回 平成 28 年 12 月 22 日 (木)

- ①郷土史関係出版奨励事業について
- ②第 63 回文化財防火デー関連行事について
- ③一宮市文化財保護事業補助金交付要綱及び民俗芸能伝承保存事業補助金交付要綱の見直しについて
- ④その他

優良文化財調査・研修会

実施日 平成 28 年 10 月 13 日 (木) ~ 10 月 14 日 (金)

研修場所 元興寺、璉城寺、奈良市埋蔵文化財センター、薬師寺、唐招提寺

(2) 文化財の指定・解除

平成 27 年度

①指定 市文化財保護審議会の答申を受け、市教育委員会において、平成 28 年 3 月 22 日に次の 2 件を市指定文化財とした。

種別	名称	員数	所在地	所有者
有形文化 (工芸品)	仁王胴具足	1 領	一宮市大和町妙興寺 239 番地 (一宮市博物館)	一宮市
無形民俗文化財	黒岩祇園祭	—	一宮市浅井町黒岩字石刀塚 46	黒岩山車保存会

②解除 市指定文化財保護審議会の答申を受け、市教育委員会において、平成 27 年 4 月 17 日に次の市指定文化財を解除した。

種別	名称	員数	所在地	所有者	指定年月日
植物	菟安賀のムクノキ	1 樹	一宮市大和町菟安賀	個人	昭和 54 年 2 月 8 日

平成 28 年度

指定 該当なし

解除 該当なし

これにより、平成 29 年 3 月 31 日現在の市内の指定文化財は、国指定 18 件 (うち選定技術 1 件)、県指定 32 件、市指定 252 件、合計 302 件となった。また市内の国有形登録文化財は 13 件である。

2 文化財保護事業

(1) 市民文化財めぐり

文化財は、私たちの過去の歴史や遠い先祖の生活を身近なものとして感じさせてくれる、大切な文化遺産である。こうした文化財に触れることにより、先人を偲び、大切な文化財を愛護する心を培うために開催した。

平成 27 年度

第 51 回市民文化財めぐり

開催日 平成 27 年 11 月 5 日 (木)

コース 石刀神社→伊富利部神社→堤治神社→頓聴寺→三岸節子記念美術館 (特別展「一宮の文人野村一志と土田麦僊をめぐ
る画家たち」展)→博物館 (特別展「浮世絵展～描かれた風景～」)

参加者 33 人、一宮市文化財保護審議会委員 5 人

平成 28 年度

第 52 回市民文化財めぐり

開催日 平成 28 年 11 月 2 日 (水)

コース 宝光寺→美濃路・萩原宿→樫の木文化資料館→萬葉公園高松分園→観音寺→長隆寺→中島宮→博物館 (特別展「三英
傑とともに歩んだ浅野長政～いちのみやの戦国時代」)

参加者 26 人、一宮市文化財保護審議会委員 5 人

(2) 民俗芸能公演

現在でも活動を続け継承されている無形 (民俗) 文化財の公演を行い、伝統芸能の保存継承に貢献するために開催した。

平成 27 年度

平成 28 年 1 月 31 日 (日) 島文楽保存会 市指定無形文化財「島文楽」鑑賞者 101 人

平成 28 年 2 月 14 日 (日) 宮後住吉踊保存会 市指定無形文化財「宮後住吉踊」鑑賞者 40 人

平成 28 年 2 月 23 日 (日) ばしょう踊保存会 県指定無形民俗文化財「ばしょう踊」鑑賞者 36 人

平成 28 年度

平成 29 年 3 月 5 日 (日) ばしょう踊保存会 県指定無形民俗文化財「ばしょう踊」鑑賞者 31 人

平成 29 年 3 月 12 日 (日) 宮後住吉踊保存会 市指定無形文化財「宮後住吉踊」鑑賞者 24 人

平成 29 年 3 月 19 日 (日) 島文楽保存会 市指定無形文化財「島文楽」鑑賞者 66 人

(3) 文化財防火デー関連行事

1 月 26 日は、法隆寺金堂壁画が焼損した日 (昭和 24 年) に当たる。この日を「文化財防火デー」と定め、この日を中心として文化財を火災、震災その他の災害から守るため、全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護思想の高揚を図ることになっている。そこで、市教育委員会では、市消防本部予防課と合同で防火訓練・文化財防火パトロール・文化財管理者研修会を実施した。

平成 27 年度

第 62 回文化財防火デー関連行事

① 文化財防火パトロール

実施日 平成 28 年 1 月 15 日 (金)

査察内容 文化財管理状況等点検、文化財周辺環境の点検・防火指導、防火用設備等の点検指導

査察者 消防本部予防課予防担当 1 名、博物館事務局博物館グループ 1 名

場所 地蔵寺 (本町通)、賀茂神社 (木曾川町)、伊富利部神社 (木曾川町)、運善寺 (浅井町)、長誓寺 (浅井町)、耕雲院 (大和町)

② 文化財防火訓練

実施日 平成 28 年 1 月 22 日 (金)

場所 妙興寺境内 (大和町)

参加者 183 人

③ 文化財管理者研修会

実施日 平成 28 年 1 月 22 日（金）
 内容 防火訓練参加及び熱田神宮宝物館見学
 参加者 20 人

平成 28 年度

第 63 回文化財防火デー関連行事

① 文化財防火パトロール

実施日 平成 29 年 1 月 13 日（金）
 査察内容 文化財管理状況等点検、文化財周辺環境の点検・防火指導、防火用設備等の点検指導
 査察者 消防本部予防課予防担当 1 名、博物館事務局博物館グループ 1 名
 場所 小原の千体地藏（開明）、圓光寺（浅井町）、浄蓮寺（千秋町）、頓受寺（浅井町）、常清寺（大和町）

② 文化財防火訓練

実施日 平成 29 年 1 月 26 日（木）
 場所 真清田神社境内（真清田）
 参加者 219 人

③ 文化財管理者研修会

実施日 平成 28 年 1 月 26 日（木）
 内容 防火訓練参加及び真清田神社宝物館見学
 参加者 20 人

(4) 文化財保護補助事業

国及び愛知県指定文化財並びに一宮市指定文化財（以下「指定文化財」という。）で市内に存する文化財の保護、保存に必要な事業を実施するのに要する経費の一部を補助することにより、指定文化財を保護することを目的とする。補助事業者等は、市内に存する指定文化財の所有者及び管理者とする。

平成 27 年度

区分	文化財名称	申請者	補助事業内容
市	小塞神社社叢	宗教法人小塞神社	倒木処理
市	白台祭	瀬部山車・白台祭保存会	備品（太鼓・専用台・笛）購入
市	妙興寺仏殿ほか 16 棟	宗教法人妙興寺	屋外消火栓等修繕・消火器購入
市	起のイブキ	個人	樹木剪定
市	宅美神社のヒトツバタゴ	西大海道東町内会	樹木剪定
市	木造進叟禅師坐像	宗教法人耕雲院	保存修理
市	木造不動明王立像	宗教法人地藏寺	保存修理
市	冨塚古墳	冨塚町内会	古墳整備
市	甘酒祭	重吉甘酒祭保存会	保存伝承
市	小塞神社社叢	小塞神社	清掃・除草
市	島文楽	島文楽保存会	保存伝承
県	長誓寺本堂	宗教法人長誓寺	消防用設備等点検
市	七つ石	七つ石保存会	清掃・除草
市	野見神社のスダジイ	宗教法人野見神社	施肥・消毒
県	ばしょう踊	ばしょう踊保存会	保存伝承
県	水法芝馬祭	水法芝馬祭保存会	保存伝承
国県市	妙興寺建造物	宗教法人妙興寺	消防用設備等点検
市	白台祭	瀬部山車・白台祭保存会	保存伝承
市	石刀祭	石刀まつり山車保存会	保存伝承

区分	文化財名称	申請者	補助事業内容
市	起六斎ばやし	起六斎ばやし保存会	保存伝承
市	小原の千体地藏	小原町内会	火災保険加入
市	西五城木遣り及び棒振り	西五城木遣り及び棒振り保存会	保存伝承
市	玉ノ井清水	宗教法人賀茂神社	清掃
市	刀剣	宗教法人賀茂神社	維持管理

平成 28 年度

区分	文化財名称	申請者	補助事業内容
市	臼台祭	瀬部山車・臼台祭保存会	備品（太鼓・専用台・笛）購入
市	木造不動明王立像	宗教法人耕雲院	保存修理
市	正福寺山門	宗教法人正福寺	防犯用設備設置
市	島文楽	島文楽保存会	島文楽保存庫改修
市	石刀神社祭礼用山車	石刀まつり山車保存会	人形（修理）、山車（修理）
市	長誓寺のカイズカイクキ	宗教法人長誓寺	樹木剪定
市	長誓寺のシダレザクラ	宗教法人長誓寺	樹木剪定・支柱修繕等
市	黒岩祇園祭	黒岩祇園祭保存会	備品修繕（太鼓）
市	出先のムクノキ	東五城 10 組町内会	樹木剪定・養生
市	甘酒祭	重吉甘酒祭保存会	保存伝承
市	小塞神社社叢	宗教法人小塞神社	清掃・除草
市	島文楽	島文楽保存会	保存伝承
県	長誓寺本堂	宗教法人長誓寺	消防用設備等点検
市	七つ石	七つ石保存会	清掃・除草
市	野見神社のスタジイ	宗教法人野見神社	施肥・消毒
県	ばしょう踊	ばしょう踊保存会	保存伝承
県	水法芝馬祭	水法芝馬祭保存会	保存伝承
市	宮後住吉踊	宮後住吉踊保存会	保存伝承
国県市	妙興寺建造物	宗教法人妙興寺	消防用設備等点検
市	臼台祭	瀬部山車・臼台祭保存会	保存伝承
市	石刀祭	石刀まつり山車保存会	保存伝承
市	起六斎ばやし	起六斎ばやし保存会	保存伝承
市	小原の千体地藏	小原町内会	火災保険加入
市	西五城木遣り及び棒振り	西五城木遣り及び棒振り保存会	保存伝承
市	玉ノ井清水	宗教法人賀茂神社	清掃
市	刀剣	宗教法人賀茂神社	維持管理
市	黒岩祇園祭	黒岩祇園祭保存会	保存伝承

(5) 民俗芸能伝承保存事業

市内の民俗芸能及び地域に伝わる伝統行事の保存団体が、伝承保存事業を実施するのに要する経費の一部を補助することにより、本市における民俗芸能及び伝統行事を保護することを目的とする。補助事業の内容は、民俗芸能及び伝統行事の伝承保存事業で、毎年 4 月から翌年 3 月までに実施される事業。ただし、無形民俗文化財として指定を受けている事業は除く。補助対象事業者等は、補助事業を実施する保存団体で、一宮民俗芸能連盟加盟団体及び必要と認める団体とする。ただし、文化財として指定を受けている団体は除く。

平成 27 年度

民俗芸能名称	申請者	補助事業内容
木遣音頭	馬寄木遣音頭保存会	保存伝承
祇園祭囃	黒岩山車保存会	保存伝承
機織唄	機織唄保存会	保存伝承
里神楽	一宮真清伶人会	保存伝承
草笛太鼓打囃子	馬場獅子屋形打囃子保存会	保存伝承
北今太鼓	笛太鼓保存会	保存伝承

平成 28 年度

民俗芸能名称	申請者	補助事業内容
機織唄	機織唄保存会	保存伝承
里神楽	一宮真清伶人会	保存伝承
草笛太鼓打囃子	馬場獅子屋形打囃子保存会	保存伝承
北今太鼓	笛太鼓保存会	保存伝承

(6) 民俗芸能伝承推進事業

無形文化財である民俗芸能を広く後世に継承していくため、公演機会の提供を図り、出演謝礼を補助した。

平成 27 年度

① 島文楽保存会

実施日	開催場所／申請者	鑑賞者数
平成 27 年 6 月 3 日 (水)	一宮市立葉栗北小学校／同	235 人
平成 27 年 9 月 21 日 (月・祝)	島村公民館／島村町内会	190 人
平成 27 年 10 月 13 日 (火)	萩原公民館／一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会萩原支部	130 人
平成 27 年 11 月 11 日 (水)	一宮市立葉栗小学校／同	560 人
平成 27 年 11 月 20 日 (金)	一宮市総合体育館多目的室／社会福祉協議会葉栗支会	140 人
平成 28 年 2 月 19 日 (金)	一宮市立貴船小学校／同	276 人

② 宮後住吉踊保存会

実施日	開催場所／申請者	鑑賞者数
平成 28 年 2 月 3 日 (水)	一宮市立今伊勢西小学校／同	83 人

平成 28 年度

① 島文楽保存会

実施日	開催場所／申請者	鑑賞者数
平成 28 年 9 月 11 日 (日)	杉山公民館／杉山町内会	85 人
平成 28 年 9 月 25 日 (日)	島村公民館／島村町内会	204 人
平成 28 年 10 月 6 日 (日)	今伊勢公民館／一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会今伊勢支部	148 人
平成 28 年 10 月 11 日 (火)	北方公民館一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会北方支部	123 人
平成 28 年 10 月 16 日 (日)	一宮地場産業ファッションデザインセンター 展示ホール ASC24 一宮同窓会	285 人
平成 29 年 1 月 26 日 (木)	一宮市立神山小学校	190 人
平成 29 年 2 月 17 日 (金)	一宮市立貴船小学校	255 人

② 宮後住吉踊保存会

実施日	開催場所／申請者	鑑賞者数
平成 29 年 2 月 3 日 (金)	一宮市立今伊勢西小学校／同	75 人

(7) 郷土史関係出版物奨励事業

郷土史研究活動の振興に資することを目的に、一宮地方の郷土史に関する研究成果をまとめたもののうち、自費出版に対して印刷に要する経費の一部を補助した。補助対象は、一宮地方の歴史、考古、民俗、自然などに関する研究、成果をまとめたもの。

平成 27 年度 該当なし

平成 28 年度

妙楽賢俊『西萩原ものがたり』

馬子の会『2千年の遺跡・5千人の町 ふるさと馬引のあゆみ』

(8) 文化財標柱の設置等

平成 27 年度

新規設置 なし

銘板取替 妙興寺（大和町）、宝光寺（萩原町）、運善寺（浅井町）

平成 28 年度

新規設置 黒岩祇園祭（浅井町）

銘板取替 なし

(9) 木曾川堤桜管理委託事業

国指定名勝及び天然記念物「木曾川堤（サクラ）」の保護および樹勢の回復を図るため、防虫剤散布、下枝剪定、施肥、樹木調査を実施した。

(10) 埋蔵文化財の発掘調査

埋蔵文化財包蔵地

平成 29 年 3 月 31 日現在

種別	現存	滅失	種別	現存	滅失
貝塚	0	1	城跡	1	7
集落跡	18	0	祭祀遺跡	3	0
遺物散布地	159	15	その他の墓	3	0
古墳	31	92	その他の遺跡	4	0
古窯跡	0	0	不明	0	41
社寺跡	9	3	合計	228	179
			総計	407	

発掘調査

平成 27 年度・平成 28 年度 なし

確認調査

平成 27 年度

調査日	遺跡名	原因	遺物	遺構	所見
28.2.3	伝法寺廃寺	工場・事務所・新築	山茶碗・土師質土器	なし	耕作土・造成土の下には、産業廃棄物が埋設されていた。

平成 28 年度 なし

試掘調査

平成 27 年度 なし

平成 28 年度

調査日	所在地	原因	遺物	遺構	所見
28.9.23	丹陽町重吉字北屋敷	倉庫 新築	山茶碗・土師質土器	なし	耕作土・造成土の下には、産業廃棄物が埋設されていた。

工事立会調査

平成27年度

97件

届出日	遺跡名	保護法	原因
27.4.1	時之島集落南遺跡	93	個人住宅
27.4.7	開明高野島集落東遺跡	93	個人住宅
27.4.10	時之島集落南遺跡	93	個人住宅
27.4.15	大野南一色遺跡	93	ガス管
27.4.12	馬見塚遺跡	93	電気
27.4.17	菟安賀遺跡	93	個人住宅
27.4.17	菟安賀遺跡	93	個人住宅
27.4.23	馬見塚遺跡	93	ガス管
27.4.23	菟安賀遺跡	93	ガス管
27.4.27	西大海道集落北遺跡	93	電気
27.4.21	菟安賀遺跡	93	個人住宅
27.5.22	西大海道集落北遺跡	93	個人住宅
27.6.12	河端集落南遺跡	93	個人住宅
27.6.30	神戸廃寺	93	解体・試掘
27.8.20	瀬部庚申塚古墳	93	個人住宅
27.8.25	菟安賀遺跡	93	個人住宅
27.9.1	河端集落南遺跡	93	個人住宅
27.9.6	田所遺跡	93	個人住宅
27.9.2	加納馬場集落北遺跡	94	下水道
27.9.13	田所遺跡	93	個人住宅
27.9.11	滝集落東遺跡	93	個人住宅
27.12.3	菟安賀遺跡	93	個人住宅
27.12.8	時之島集落南遺跡	93	宅地造成
28.1.7	小赤見集落南遺跡	93	その他建物(店舗)
28.2.16	東高見遺跡	93	個人住宅
27.5.15	馬見塚遺跡	93	電気
27.5.20	名栗集落北遺跡	93	電気
27.5.27	西大海道集落北遺跡	93	個人住宅
27.5.19	馬見塚遺跡	93	個人住宅
27.6.2	島崎遺跡	93	電気
27.6.30	五日市場集落南遺跡	93	ガス管
27.7.10	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	個人住宅
27.7.21	開明新田郷集落東遺跡	93	ガス管
27.8.6	菟安賀遺跡	93	電気
27.7.30	八王子遺跡、齊宮寺遺跡、北川田遺跡、菟安賀遺跡、蒲原遺跡、開明新田郷集落東遺跡、門間沼遺跡、中島住環添西切遺跡、中島廃寺	94	下水道
27.8.27	森本薬師遺跡	94	下水道
27.9.1	芝原古井戸遺跡	94	下水道
27.9.2	加納馬場集落北遺跡	94	下水道
27.9.1	浅野福寿庵遺跡	94	下水道
27.9.1	長福寺廃寺	94	下水道
27.9.1	浅野福寿庵遺跡	94	下水道
27.9.2	堂裏遺跡	93	ガス管
27.8.26	下浅野集落東遺跡	94	下水道

届出日	遺跡名	保護法	原因
27.8.26	下浅野集落東遺跡	94	下水道
27.9.9	下浅野集落東遺跡	94	下水道
27.9.9	加納馬場集落北遺跡	94	下水道
27.9.2	加納馬場集落北遺跡	94	下水道
27.9.2	加納馬場集落北遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野集落北遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野集落北遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野福寿庵遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野福寿庵遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野集落北遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野集落北遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野集落北遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野集落北遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野大茶木遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野大茶木遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野大茶木遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野大茶木遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野集落北遺跡	94	下水道
27.9.4	浅野集落北遺跡	94	下水道
27.9.11	八王子遺跡	94	下水道
27.9.15	菟安賀遺跡	93	ガス管
27.9.17	馬見塚遺跡	93	ガス管
27.10.1	於保集落北遺跡	93	電気
27.10.28	田所遺跡	93	電気
27.10.29	馬見塚遺跡	93	個人住宅
27.11.10	菟安賀遺跡	93	ガス管
27.11.21	馬見塚遺跡	93	個人住宅
27.11.26	大平遺跡	94	上水道
27.12.8	馬見塚遺跡	93	ガス管
27.12.15	森本薬師遺跡	93	個人住宅
27.12.15	森本薬師遺跡	93	個人住宅
27.12.16	加納馬場集落東遺跡	93	電気
27.12.22	於保集落北遺跡	93	個人住宅
27.12.25	小山集落北遺跡	93	個人住宅
28.1.5	冨塚古墳	93	その他開発(古墳整備)
28.1.15	馬見塚遺跡	93	ガス管
28.1.15	馬見塚遺跡	93	ガス管
28.1.19	森本集落東遺跡	94	公園造成
28.1.20	門間古墳、門間遺跡	93	集合住宅
28.2.1	馬見塚遺跡	93	電気
28.2.9	馬見塚遺跡	93	ガス管
28.2.2	八王子遺跡	93	電信電話
28.2.16	菟安賀遺跡	93	ガス管
27.12.25	伝法寺廃寺	93	工場・事務所
28.2.22	馬見塚遺跡	93	電気
28.2.12	森本薬師遺跡	93	個人住宅
28.2.23	前田遺跡	93	個人住宅

届出日	遺跡名	保護法	原因
28.3.4	時之島集落南遺跡	93	電気
28.3.8	高木遺跡	93	電気
28.3.16	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	電気
28.3.17	九日市場集落南遺跡	93	電気
28.3.23	馬見塚遺跡	93	ガス管

届出日	遺跡名	保護法	原因
28.3.11	九日市場円ノ内遺跡	93	その他建物 (遊技場・駐車場)
28.2.26	高木遺跡	93	個人住宅
28.10.16	時之島集落南遺跡	93	その他建物 (児童福祉施設)

平成 28 年度

65 件

届出日	遺跡名	保護法	原因
28.4.13	堂浦遺跡	93	個人住宅
28.4.15	北川田遺跡	93	電気
28.4.21	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	電気
28.4.28	中島往還添西切遺跡	93	個人住宅
28.4.21	大毛池田遺跡	93	店舗
28.4.28	馬寄集落遺跡	93	個人住宅
28.5.11	高木遺跡	93	個人住宅
28.5.17	林野集落北遺跡	93	ガス管
28.5.18	九日市場堂尻遺跡	93	個人住宅
28.5.24	重吉鋳物師海道遺跡	94	下水道
28.5.31	尾張病院山中遺跡	93	その他
28.5.26	高木遺跡	93	ガス管
28.6.3	高木遺跡	93	電柱
28.6.3	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	電柱
28.6.7	佐千原集落遺跡	93	個人住宅
28.6.1	佐千原集落遺跡	93	個人住宅
28.6.9	河端集落南遺跡	93	ガス管
28.6.29	小日比野北ノ切遺跡	93	個人住宅
28.6.29	妙興寺集落東遺跡	93	電柱
28.7.5	黒田城跡	93	電柱
28.8.4	前田遺跡	93	個人住宅
28.8.16	①加納馬場集落東遺跡 ②長福寺廃寺 ③浅野集落東遺跡	94	下水道
28.8.19	二夕子遺跡	93	個人住宅
28.8.26	門間遺跡	93	電柱
28.9.4	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	個人住宅
28.9.7	西上免遺跡	93	個人住宅
28.9.15	佐千原集落北遺跡	93	分譲住宅
28.9.8	玉ノ井木曾川水没遺跡	94	工事用道路
28.9.27	瀬部四日市場集落北遺跡	93	個人住宅
28.9.29	曾根集落東遺跡	93	電柱
28.10.4	妙興寺集落南遺跡	93	電柱
28.10.4	佐千原集落西遺跡	93	個人住宅
28.10.14	杉山集落東遺跡	93	電柱

届出日	遺跡名	保護法	原因
28.9.27	齊宮寺遺跡・菊安賀遺跡・ 中島廃寺・中島中世墓・ 廻畑遺跡・胡摩塚遺跡・ 道場遺跡・中島城跡	94	下水道
28.10.14	妙興寺集落東遺跡	93	電柱
28.10.30	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	電柱
28.11.8	下渡遺跡	93	個人住宅
28.11.10	蒲原遺跡	93	個人住宅
28.11.9	馬見塚遺跡	93	個人住宅
28.11.16	尾張病院山中遺跡・ 雀戸遺跡	93	ガス管
28.11.18	堂浦遺跡	93	個人住宅
28.11.18	神戸廃寺	93	個人住宅
28.11.24	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	電柱
28.12.6	大毛五百入塚遺跡	93	個人住宅
28.12.6	畑添遺跡	93	診療所
28.12.5	下浅野集落東遺跡	93	電柱
28.12.19	明地集落東遺跡	93	個人住宅
28.12.19	馬見塚遺跡	93	電柱
28.12.27	鞆江神社西遺跡	93	個人住宅
29.1.5	光明寺集落南遺跡	93	ガス管
29.1.5	西浅井集落北遺跡	93	個人住宅
29.1.12	堂浦遺跡	93	個人住宅
29.1.13	西海戸集落南遺跡	93	個人住宅
29.1.23	瀬部四日市場集落北遺跡	93	電柱
29.1.24	島村集落東遺跡	93	ガス管
29.1.26	門間遺跡	93	電柱
29.1.26	林野集落東遺跡	93	電柱
29.1.26	東宮重城跡	93	個人住宅
29.2.9	内割田城跡	93	電柱
29.2.17	内割田城跡	93	電柱
29.3.8	東宮重城跡	93	個人住宅
29.3.15	時之島集落南遺跡	93	個人住宅
29.3.15	九日市場集落南遺跡	93	個人住宅
29.3.10	浅野正木山遺跡	93	電柱
29.3.19	江森東之森遺跡	93	個人住宅

慎重工事

平成 27 年度

43 件

届出日	遺跡名	保護法	原因
27.4.2	馬見塚遺跡	93	個人住宅
27.4.21	池之上遺跡	93	ガス管
27.5.9	元屋敷遺跡	93	個人住宅
27.5.13	八龍古墳	93	ガス管
27.6.5	島崎遺跡	93	ガス管
27.7.5	中島住環添西切遺跡	93	ガス管
27.6.25	於保集落北遺跡	93	個人住宅
27.7.5	浅野羽根数楽北遺跡	93	個人住宅
27.6.30	八王子遺跡	93	ガス管
27.7.15	苺安賀遺跡	93	ガス管
27.7.16	開明新田郷集落東遺跡	93	ガス管
27.7.24	苺安賀遺跡	93	ガス管
27.7.20	馬見塚遺跡	93	個人住宅
27.7.30	名栗集落北遺跡	93	個人住宅
27.7.30	八王子遺跡	93	ガス管
27.7.30	開明新田郷集落東遺跡	93	ガス管
27.8.1	町屋集落南遺跡	93	個人住宅
27.8.11	元屋敷遺跡	93	駐車場
27.8.20	馬見塚遺跡	93	個人住宅
27.8.21	下渡遺跡	93	電気
27.8.26	馬見塚遺跡	93	個人住宅
27.8.16	妙興寺境内地遺跡	93	個人住宅

届出日	遺跡名	保護法	原因
27.9.7	馬見塚遺跡	93	個人住宅
27.9.2	町屋遺跡	93	個人住宅
27.10.20	門間遺跡	93	個人住宅
27.10.23	森本集落東遺跡	93	集合住宅
27.10.27	西大門遺跡	93	個人住宅
27.11.11	苺安賀遺跡	93	個人住宅
27.11.14	馬見塚遺跡	93	個人住宅
27.11.26	林野集落東遺跡	94	上水道
27.11.26	毛受遺跡	94	上水道
27.12.3	元屋敷遺跡	93	個人住宅
27.12.8	馬見塚遺跡	93	ガス管
27.12.14	大毛沖遺跡	94	上水道
27.12.15	田所遺跡	93	電気
28.1.5	西大門遺跡	93	個人住宅
28.2.2	森本薬師遺跡	93	個人住宅
28.2.14	苺安賀遺跡	93	個人住宅
28.3.1	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
28.3.1	森本薬師遺跡	93	ガス管
28.2.29	元屋敷遺跡	93	宅地造成
28.3.16	森本薬師遺跡	93	個人住宅
28.3.11	目久井遺跡	93	電気

平成 28 年度

82 件

届出日	遺跡名	保護法	原因
28.3.28	黒田城跡	93	個人住宅
28.4.6	森本薬師遺跡	93	ガス管
28.4.6	森本薬師遺跡	93	電気
28.4.4	森本薬師遺跡	93	電気
28.3.3	神戸廃寺跡	93	個人住宅
28.4.28	開明高野島集落西遺跡	93	ガス管
28.4.28	九日市場門之内遺跡	93	店舗
28.5.10	瀬部上之郷集落南遺跡	94	水道管
28.5.11	門間島海遺跡	93	個人住宅
28.5.11	名栗集落北遺跡	93	個人住宅
28.5.20	苺安賀遺跡	93	ガス管
28.5.24	森本薬師遺跡	93	個人住宅
28.5.24	門間島海遺跡	93	個人住宅
28.5.27	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
28.6.14	毛受遺跡	93	ガス管
28.6.10	神戸廃寺	93	その他
28.6.14	小山集落西遺跡	93	個人住宅
28.6.15	於保集落南遺跡	93	ガス管
28.7.1	馬見塚遺跡	93	個人住宅
28.7.1	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅

届出日	遺跡名	保護法	原因
28.7.5	森本薬師遺跡	93	共同住宅
28.7.5	馬見塚遺跡	93	個人住宅
28.7.12	元屋敷遺跡	93	工場
28.7.12	薬師堂跡	93	ガス管
28.7.12	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
28.7.15	苺安賀遺跡	93	ガス管
28.7.21	森本薬師遺跡	93	集合住宅
28.7.21	加納馬場集落東遺跡	93	ガス管
28.7.21	春明集落東遺跡	93	ガス管
28.7.29	南高井集落北遺跡	93	ガス管
28.8.2	島崎遺跡	93	ガス管
28.8.2	門間遺跡	93	ガス管
28.8.16	森本集落東遺跡	93	個人住宅
28.8.18	瀬部上ノ郷集落南遺跡	94	水道管
28.9.2	苺安賀遺跡	93	個人住宅
28.9.13	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
28.9.13	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
28.9.28	馬見塚遺跡	93	個人住宅
28.9.28	名栗集落北遺跡	93	個人住宅
28.9.21	光明寺丈六遺跡	94	水道管（開削）

届出日	遺跡名	保護法	原因
28.10.14	妙興寺集落東遺跡	93	ガス管
28.10.14	妙興寺集落東遺跡	93	ガス管
28.10.18	荏安賀遺跡	93	個人住宅
28.10.25	妙興寺集落東遺跡	93	ガス管
28.10.19	宮後七ツ塚。古墳	93	個人住宅
28.10.25	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
28.11.1	馬見塚遺跡	93	個人住宅
28.11.10	妙興寺境内地遺跡	93	個人住宅
28.11.11	神戸廃寺	93	薬局
28.11.8	森本薬師遺跡	93	個人住宅
28.11.8	門間島海遺跡	93	個人住宅
28.11.15	寺跡遺跡	93	個人住宅
28.11.17	門間遺跡	93	ガス管
28.11.16	門間島海遺跡	93	個人住宅
28.11.18	浅野城跡	94	公園整備
28.11.22	加納馬場集落北遺跡	93	個人住宅
28.11.26	八王子遺跡	93	個人住宅
28.12.2	江森東之森遺跡	93	個人住宅
28.12.2	芝原古井戸遺跡	94	水道管
28.12.2	浅野福寿庵遺跡	94	水道管
28.12.6	妙興寺境内地遺跡	93	個人住宅

届出日	遺跡名	保護法	原因
28.12.9	時之島集落南遺跡	94	上水道
28.12.9	門間遺跡	93	電柱
28.12.14	西海戸集落南遺跡	93	電柱
28.12.21	馬見塚遺跡	93	ガス管
29.1.6	八王子遺跡	93	個人住宅
29.1.11	福塚前遺跡	93	ガス管
29.1.17	福塚前遺跡	93	ガス管
29.1.18	内割田城跡	93	個人住宅
29.1.17	門間遺跡	94	水路工事
29.1.24	馬見塚遺跡	93	ガス管
29.1.26	門間遺跡	94	水道
29.1.25	妙興寺集落南遺跡	93	ガス管
29.2.1	森本集落東遺跡	93	個人住宅
29.2.7	池之上遺跡	93	個人住宅
29.2.12	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
29.2.28	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
29.2.28	馬見塚遺跡	93	ガス管
29.3.2	西御堂集落西遺跡	93	個人住宅
29.3.8	妙興寺境内地遺跡	93	個人住宅
29.3.22	南高井集落北遺跡	93	個人住宅
29.3.24	八王子遺跡	93	個人住宅

(11) 文化財の公開

◎重要文化財、●愛知県指定文化財、○一宮市指定文化財

平成 27 年度 公開なし

平成 28 年度

一宮市博物館特別展「三英傑とともに歩んだ浅野長政～いちのみやの戦国時代～」(平成 28 年 10 月 8 日～11 月 27 日)

◎妙興寺文書のうち「管領細川勝元施行状」「尾張守護斯波松丸丸遵行状」「織田敏広書状」「織田敏定判物」「織田達広書状」「織田広実書状」「竹田晴信印判状」「織田信長禁制写」 妙興寺蔵

◎「足利義教像」 妙興寺蔵

●「豊太閤画像」 妙興寺蔵

○「草花図屏風」 妙興寺蔵

○「刀銘 備州長船則光」 若栗神社八幡宮蔵

○「刀銘 無銘(伝肥後延寿)」 若栗神社八幡宮蔵

○「兼松正吉画像」 若栗神社八幡宮蔵

●「鍍金銅製釣灯籠」 中島宮蔵

○「紫白糸威仁王胴具足」 一宮市木曾川資料館蔵・一宮市博物館管理

(12) 刊行物

一宮市埋蔵文化財調査報告 XI 荏安賀遺跡発掘調査報告書 平成 28 年 3 月 31 日発行 800 部 1,100 円

Ⅲ 組織と運営

1 一宮市博物館運営協議会

平成 27 年 4 月 1 日から、一宮市博物館運営等指導委員の任命を廃止し、一宮市博物館運営協議会を新たに設置した。

一宮市博物館運営協議会規則

平成 27 年 3 月 24 日 教委規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、一宮市博物館条例(昭和 62 年一宮市条例第 26 号)第 4 条の 2 第 3 項の規定に基づき、一宮市博物館運営協議会(以下「協議会」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第 2 条 委員は、一宮市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が任命する。

2 委員に欠員が生じた場合は、補欠委員を任命し、その任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 3 条 協議会に会長及び副会長各 1 人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、議事その他の会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 4 条 協議会の会議は、会長が招集し、その会議の議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第 5 条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

(雑則)

第 6 条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

付 則

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

任期 平成 27 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日

氏名	任命理由	専門(所属)
中埜 文彰	学校教育関係者	(一宮市立葉栗中学校長)
石井 弘道	学校教育関係者	(一宮市立浅野小学校長)
杉本 貞子	生涯学習関係者	(一宮市生涯学習推進会議副会長)
森川 昌樹	社会教育関係者	(一宮市社会教育審議会副会長)
村本 摩純	家庭教育関係者	(一宮市小中学校 P T A 連絡協議会母親代表)
渡邊 誠	学識経験者	考古学(名古屋大学名誉教授)
柴垣 勇夫	学識経験者	陶磁史(静岡大学名誉教授)
山口 泰弘	学識経験者	近世絵画史(三重大学教授)

平成 27 年度

平成 27 年 7 月 2 日 (木) 第 1 回一宮市博物館運営協議会開催

平成 27 年 12 月 15 日 (火) 第 2 回一宮市博物館運営協議会開催

平成 28 年度

平成 28 年 7 月 7 日 (木) 第 1 回博物館運営協議会

平成 29 年 11 月 17 日 (金) 第 2 回博物館運営協議会

2 職員組織

平成 29 年 3 月 31 日現在

館長 —— 事務局長 —— 副主監 (学芸員) —— 主査 —— 主任 (学芸員) —— 係
1 1 1 1 1 (学芸員 3、臨時・嘱託 1)

平成 27 年度

館長 吉川 宏之
事務局長(学芸員) 伊藤 和彦
副主監(学芸員) 神田 年浩
主事 加藤 京子
学芸員 成河 端子
学芸員 石黒 智教
学芸員 藤井 雅大
嘱託職員(学芸員) 土本 典生
臨時職員(学芸員) 天野 歩 (平成 27 年 5 月 1 日～)

平成 28 年度

館長 吉川 宏之
事務局長 竹田 利典
専任課長(学芸員) 神田 年浩
主査 加藤 京子
主任(学芸員) 成河 端子
学芸員 石黒 智教
学芸員 藤井 雅大
学芸員 瀧 はる香
嘱託職員(学芸員) 伊藤 和彦

3 研修・会合への参加

平成 27 年度

(平成 27 年)

- 4 月 15 日 (水) 愛知県博物館協会実行委員会：愛知県陶磁美術館 (成河)
- 4 月 30 日 (木) 愛知県市町村文化行政担当者会議：愛知県自治研修所 (石黒)
- 5 月 13 日 (水) 愛知県博物館協会実行委員会：愛知県陶磁美術館 (成河)
- 5 月 16 日 (土) 木曽川イタセンバラ保護協議会第 7 回合同パトロール・第 8 回協議会：尾西歴史民俗資料館民 (神田)
- 5 月 22 日 (金)・23 日 (土) 第 68 回美術史学会全国大会：岡山大学 (成河)
- 6 月 6 日 (土) 長良川鶴飼未来シンポジウム：岐阜市文化産業交流センター (成河)
- 6 月 11 日 (木) 愛知県史跡整備市町村協議会運営委員会：名古屋市市政資料館 (藤井)
- 6 月 26 日 (金) 愛知県博物館協会理事会および総会：陶磁美術館 (吉川・成河)
- 7 月 1 日 (水) 愛知県史跡整備市町村協議会・幹事会：豊田市郷土資料館 (伊藤・藤井)
- 7 月 30 日 (木) 愛知県史跡整備市町村協議会・役員会及び総会：津島市文化会館 (教育部長・藤井)
- 8 月 6 日 (木)・7 日 (金) 環境デザイン夏季講座：一宮市役所 (石黒)
- 8 月 13 日 (木) 愛知県博物館協会実行委員会：愛知県陶磁美術館 (成河)
- 8 月 25 日 (火) 第 13 回登録有形文化財建造物担当者課題研修会：大府市歴史民俗資料館 (天野)
- 9 月 17 日 (木) 平成 28 年度日本遺産申請に関する説明会：愛知県自治研修所 (吉川)
- 10 月 30 日 (金) 第 14 回登録有形文化財研修：小牧市公民館 (天野)

- 11月11日(水) 愛知県博物館協会研修：リニア鉄道館(天野)
- 11月12日(木)・13日(金) 第41回全国歴史資料保存利用機連絡協議会全国大会及び研修会：秋田県大仙市(石黒)
- 11月7日(火) 愛知県史跡整備市町村協議会研修会：みよし市ふれあい交流館(藤井)
- (平成28年)
- 1月21日(木) 愛知県博物館協会実行委員会：熱田神宮(成河)
- 2月4日(木) 愛知県博物館協会研修会：愛知芸術文化センター(藤井)
- 2月10日(水) イタセンパラ検討会：ABCビル(吉川)
- 2月10日(水) 愛知県一宮市起地区の史跡に関する協議：愛知県生涯学習推進センター(藤井)
- 2月19日(金) かわなみ通信編集会議(吉川)
- 2月24日(水) 愛知県史跡整備市町村協議会尾張地区協議会：長久手市役所(藤井)

平成28年度

(平成28年)

- 4月22日(金) 愛知県市町村文化財行政担当者会議：豊川市音羽生涯学習会館(藤井)
- 4月28日(金) 愛知県市町村文化財保護行政担当者会議等：愛知県庁本庁舎(瀧)
- 5月7日(土) 木曾川イタセンパラ保護協議会・合同パトロール(神田)
- 5月27日(金)・28日(土) 第69回美術史学会全国大会：筑波大学(成河)
- 5月28日(土)・29日(日) 日本考古学協会第82回総会：東京学芸大学(瀧)
- 6月12日(日) あいち山車まつり日本一協議会総会：キャッスルプラザ(竹田・神田)
- 6月16日(木) 愛知県博物館協会理事会：名古屋市博物館(神田)
- 6月22日(水) 第15回登録有形文化財建造物担当者課題研修会：知多市歴史民俗博物館(藤井)
- 7月1日(火) 埋蔵文化財調査研究会：愛知県埋蔵文化財センター(瀧)
- 7月19日(火) 愛知県史跡整備市町村協議会総会：豊川市音羽生涯学習会館(竹田・藤井)
- 8月10日(水) 第1回木曾川水系イタセンパラ保護増殖事業実施検討会：名駅ABCビル(竹田)
- 9月8日(木) 愛知県史跡整備市町村協議会研修会：新城市鳳来開発センター(藤井)
- 10月13日(木)・14日(金) 一宮市文化財保護審議会優良文化財調査・研修
- 11月10日(木)・11日(金) 第42回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会及び研修会：三重総合センター等(瀧)
- 11月16日(水) 第16回登録有形文化財建造物担当者課題研修会：稲沢市総合文化センター(藤井)
- 11月24日(木) 名勝及び天然記念物木曾川堤(サクラ)保存管理検討委員会：愛知県庁
- 12月2日(金) 第41回東海三県博物館協会研究交流会：四日市市立博物館(瀧)
- 12月8日(木) 第4回木曾川ワンド環境検討会：国土交通省木曾川上流河川事務所(竹田)
- (平成29年)
- 2月10日(金) 愛知県博物館協会部門別研修会：愛知芸術文化センター(瀧)
- 2月16日(木) 愛知県史跡整備市町村協議会尾張地区協議会：一宮市博物館講座室(藤井)
- 2月23日(木) 木曾川堤防協議会(竹田)
- 2月27日(月)～3月3日(金) 文化・芸術の活用による地域の活性化：市町村職員中央研究所(成河)
- 3月8日(水) 第2回木曾川水系イタセンパラ保護増殖事業実施検討会：名駅ABCビル(竹田)

4 歳出予算

平成 27 年度

費目 (節)	合 計	博物館運営事業	文化財保護事業	木曾川資料館運営事業
01 報酬	416,000	148,000	268,000	0
04 共済費	162,000	134,000	28,000	0
07 賃金	15,563,000	12,915,000	2,648,000	0
08 報償費	1,879,000	1,186,000	693,000	0
09 旅費	1,244,000	884,000	360,000	0
11 需用費	44,814,000	41,727,000	2,422,000	665,000
12 役務費	10,723,000	9,239,000	1,311,000	173,000
13 委託料	39,411,000	30,381,000	5,171,000	3,859,000
14 使用料及び賃借料	6,235,000	5,948,000	110,000	177,000
15 工事請負費	38,700,000	38,700,000	0	0
16 原材料費	40,000	40,000	0	0
18 備品購入費	1,217,000	1,217,000	0	0
19 負担金補助及び交付金	5,164,000	112,000	5,052,000	0
合 計	165,568,000	142,631,000	18,063,000	4,874,000

平成 28 年度

費目 (節)	合 計	博物館運営事業	文化財保護事業	木曾川資料館運営事業
01 報酬	387,000	119,000	268,000	0
04 共済費	2,043,000	2,015,000	28,000	0
07 賃金	16,141,000	13,493,000	2,648,000	0
08 報償費	2,734,000	1,741,000	993,000	0
09 旅費	949,000	589,000	360,000	0
11 需用費	40,735,000	38,417,000	1,649,000	669,000
12 役務費	9,087,000	7,602,000	1,312,000	173,000
13 委託料	40,373,000	31,162,000	5,371,000	3,840,000
14 使用料及び賃借料	5,935,000	5,648,000	110,000	177,000
15 工事請負費	0	0	0	0
16 原材料費	40,000	40,000	0	0
18 備品購入費	1,122,000	700,000	422,000	0
19 負担金補助及び交付金	4,192,000	113,000	4,079,000	0
合 計	123,738,000	101,639,000	17,240,000	4,859,000

Ⅳ 条例・規則

1 一宮市博物館条例

昭和62年7月3日 条例第26号

(設置)

第1条 郷土の歴史、文化遺産等に関する市民の理解と認識を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)

第18条の規定に基づき、博物館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 一宮市博物館

位置 一宮市大和町妙興寺字妙興寺境内 2390 番地

(事業)

第3条 一宮市博物館(以下「博物館」という。)は、考古、歴史、美術工芸、織物工業、民俗等に関する資料(以下「資料」という。)の収集、保管及び展示並びに資料の調査及び研究その他教育委員会規則で定める事業を行う。

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(博物館運営協議会)

第4条の2 法第20条第1項の規定により、一宮市博物館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とし、その任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 前2項に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(平27条例14・追加)

(休館日)

第5条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる場合を除く。

(2) 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日に当たる場合を除く。

(3) 12月28日から翌年の1月4日まで

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、休館日を変更し、又は臨時に休館することができる。

(平17条例71・一部改正)

(開館時間等)

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、臨時に開館時間等を変更することができる。

(観覧料)

第7条 常設展示の観覧料(以下「常設観覧料」という。)は、別表第1に定めるとおりとする。

2 特別展示の観覧料(以下「特別観覧料」という。)は、800円を超えない範囲でその都度教育委員会が定める。

3 常設観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料」という。)の額には、消費税法(昭和63年法律第108号)の規定による消費税及び地方税法(昭和25年法律第226号)の規定による地方消費税(以下「消費税等」という。)の額が含まれるものとする。

(年間観覧券等)

第7条の2 教育委員会は、観覧者の利便を図るため、次に掲げる観覧券(以下「年間観覧券等」という。)を発行することができる。

(1) 年間観覧券

(2) 常設展示共通観覧券

(3) 年間共通観覧券

2 年間観覧券等は、次の各号に掲げる観覧券の区分に応じ、当該各号に定める観覧に利用することができる。ただし、団体による観覧には利用することができない。

(1) 年間観覧券 博物館における常設展示及び特別展示に係る観覧

(2) 常設展示共通観覧券 次に掲げる施設における常設展示に係る観覧

ア 博物館

イ 一宮市三岸節子記念美術館条例(平成17年一宮市条例第68号)に規定する一宮市三岸節子記念美術館(以下「美術館」という。)

(3) 年間共通観覧券 前号ア及びイに掲げる施設における常設展示及び特別展示に係る観覧

3 年間観覧券等に係る使用料の額、有効期間及び有効利用回数は、別表第1の2に定めるとおりとする。この場合において、使用料の額には、消費税等の額が含まれるものとする。

4 年間観覧券等は、再発行しない。ただし、汚損等による場合で、年間観覧券等の記載内容が確認でき、かつ、これを回収することができるときは、この限りでない。

5 年間観覧券及び年間共通観覧券は、その購入の際あらかじめ教育委員会に届け出て登録された者(以下この項において「登録者」という。)1名のみが利用することができる。この場合において、登録者を変更しようとするときは、教育委員会に届け出なければならない。

平21条例31・追加)

(観覧料の納入)

第8条 観覧料は、入館のときに納入しなければならない。ただし、年間観覧券等による観覧その他教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 市長は、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、観覧料の全部又は一部を還付することができる。ただし、年

間観覧券等については、この限りでない。

(平 21 条例 31・一部改正)

(観覧料の減免)

第 9 条 市長は、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(施設の使用等)

第 10 条 特別展示室（小展示室を含む。以下同じ。）、講座室、和室、屋外展示場又はギャラリー（以下「特別展示室等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ館長の許可を受けなければならない。

2 資料の模写、模造、撮影等しようとする者は、あらかじめ館長の許可を受けなければならない。

3 他の博物館、図書館、研究機関その他教育委員会が適当と認めるもののうち資料の館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ館長の許可を受けなければならない。

4 館長は、前 3 項の許可をする際、資料の管理上必要な指示又は条件を付すことができる。

(平 26 条例 53・一部改正)

(使用料)

第 11 条 前条第 1 項の許可を受けようとする者は、別表第 2 に定める使用料を納付しなければならない。

2 前項に定める使用料は、許可を受ける時に納入しなければならない。

3 市長は、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、第 1 項の使用料を減免し、又は還付することができる。

(使用の取消し等)

第 12 条 館長は、第 10 条第 1 項から第 3 項までの許可を受けた者（以下「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するときは、その許可を取り消し、又は使用の停止若しくは資料の返還を命ずることができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則の規定に違反したとき。

(2) 許可の内容又は条件に違反したとき。

(3) 偽りその他の不正な行為により許可を受けたことが明らかになったとき。

(4) 前 3 号に掲げるもののほか、館長が管理上支障があると認めるとき。

(平 17 条例 71・平 21 条例 31・一部改正)

(原状回復義務)

第 13 条 使用者は、第 10 条第 1 項から第 3 項までの使用を終了したときは、直ちに当該展示室等又は資料を原状に復さなければならない。前条の規定により許可を取り消され、又は使用の停止若しくは資料の返還を命ぜられたときも、同様とする。

(秩序維持)

第 14 条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、博物館への入館を拒絶し、又は退去を命ずることができる。

(1) 他人に迷惑をかけ、若しくは博物館の施設、設備、資料等を汚損し、き損し、若しくは滅失した者又はそのおそれが

あると認められる者

(2) 館長の許可なく資料の模写、模造、撮影等の行為をした者

(3) 博物館又は資料の管理上必要な指示に従わない者

(4) 前 3 号に掲げるもののほか、館長が入館を不相当と認める者

(平 17 条例 71・一部改正)

(損害の賠償等)

第 15 条 観覧者又は使用者は、博物館の施設、設備、資料等を汚損し、き損し、又は滅失したときは、教育委員会の指示するところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

(平 17 条例 71・平 21 条例 31・一部改正)

(教育委員会規則への委任)

第 16 条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和 62 年 11 月 2 日から施行する。

(議会の議決に付すべき公の施設に関する条例の一部改正)

2 議会の議決に付すべき公の施設に関する条例(昭和 39 年一宮市条例第 5 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう]略

付 則 (平成 4 年 3 月 3 日条例第 16 号)

1 この条例は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正後の一宮市博物館条例の規定は、この条例の施行の日以後にその使用を許可するものについて適用し、同日前にその使用を許可したものについては、なお従前の例による。

付 則 (平成 9 年 3 月 28 日条例第 3 号)抄

1 この条例は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

2 この条例(第 1 条、第 5 条、第 9 条、第 10 条、第 12 条、第 14 条、第 17 条、第 20 条及び第 24 条から第 26 条までを除く。)の規定による改正後の各条例の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後にその使用を許可するものについて適用し、施行日前にその使用を許可したものについては、なお従前の例による。

付 則 (平成 17 年 3 月 24 日条例第 71 号)

この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 21 年 6 月 26 日条例第 31 号)

この条例は、平成 21 年 7 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 26 年 12 月 16 日条例第 53 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の第 10 条第 1 項及び別表第 2 に規定するギャラリーの使用に係る手続は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

付 則 (平成 27 年 3 月 24 日条例第 14 号)

(施行期日)

- この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
(地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の施行に関する条例の一部改正)
- 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の施行に関する条例(平成 24 年一宮市条例第 2 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう]略

(一宮市報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

- 一宮市報酬及び費用弁償に関する条例(昭和 31 年一宮市条例第 32 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう]略

別表第 1 (第 7 条関係)

(平 21 条例 31・一部改正)

個人・団体の別区分	個人 (1 人 1 回)	20 人以上の団体 (1 人 1 回)
一般	200 円	160 円
小学生・中学生	100 円	80 円
高校生・大学生	50 円	40 円

備考

- この表において、「一般」とは、小学生、中学生、高校生及び大学生以外の者をいう。ただし、未就学児を除く。
- 未就学児は、無料とする。

別表第 1 の 2 (第 7 条の 2 関係)

(平 21 条例 31・追加)

区 分	年間観覧券	常設展示 共通観覧券	年間共通 観覧券
一般	800 円	400 円	2,000 円
高校生・ 大学生	400 円	200 円	1,000 円
小学生・ 中学生	200 円	100 円	500 円

2 一宮市博物館条例施行規則

昭和 62 年 10 月 15 日 教委規則第 4 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、一宮市博物館条例(昭和 62 年一宮市条例第 26 号。以下「条例」という。)第 16 条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この規則における用語の意義は、別段の定めがあるものを除き、条例に規定する用語の例による。

(平 21 教委規則 6・全改)

備考

- 別表第 1 備考第 1 項及び第 2 項の規定は、この表について適用する。
- 年間観覧券及び年間共通観覧券は、発行の日から 1 年間有効とする。ただし、有効期間の末日が博物館又は美術館の休館日に当たるときは、同日後最初に到来する休館日でない日まで有効とする。
- 常設展示共通観覧券は、施設ごとに観覧 1 回まで有効とする。

別表第 2 (第 11 条関係)

(平 26 条例 53・一部改正)

使用時間 区分	午前	午後	午前・午後
特別展示室	3,100 円	3,600 円	6,700 円
講座室	3,000 円	3,500 円	6,500 円
和室	2,000 円	2,400 円	4,400 円
屋外展示場	900 円	1,100 円	2,000 円
ギャラリー	400 円	500 円	900 円

備考

- 使用時間は、次による。
 - 「午前」とは、午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分までをいう。
 - 「午後」とは、午後 1 時から午後 4 時 30 分までをいう。
 - 「午前・午後」とは、午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分までをいう。
- 利用者が入場料又は入場料に類するものを徴収する場合における使用料の額は、所定の使用料に当該使用料の 5 割に相当する額を加えた額とする。
- 使用料の額には、消費税等の額が含まれるものとする。

(事業)

第 3 条 条例第 3 条の教育委員会規則で定める事業は、次のとおりとする。

- 資料の専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- 資料に関する案内書、解説書、目録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- 資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- 他の博物館、博物館と同一の目的を有する国又は他の地

方公共団体の施設等と緊密に情報の交換、資料の相互貸借等を行うこと。

(5) 学校、図書館、研究機関、公民館等教育又は文化に関する諸施設と協力すること。

(6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業を行うこと。

(一宮市博物館観覧券等の交付)

第4条 観覧料を徴収する際には、一宮市博物館観覧券を交付する。

2 前項の規定にかかわらず、団体20人以上で観覧しようとするときは、その代表者は、あらかじめ一宮市博物館団体観覧券交付申込書を教育委員会に提出したうえ、観覧料を納入して、一宮市博物館団体観覧券の交付を受けなければならない。

3 前2項の規定にかかわらず、年間観覧券等で観覧しようとするときは、あらかじめ一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間観覧券等交付・登録申込書を教育委員会に提出したうえ、観覧料を納入して、年間観覧券等の交付を受けなければならない。

4 条例第7条の2第5項後段の規定による登録者の変更の届出は、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間観覧券等登録者変更届出書を教育委員会に提出して行わなければならない。

5 教育委員会が特に必要と認めるときは、第1項から第3項までに定める観覧券に代えて別の様式を定めることができる。

(平17教委規則32・平21教委規則6・一部改正)

(観覧料の還付)

第5条 条例第8条第2項本文の特別の理由は、次のとおりとする。

(1) 天災地変その他の入館しようとする者の責めに帰することのできない理由により入館できないとき。

(2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

(平21教委規則6・一部改正)

(観覧料の減免理由)

第6条 条例第9条の特別の理由は、次のとおりとする。

(1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校のうち小学校、中学校又は特別支援学校の学齢児童又は学齢生徒及びその引率教職員が教育活動の一環として学年単位で展示品を観覧するとき。

(2) 次に掲げる者が展示品を観覧するとき。

ア 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条の規定に基づく身体障害者手帳の交付を受けている者及びその付添人(1人に限る。)

イ 戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条に規定する戦傷病者手帳の交付を受けている者及びその付添人(1人に限る。)

ウ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳の

交付を受けている者及びその付添人(1人に限る。)

エ 厚生労働大臣の定めるところによる療育手帳の交付を受けている者及びその付添人(1人に限る。)

オ 市内に在住又は在学の小学生又は中学生

カ 市内に在住する年齢満65歳以上の者

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

(平17教委規則32・平19教委規則3・平20教委規則9・平21教委規則6・一部改正)

(観覧料減免申請の手続)

第7条 前条第1号及び第3号の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、一宮市博物館観覧料減免申請書を市長に提出しなければならない。

(平17教委規則32・平21教委規則6・一部改正)

(優待券等)

第8条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(損傷の届出等)

第9条 入館者は、入館に際し、博物館の施設、設備、資料等を汚損し、又は滅失させたときは、その旨を係員に届け出て、その指示に従わなければならない。

(平21教委規則6・一部改正)

(入館者の遵守事項)

第10条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 展示資料(館長が特に指定した展示品を除く。)に触れないこと。

(2) 所定の場所以外において喫煙し、飲食し、又は火気を使用しないこと。

(3) 他人に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をしないこと。

(4) 係員の指示に従うこと。

(販売行為の禁止)

第11条 何人も博物館において、物品等の販売、金品の寄付募集等を行い、又は行わせてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(平21教委規則6・一部改正)

(特別展示室等の使用)

第12条 条例第10条第1項の規定に基づき特別展示室等を使用する場合は、その用途が条例第3条の事業にふさわしいものでなければならない。

2 特別展示室等を使用しようとする者は、一宮市博物館特別展示室等使用申請書を館長に提出しなければならない。

3 前項の申請書は、使用しようとする日の属する月の6月前に相当する月の初日から使用しようとする日前10日までに提出しなければならない。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

4 館長は、第2項の規定による申請を許可するときは、一宮市博物館特別展示室等使用許可書を交付する。

5 次に掲げる場合には、前項の許可をしない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設又は設備が損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 管理上支障があると認められるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長がその使用を不相当と認めるとき。

(平17教委規則32・平21教委規則6・平24教委規則8・一部改正)

(模写、模造、撮影、閲覧等)

第13条 条例第10条第2項の規定に基づき、資料の模写、模造、撮影、閲覧等(以下「模写等」という。)をしようとする者は、あらかじめ一宮市博物館模写等許可申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 館長は、前項の規定による申請を許可するときは、一宮市博物館模写等許可書を交付する。

3 模写等は、館内の所定の場所において係員の指示に従って行わなければならない。

4 次に掲げる場合には、第1項の許可をしない。

- (1) 資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるとき。
- (2) 寄託者又は著作権者の同意を得ていないとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、館長がその利用を不相当と認めるとき。

(平17教委規則32・平21教委規則6・一部改正)

(使用料の減免)

第14条 条例第11条第3項の規定により使用料を減免することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事に使用するとき。

(2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

2 前項第1号に該当する場合の使用料の額は、条例別表第2に定める使用料の額の50パーセントに相当する額とする。この場合において、10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

(平17教委規則32・平21教委規則6・一部改正)

(使用料減免申請の手続)

第15条 前条の規定により使用料の減免を受けようとする者は、一宮市博物館使用料減免申請書を市長に提出しなければならない。

(平17教委規則32・平21教委規則6・一部改正)

(使用料の還付)

第16条 条例第11条第3項の規定により使用料を還付することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 使用の許可を受けた者の責めによらない理由で使用することができないとき。
- (2) 公益上又は博物館の都合により使用の許可を取り消したとき。
- (3) 使用前7日(この日が休館日に当たるときは、その前日)までに使用の取消しの申出があり、教育委員会が相当の

理由があると認めるとき。

2 前項各号に該当する場合において還付する使用料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額とする。この場合において、10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

(1) 前項第1号及び第2号に該当する場合 納付すべき使用料の額の100パーセントに相当する額

(2) 前項第3号に該当する場合 納付すべき使用料の額の50パーセントに相当する額

3 使用料の還付を受けようとする者は、第12条第4項の使用許可書を添付して、一宮市博物館使用料還付申請書を市長に提出しなければならない。

(平17教委規則32・平21教委規則6・一部改正)

(名誉館長及び副館長の設置)

第17条 博物館に名誉館長及び副館長を置くことができる。

(平14教委規則5・全改、平17教委規則32・旧第18条繰上)

(職務)

第18条 館長は、上司の命を受け、博物館の管理運営を掌握し、所属職員を指揮監督する。

2 副館長は、上司の命を受け、館長を補佐する。

3 名誉館長は、館長から博物館の運営等について相談を受けた場合、意見を述べるものとする。

(平14教委規則5・全改、平17教委規則32・旧第19条繰上)

(処務)

第19条 この規則で定めるもののほか、博物館の処務に関し必要な事項は、一宮市教育委員会事務局処務規則(昭和45年一宮市教委規則第2号)の例による。

(平17教委規則32・旧第20条繰上、平21教委規則6・一部改正)

(帳票)

第20条 この規則の施行に関し必要な帳票の名称は、次のとおりとし、その様式は、教育委員会が別に定める。

- (1) 一宮市博物館観覧券
- (2) 一宮市博物館団体観覧券交付申込書
- (3) 一宮市博物館団体観覧券
- (4) 一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間観覧券等交付・登録申込書
- (5) 一宮市博物館年間観覧券(一宮市博物館年間パスポート)
- (6) 一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館常設展示共通観覧券
- (7) 一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間共通観覧券(一宮市ミュージカード)
- (8) 一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間観覧券等登録者変更届出書
- (9) 一宮市博物館観覧料減免申請書
- (10) 一宮市博物館特別展示室等使用申請書
- (11) 一宮市博物館特別展示室等使用許可書
- (12) 一宮市博物館模写等許可申請書

- (13) 一宮市博物館模写等許可書
- (14) 一宮市博物館使用料減免申請書
- (15) 一宮市博物館使用料還付申請書

(平 17 教委規則 32・追加、平 21 教委規則 6・一部改正)
(委任)

第 21 条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

付 則

この規則は、昭和 62 年 11 月 2 日から施行する。

付 則 (昭和 63 年 9 月 13 日教委規則第 7 号)

この規則は、昭和 63 年 10 月 1 日から施行する。

付 則 (平成元年 3 月 9 日教委規則第 5 号)

この規則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 3 年 9 月 26 日教委規則第 7 号)

この規則は、平成 3 年 9 月 29 日から施行する。

付 則 (平成 5 年 3 月 25 日教委規則第 2 号)

この規則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 14 年 3 月 27 日教委規則第 5 号) 抄
(施行期日)

1 この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 16 年 11 月 1 日教委規則第 5 号)

1 この規則は、平成 16 年 11 月 1 日から施行する。

2 この規則の施行の際現に改正前の各規則の規定に基づき作成されている帳票は、改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

付 則 (平成 17 年 3 月 24 日教委規則第 32 号)

この規則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 19 年 3 月 28 日教委規則第 3 号)

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 20 年 3 月 28 日教委規則第 9 号)

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 21 年 6 月 26 日教委規則第 6 号)

この規則は、平成 21 年 7 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 24 年 12 月 27 日教委規則第 8 号)

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(一宮市尾西歴史民俗資料館条例施行規則の一部改正)

2 一宮市尾西歴史民俗資料館条例施行規則(平成 17 年一宮市教委規則第 33 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

(一宮市三岸節子記念美術館条例施行規則の一部改正)

3 一宮市三岸節子記念美術館条例施行規則(平成 17 年一宮市教委規則第 34 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

3 一宮市文化財保護条例

昭和 35 年 4 月 4 日

条例第 20 号

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 この条例は、文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号。以下「法」という。)第 182 条第 2 項の規定に基づき、同法の規定による指定を受けた文化財及び愛知県文化財保護条例(昭和 30 年愛知県条例第 6 号)により指定を受けた文化財以外の文化財で、一宮市内に存するものについて、その保存及び活用のため必要な措置を講じ、もって市民の文化的向上に資するとともにわが国文化の進歩に貢献することを目的とする。

(平 17 条例 70・一部改正)

(定義)

第 2 条 この条例で「文化財」とは、法第 2 条第 1 項各号に掲げる有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観及び伝統的建造物群をいう。

(平 17 条例 70・一部改正)

(財産権等の尊重及び他の公益との調整)

第 3 条 一宮市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、この条例の執行に当たっては、関係者の所有権その他の財産権を尊重するとともに、文化財の保護と他の公益との調整に留意しなければならない。

(平 17 条例 70・一部改正)

第 2 章 一宮市指定文化財

(指定)

第 4 条 教育委員会は、一宮市の区域内に存する文化財のうち、一宮市にとって重要なものを、市長と協議の上、一宮市指定文化財(以下「市指定文化財」という。)に指定することができる。

2 前項の規定により文化財を指定するには、所有者の申請に基づくか又は所有者の同意を得なければならない。

3 前項の規定により文化財の指定をしようとするときは、教育委員会はあらかじめ別に定める一宮市文化財保護審議会に諮問するものとする。

(平 17 条例 70・一部改正)

(指定の解除)

第 5 条 市指定文化財が市指定文化財としての価値を失った場合、その他特殊の理由があるときは、教育委員会は一宮市文化財保護審議会に諮りその指定を解除することができる。

(管理)

第 6 条 市指定文化財の所有者は、この条例及びこれに基づく教育委員会規則に基づいて発する教育委員会の指示に従い、市指定文化財を管理しなければならない。

(平 17 条例 70・一部改正)

(所有者及び所在の変更)

第 7 条 市指定文化財の所有権等を変更したとき、又は市指定文化財の所在を変更しようとするときは、速やかにその旨を教育委員会に届け出なければならない。

(平 17 条例 70・一部改正)

(滅失、き損等)

第8条 市指定文化財の全部又は一部が滅失し、若しくはき損し、又はこれを亡失し、若しくは盗みとられたときは、所有者は速やかにその旨を教育委員会に届け出なければならない。

(平17条例70・一部改正)

(管理又は修理等の補助)

第9条 市は市指定文化財並びに国及び県指定の文化財のうち、一宮市内に存する文化財の管理、修理、復旧、公開その他その保存活用に要する経費につき、その文化財の所有者に補助金を交付することができる。

2 前項の補助金を交付する場合には、教育委員会はその補助の条件として、管理又は修理に関して必要な事項を指示することができる。

(平17条例70・一部改正)

(補助金の返還)

第10条 前条の規定により補助金の交付を受け、若しくは補助金の交付を受けようとする所有者が、次の各号のいずれかに該当することとなったときは、市は当該補助金の全部又は一部を交付せず、又は当該所有者に対し、既に交付された補助金の全部若しくは一部の返還を命ずることができる。

(1) 管理又は修理に関し、条例又は教育委員会規則に違反したとき。

(2) 補助金の交付を受けた目的以外に補助金を使用したとき。

(平17条例70・一部改正)

(管理または修理に関する勧告)

第11条 市指定文化財の管理が適当でないため、当該市指定文化財が滅失し、き損し、又は盗みとられるおそれがあると認めるときは、教育委員会は所有者に対し、管理方法の改善、保存施設の設置その他管理に関し、必要な措置を勧告することができる。

(平17条例70・一部改正)

(公開)

第12条 教育委員会は、市指定文化財の所有者に対し、教育委員会の行う公開の用に供するため当該市指定文化財の出品を勧告し、又は所有者に対し公開を勧告することができる。

(平17条例70・一部改正)

(調査)

第13条 教育委員会は、必要があると認めるときは、市指定文化財の所有者に対し、当該文化財の現状又は管理の状況につき報告を求めることができる。

(平17条例70・一部改正)

(現状変更等の制限)

第14条 市指定文化財に関し、その現状を変更し、又はその保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、教育委員会の許可を受けなければならない。ただし、現状の変更については維持の措置又は非常災害のために必要な応急措置をとる場合、保存に影響を及ぼす行為については影響の軽微である場合は、この限りでない。

(平17条例70・一部改正)

(修理の届出等)

第15条 市指定文化財を修理しようとするときは、所有者は、あらかじめその旨を教育委員会に届け出なければならない。

第3章 一宮市文化財保護審議会

(審議会)

第16条 教育委員会に一宮市文化財保護審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(職務)

第17条 審議会は、市文化財の指定及び解除並びに文化財の保存と活用に関し、教育委員会の諮問に答え、又は教育委員会に意見を具申し、さらにこのために必要な調査研究を行う。

(平17条例70・一部改正)

(組織)

第18条 審議会委員は文化財に関し、学識経験を有する者のうちから、教育委員会が任命する10人以内の委員で組織する。

2 委員の任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

3 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第19条 審議会に会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第20条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、半数以上の委員が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第21条 この章に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は会長が審議会に諮って定める。

第4章 補則

(教育委員会規則への委任)

第22条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(平17条例70・一部改正)

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則 (昭和38年7月30日条例第16号)

この条例は、公布の日から施行する。

付 則 (昭和51年10月8日条例第34号)

(施行)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過規定)

2 この条例施行の際、現に改正前の一宮市文化財保護条例(以下「旧条例」という。)の規定により指定されている民

俗資料は、この条例の規定により指定された民俗文化財とみなす。

3 この条例施行の際、現に旧条例の規定により任命されている一宮市文化財専門委員は、この条例の規定により任命された一宮市文化財保護審議会委員とみなす。ただし、第18条第2項の規定にかかわらず、任期は昭和53年6月30日までとする。

(一宮市報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

4 一宮市報酬及び費用弁償に関する条例(昭和31年一宮市条例第32号)の一部を次のように改正する。

[次のよう]略

付 則 (平成17年3月24日条例第70号)

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、尾西市文化財保護条例(昭和39年尾西市条例第9号)又は木曾川町文化財保護条例(昭和37年木曾川町条例第9号)に基づく木曾川町文化財保護助成要綱(昭和40年7月1日)の規定により指定されている旧尾西市指定文化財及び旧木曾川町指定文化財は、それぞれ改正後の一宮市文化財保護条例の規定により指定された一宮市指定文化財とみなす。

4 一宮市豊島記念資料館の管理及び運営に関する要綱

(設置)

第1条 地域住民の文化への理解と関心を深め、文化の発展に寄与するため、博物館の附属施設として一宮市豊島記念資料館(以下「資料館」という。)を設置する。

2 資料館は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第238条第3項に規定する行政財産(公用財産)として管理する。

(名称及び位置)

第2条 資料館の名称及び位置は、次のとおりとする

名 称 一宮市豊島記念資料館

位 置 一宮市本町通8丁目11番地

(事業)

第3条 資料館は、一宮市内を中心に収集された織物関連資料、考古資料、歴史資料等を収蔵・保管するとともに、1階部分については、必要に応じて一般の観覧に供する。

(管理及び運営)

第4条 資料館の管理及び運営は、一宮市博物館が携わることとする。

(開館)

第5条 資料館は、博物館の休館日を除き、利用者の求めに応じ可能な範囲内で、開館するものとする。

2 観覧時間は、午前10時から午後3時までの間とする。

(観覧料)

第6条 観覧料は無料とする。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、資料館の管理及び運営については、一宮市博物館条例(昭和62年一宮市条例第26号)及び一宮市博物館条例施行規則(昭和62年一宮市教委規則第4号)の規定を準用する。

付 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

V 施設

施設概要

- | | | |
|---------------|--|--|
| 1. 名称 | 一宮市博物館 | 平成 25・26 年度 |
| 2. 所在地 | 愛知県一宮市大和町妙興寺 2390 | (1)エレベーター・喫茶設備 (株) カネショウ工務店 |
| 3. 開館年月日 | 昭和 62 年 11 月 13 日 | (2)電気設備 (有) 東海電設 |
| 4. 博物館登録 | 平成 2 年 3 月 5 日 | 平成 28 年度 |
| 5. 構造設計 | 青木繁研究室 | (1)和室修繕 |
| 6. 設備設計 | 建築設備設計研究所 | 畳・障子・壁じゅらく・天井 (株) センター住建 |
| 7. 植栽計画 | 野沢・鈴木造園設計事務所 | 水屋天井裏ファンコイル 村川設備工業株式会社 |
| 8. テキスタイルデザイン | 内井乃生 | 水屋ファンコイル更新に伴う自動制御他 |
| 9. サイン計画 | デイスハウス | 川村電機株式会社 |
| 10. 設計管理 | 昭和 62 年度 (株) 内井昭蔵建築設計事務所
一宮市建設部建築住宅課
平成 25・26 年度リニューアル
(株) 内井建築設計事務所
一宮市建設部建築住宅課 | 12. 展示設計 昭和 62 年度 (有) 日本エキシビジョン
平成 25・26 年度リニューアル (株) 丹青社 |
| 11. 施工 | 昭和 62 年度
(1)本体 竹中・中村工業建設共同企業体
(2)電気設備 弘電社・東邦建設共同企業体
(3)衛生設備 川崎・大興建設共同企業体
(4)空調設備 ダイダン・村川建設共同企業体
平成 9 年度
展示室増築 (有) 大和建設 | 13. 設計期間 昭和 60 年 2 月～昭和 60 年 8 月
14. 施工期間 昭和 60 年 11 月～昭和 62 年 10 月
15. 敷地面積 9,241 m ²
16. 建築面積 2,550 m ²
(平成 9 年度 54 m ² 増築 平成 26 年度 10 m ² 増築)
17. 延床面積 4,690 m ²
1階 2,273 m ²
(平成 9 年度 54 m ² 増築 平成 26 年度 10 m ² 増築)
2階 1,596 m ² (平成 26 年度 10 m ² 増築)
地下 797 m ² 塔屋 4 m ² |
| | | 18. 構造 R C造、一部 S R C造 |
| | | 19. 規模 地下 1 階、地上 2 階、塔屋 1 階 |
| | | 20. 受賞 照明学会東海支部表彰 (1987) |

主要各室面積

利用者空間

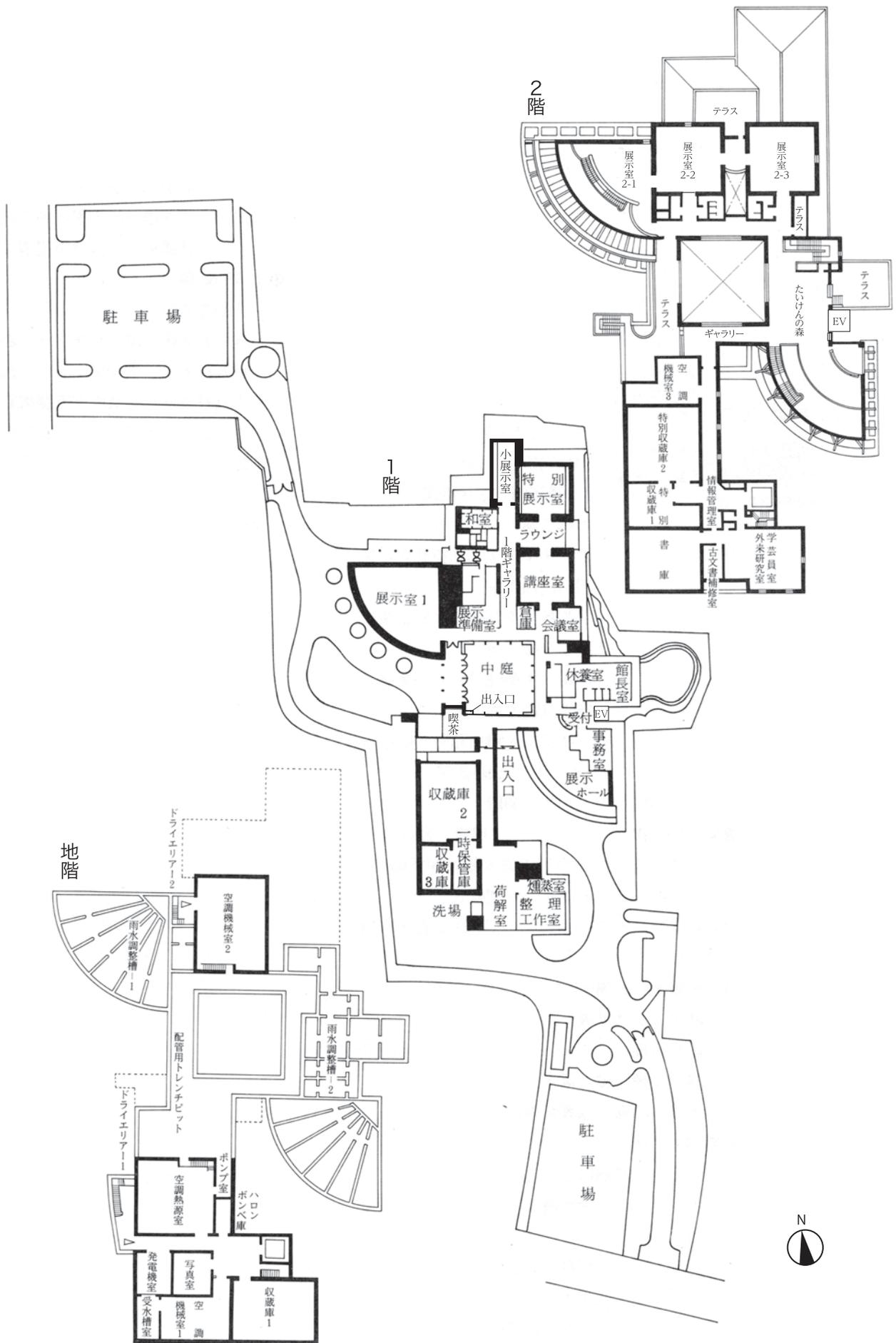
展示ホール	126 m ²	特別展示室	131 m ²	ギャラリー (2 階)	44 m ²
展示室 1	240 m ²	講座室	126 m ²	学習室 (たいけんの森)	197 m ²
展示室 2-1 (旧展示室 1)	112 m ²	小展示室 (旧展示室 4)	46 m ²	中庭 (屋外展示場)	189 m ²
展示室 2-2 (旧展示室 2)	132 m ²	ラウンジ	57 m ²	和室	71 m ²
展示室 2-3 (旧展示室 3)	132 m ²	1 階ギャラリー	82 m ²	喫茶コーナー	38 m ²

学芸空間

特別収蔵庫 1	67 m ²	収蔵庫 3	63 m ²	情報管理室	10 m ²
特別収蔵庫 2	142 m ²	一時保管室	61 m ²	写真室	43 m ²
特別収蔵庫前室	23 m ²	書庫	113 m ²	整理工作室	67 m ²
収蔵庫 1	131 m ²	学芸員室	127 m ²	燻蒸室	20 m ²
収蔵庫 2	191 m ²	古文書補修室	13 m ²		

管理空間等

事務室	59 m ²	会議室	33 m ²	機械室	538 m ²
館長室	31 m ²	休養室	19 m ²		



一宮市博物館年報(15)

平成 27・28 年度事業報告

編集・発行 一宮市博物館

〒 491 - 0922

愛知県一宮市大和町妙興寺 2390

TEL 0586 - 46 - 3215

FAX 0586 - 46 - 3216

発行日 平成 30 年 3 月 31 日

印刷 株式会社 大東社